

宮崎大学医学部整形外科

# 同門会誌

第 29 号  
平成 30 年 8 月

宮崎大学医学部整形外科学教室同門会



平成 29 年度 宮崎大学医学部 整形外科学教室 新入教室員歓迎会 平成 29 年 4 月 8 日 於 宮崎観光ホテル



帖佐 悦男 先生 還暦祝賀会 平成29年11月25日 於：宮崎観光ホテル



帖佐 悦男 先生 還暦祝賀会 平成29年11月25日 於：宮崎観光ホテル



## 御挨拶

ひらかわ整形外科クリニック 平川 俊一

皆様にはおかれましては健康に気を付けられ日々診療に忙しく努めておられる事と存じます。

昨年から今年の冬にかけては異常な寒さの日々が長く続きました。例年ですと寒さの緩む日が時々はやってくるものですが、ただ記録的に寒い日が続き寒がりの私はじっと毎日耐えておりました。

今年の冬は特別寒かったと言いましてもやがて桜の時期は訪れてくれまして、東の間の春の気分を味わうことが出来ました。しかしすぐに五月半ばにして日本至る所で気温が30度を超える日の報告も珍しくありません。果たして異常気象なのか、地球という天体の自然の営みの中の必然の変動なのか分かりませんが、科学者やマスコミが言う通りに二酸化炭素の増加による地球温暖化が原因であるのならば、我々も少しでも努力して環境に優しい生活を営むように努める必要があることは間違いのないようです。原因は異なるかも知れませんが、1960年代に環境問題を告発した生物学者レイチェル・カーソンの「沈黙の春」に書かれています様な周辺生物が全て姿を消した春の季節だけは迎えたくないものです。

四月には、石田翔太郎先生、岩佐一真先生、

川越悠輔先生、北堀彩泰子先生、日高三貴先生の5名の正会員、川越勝秀先生の賛助会員の同門会への入会がございました。若い先生方の入会により宮崎大学整形外科学教室の同門会が益々活気付くことを希望致します。どうぞ宜しく御願い致します。

昨年の9月に第43回日本整形外科スポーツ医学会が教室主催でシーガイアにて開催されました。第19回の同学会を田島名誉教授が会長として平成5年に開催されまして、24年ぶりの宮崎開催でありました。参加者も益々増加しており盛会であったと伺っております。帖佐教授始め運営に携わられました教室員の皆様に同門会を代表してお喜びを申しあげ、その御苦勞をねぎらいたと思います。

その他今春にかけましては帖佐悦男教授の還暦祝い、谷口昇先生の教授就任祝いがありました。多くの先生に祝辞を頂き誠にありがとうございました。いずれの会に置きましても盛大に御祝いをすることが出来まして同門会の会員の皆様、御出席くださいました皆様にこの紙面を借りまして厚く御礼を申し上げます。

今年の四月には、医療と介護保険の同時の改定が行われました。その影響を評価するには今しばらくの時間が必要と思います。整形

外科に関しましては、二年前から始まりました学童期の運動器検診に関連しまして、検診等で見つかった疾患に対して、長期に経過観察が必要という意味合いから、小児運動器疾患指導管理料の新設がございました。整形外科医に特化した管理料の算定は初めての設定かと考えます。対象年齢が6才未満である事から不十分と思われませんが、土壇場で12才未満を対象とするから6才未満を対象とするとひっくり返ったようです。いずれにしてもまず新設する事が最優先という事で決したようです。この管理料を基に今後範囲拡大を交渉していくことになると思います。

柔整の不正請求の温床となっています受領委任払いを針灸マッサージに拡大しようと厚労省は決定しております。専門検討委員会では反対が多かったそうですが、この件に関しましては保険者側からも強い反対が出ています。施術による健康被害の報告も集積されてきています。同意書の発行を安易になされないように気を付けられて下さい。

新しい留学支援制度の運用を開始しており

ます。若い先生方の勉強の機会を増やすために作った制度でありますので、是非この制度を活用していただきまして新しい知識、知見を習得して頂き、是非次々と後輩に伝えて頂きます様をお願い致します。

五月の日整会の代議員総会の二番目の議題として挙がっておりましたが、ロコモの啓発活動をもっと強力で推し進める様に御願い致します。ロコモの認知度を国民全体の80%まで引き上げるように厚労省から指示されております。80%までの認知度に達しませんとメタボほどの成果を上げたとは評価されず、整形外科としては「運動器の10年」の活動が失敗したことになり、整形外科の必要性が社会から認知されていないという評価になってしまいます。是非ともロコモ事業も軌道に乗せ将来の整形外科医の仕事の領域を拓けていくようお願い致します。

最後になりますが皆様方のますますの御健勝をお祈りしまして巻頭の挨拶とさせていただきます。



## 新入教室員歓迎

宮崎大学医学部整形外科学教室 帖佐悦男

2017年の世界の話題は、トランプ大統領の就任に始まり、北朝鮮が核実験・弾道ミサイル発射や英政府のEU離脱を正式通知など驚くようなことばかりでした。一方日本では、14歳棋士藤井四段が29連勝の新記録や桐生選手日本人初の9秒台（100m）など明るい話題や天皇退位特例法の成立とこれまで経験したことのない話題もありました。

私たち宮崎大学医学部整形外科学教室同門会においても、前同門会長河野雅行先生が宮崎県の医師会長に再任されより一層様々な分野でご活躍され、また昨年就任されました平川俊一同門会長が教室との連携をふまえ同門会の継承・発展にご尽力頂いております。両先生にはこの場を借りて心より感謝申し上げます。

また、新入教室員を迎えるこの時期は、何度あっても大変嬉しいものです。2018年は春の到来が早く、新入医局員歓迎の花見もできませんでしたが、石田翔太郎先生、岩佐一真先生、川越悠輔先生、北堀彩泰子先生、日高三貴先生の5名の新入教室員を迎えることができたのは花見以上に大変喜ばしいことでした。レジデントの5名の先生方にはこれから夢と目標、情熱をもって診療・研究・教育にあたって頂きたいと思っています。臨床に関してはまず専門医をとり、その後少しずつスペシャリティを考えるとということになろうかと思います。もちろん研究に専念したい場合は大学院へ進むことも貴重な体験になります。

夜間大学院もありますので活用してください。持論ではありますが、運動器を扱う地方の整形外科医は、自分の専門を二つ以上持つことが望ましいと考えます。

大学では、池ノ上克学長と鮫島浩病院長が再任され、大学病院も病院機能評価一般病院2〈3rdG:Ver.1.1〉に認定されました。しかし、病院経営を含めた大学経営は本学のみならず運営費交付金の削減など大変困難な時代です。

国立大学法人は重点支援枠（3類型）に分類され、本学は「地域貢献」型になりますので、より一層「世界を視野に 地域から始めよう」のもと、整形外科としては、時代の流れに翻弄されることなくこれまで通り地域に根差した教育・臨床・研究を進めていきたいと思っております。教育に関しましては、整形外科は旧制度と並行して新専門医制度を開始しましたが、これまでと同様に人間味のある医師を養成する卒前教育と卒後教育で、整形外科専門医のsubspecialty医師を育成します。あわせて、リハビリテーション科の専門医も育成してまいりたいと思っています。要支援・介護になる原因として運動器の障害が最も多くの割合を占めていますので、リハビリテーション医学・医療は整形外科にとっても治療の中心であり、地域医療分野において今後益々重要な位置を占めることは間違いありません。田野病院には介護施設もありますので、将来を見据え卒前・卒後教育で介護医療

を学べる仕組みを整えることが出来ればと思います。県・医師会とのロコモ対策も順調にすすみ、平成30年も宮崎県のロコモ認知度は日本一となっています。これもひとえに同門の先生方が医師会や行政などと連携し、地域の方々へ啓発活動を実施して頂いているお蔭と感謝いたします。

研究に関しては、昨年にもグラントをはじめ多くの受賞があり、診療の傍ら日々研究に取り組み成果を見せてくれる先生方は大変心強い限りです。また、スリランカと中国の留学生も研究に励んでいます。臨床に関しましては教室員一丸となって診療にあたり、手術件数も例年通り1300件を超えています。若い先生方には多くの症例を経験することで、是非多くのことを学んでほしいと思います。新しく開始された専門医制度では様々な領域の疾患を経験する必要があります。多くの認定施設が単独では研修できなくなる可能性があります。保存療法はもちろん手術症例だけでも十分経験な経験を積むことができるのが宮崎大学病院整形外科の特徴の一つです。同門の先生方には入院待ちなどで引き続きご迷惑をお掛け致しますが、今後医師会との前方連携・後方連携が進むと思いますので、ご協力・ご支援をお願い致します。またこの場をお借りして、日頃多くの患者さんをご紹介頂いておりますことを心から感謝申し上げます。

現在の課題として、新臨床研修制度に伴い研修医が中央へ集中することにより、関連病院への医師の派遣が困難となり、地方は深刻な医師不足にあえいでいます。また、開業や故郷に戻られる先生方もおられ私たち教室員も苦境に立たされていますが、幸い教室・同門の先生方のご理解・ご支援によりなんとか乗り切ることができています。お詫び申し上げますとともに一層のご協力をお願い致します。地域・社会貢献を使命として保存療法から手術療法まで地域に必要とされる医療を

提供することのできる医師を育成していくことが出来れば、私たち宮崎大学医学部整形外科の将来は明るいと確信しております。教室員のみならず同門の先生方におかれましても、このように教育制度や施設など受け入れ体制は充実していますので今後も多くの教室員が増えますようご協力よろしくお願い致します。

また、教室も少しずつ歴史を重ねておりますが、私たち教室同門の先生方も年齢をとってきておりますので、くれぐれも健康には十分ご留意ください。

学校健診に運動器検診が追加し開始されましたが、お蔭さまで宮崎県では大きなトラブルもなく終了することができました。学校医から受診を勧められた児童・生徒に対する対応をよろしく申し上げます。

超高齢社会、東京オリンピック・パラリンピックに向けて、より一層「スポーツメディカルランド宮崎」、「ロコモザワールド宮崎」構想を進めていきたいと思っております。宮崎県、宮崎市や宮崎大学の重点事業にも指定されていますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

研究会に関し本年度は、12月8日に「九州・山口スポーツ医・科学研究会」を福岡市にて主催しますので、お時間のある先生方は聴講して頂ければと思います。

最後になりましたが、新たな顔ぶれも加わり、教室員一丸となって質の高い臨床・研究を実施し、地域社会に開かれた特色ある臨床外科系講座として貢献してまいる所存です。教室・同門の先生方におかれましてはこれまで以上のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

教室・同門の先生方の今後ますますのご活躍と同門・教室の発展を祈念して筆を置くことといたします。



# 目 次

御挨拶	平川 俊一	
新入教室員歓迎	帖佐 悦男	
<b>谷口昇先生 教授就任にあたって</b>		
教授就任にあたって	谷 口 昇	1
谷口 昇 先生の鹿児島大学教授就任を祝って	帖佐 悦男	3
谷口昇先生 教授就任にあたって	黒木 浩史	4
谷口昇先生 教授就任にあたって	山口 奈美	5
谷口昇先生の教授ご就任にあたって	大田 智美	6
谷口先生寄稿文	花堂 祥治	8
谷口先生 教授就任にあたって	川野 啓介	9
谷口昇先生 教授就任にあたって	李 徳 哲	10
谷口昇先生 教授就任にあたって	戸 田 雅	11
谷口昇先生 教授就任にあたって	永井 琢哉	12
谷口昇先生 教授就任にあたって	北島 潤弥	12
谷口 昇 先生	川越 秀一	13
谷口昇先生 教授就任にあたって	吉 留 綾	14
<b>学会賞受賞</b>		
第12回宮崎整形外科医学奨励賞	福 島 克彦	15
第12回宮崎整形外科医学奨励賞を受賞して	黒木 修司	16
第12回宮崎整形外科医学奨励賞受賞にあたって	甲斐 糸乃	18
<b>学位取得</b>		
学位取得報告	黒木 修司	20
報告：学位取得	川野 彰裕	22
<b>国際学会での発表について</b>		
SICOT ケープタウン放浪記	日 吉 優	24
国際学会に参加して	山口 洋一朗	27
国際学会に参加して (ORS)	鳥取部 光司	30
国際学会 (ESSKA) に参加させていただき	横江 琢示	31
<b>短期留学支援報告</b>		
短期留学支援報告	石田 康行	33
Arthroscopic Knee Cadaver Workshop Training Course in Bostonに参加して	森田 雄大	34
短期留学支援報告	三橋 龍馬	36
短期留学支援報告	長 澤 誠	38
カタバー研修inタイ	今里 浩之	40

医局長就任挨拶	濱中 秀昭	41
<b>同門会・医局行事</b>		
ISE BOCCIA 2018 (国際ボッチャ競技連盟公認の アジア・オセアニア地区オープン伊勢大会) に参加して	帖佐 悦男	43
第60回西日本整形外科親善野球大会を終えて	三橋 龍馬	45
日本整形外科学会サッカー大会を振り返って	平川 雄介	49
第43回日本整形外科スポーツ医学会を終えて	田島 卓也	50
第51回宮崎救急医学会開催報告	中村 嘉宏	52
第26回同門会ゴルフ大会	三股 恒夫	54
第20回同門会テニス大会	神 菌 豊	55
第14回帖佐杯ゴルフ大会	福嶋 秀一郎	56
野球検診結果2017	長 澤 誠	57
2017年 医局旅行in黒川温泉・湯布院	藤田 貢司	58
1年を振り返って		60
<b>新入会員紹介 (賛助会員)</b>		
同門会入会の挨拶として	川越 勝秀	66
<b>新入会員紹介 (正会員)</b>		
自己紹介	石田 翔太郎	68
自己紹介	岩佐 一真	68
自己紹介	川越 悠輔	69
自己紹介	北堀 彩泰子	69
自己紹介	日高 三貴	70
同門会総会議事報告		71
教室同門の研究業績 (2016年度)		73
編集後記	石田 康行	113



## 教授就任にあたって

鹿児島大学大学院整形外科 谷口 昇

今年3月末に宮崎大学を退職し、4月1日付で鹿児島大学大学院医歯学総合研究科先進治療科学専攻運動機能修復学講座整形外科学教授に就任致しましたので、紙面を借りてご挨拶を申し上げます。

私が宮崎大学に赴任致したのは2013年7月でしたので、実に5年近く宮崎で過ごしたことになります。在籍時は、多くの皆様に支えられながら、非常に充実した日々を過ごすことができ、大変感謝しております。臨床においては、前任地北海道でフェローとして学んだ肩関節手術を実践する場となり、最初は苦勞しましたが、スポーツ上肢グループをはじめとする医局員の皆様にご協力を頂きながら症例を積み上げ、スキルを磨くことができました。また、宮崎大学は手術症例が非常に豊富であったため、上肢以外の症例もカンファレンスや実際の手術を見て学ぶことが多く、また大学でありながら多発外傷の症例も経験できたのは、自分の臨床力を向上させる上で、非常に役立ったと思っています。

研究面においては、米国留学時も含めて自分がこれまで行ってきた基礎研究を、大学院教育に還元できたのは大きな喜びでした。基礎研究室のスタッフの皆さんも大変協力的で、初めて行う動物実験の外科手術などをスム

ズに立上げることができたのも、彼女らに負うところが大きかったように思います。教育でも、2015年より教育医長を拝命し、卒前・卒後教育に積極的に携わることができました。教授職は、ある意味万年教育医長とも言えますので、今後これらの経験を鹿児島大学で十分に活かしていけると考えています。また、医局事務の方々にも、講義や学会出張、研究費などに関する様々な面で手厚いサポートを頂きました。野球大会にもお誘い頂き、かつては九山や西医体で熱戦を繰り広げた仲間と、今度は同じチームで九州整形外科野球大会など共に戦えたのも、良き思い出となりました。

久しぶりの鹿児島大学は、病院が改修中で、新棟2棟に引き続き、これからメインの病棟の建て替えに入ります。宮崎大学で病院の改修工事と医局の引っ越しを経験した私にとっては、またかという思いもありますが、こればかりはどうしようもありません。かつて白球を追ったグラウンドも半分駐車場になり、中庭にも建物が立ち大学の風景も大分変わりましたので、母校に戻ってきたというより、新しい大学に来た感じさえします。鹿児島を離れた15年の月日の長さを感じずにはいられませんが、それでも時折古参の看護師

さんや同級生に声をかけられると、やはり母校に戻って来たとほっとする瞬間もあります。野球部の後輩と初めて一緒に手術をするのも、医学部保健学科の教授になった同級生と大学事情について話をするのも、感慨深いものがあります。

振り返ってみると、この鹿児島を離れてからの武者修行ともいべき長い旅に、多くの素晴らしい出会いがあり、そして尊敬できる師匠に恵まれました。厳しい指導も頂きましたが、その根幹には愛情があり、今後私が教室の医局員、研修医、学生を指導するにあたって、大きな教訓を与えてくれたものと感

じています。そういった意味では、帖佐悦男先生にも、様々なことを教えて頂きました。この場を借りて厚く御礼を申し上げます。

薩摩、大隅、日向は元々歴史的にも非常に結びつきの強い土地柄で、都城、小林など、県境の町には両県の文化や影響が深く入り混じっています。今後は、是非鹿児島大学と宮崎大学間の交流をより活発化させ、互いに連携して南九州全体の整形外科医療を充実、発展させていきたいと考えておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

最後に、宮崎大学整形外科の益々のご発展を心より祈念申し上げます。



## 谷口 昇 先生の鹿児島大学教授 就任を祝って

宮崎大学医学部整形外科学教室 帖 佐 悦 男

宮崎大学医学部感覚運動医学講座整形外科学分野 准教授の谷口昇先生が、平成30年4月1日付で鹿児島大学大学院医歯学総合研究科先進治療科学専攻運動機能修復学講座整形外科学教授に就任されましたので、ご報告ならびにお祝いの寄稿を致します。

谷口昇先生は、平成7年に鹿児島大学医学部を卒業後、麻酔蘇生科に入局し全身管理を学び、平成11年に鹿児島大学の整形外科に入局されました。臨床開始後関節リウマチの研究をしたいとのことで、平成12年から社会人大学院に入学し、臨床検査医学講座で関節リウマチに関する基礎研究を行われました。研究が順調にすすみ、米国のサンディエゴにあるスクリプス研究所に留学し、変形性関節症の病態解明を中心とした軟骨の研究をされ、数多くの業績をあげられました。

もともと臨床の専門家になり多くの患者さんを助けたいという気持ちから、平成23年に帰国し、北海道帯広市の民間病院で外傷を中心とした手術トレーニングを行いながら、肩関節について専門的に学ばれました。平成25年からは、ご存知のように宮崎大学医学部整形外科学教室に入局し宮崎大学救命救急セン

ターに所属、主に上肢の外傷を担当しながら、肩の手術も執刀を重ねていき紹介患者も徐々に増えていきました。整形外科講師に次いで准教授に就任して、大学院生の基礎研究の指導を行いながら、教育医長としての役割も担い、研究・臨床・教育に励んでもらいました。

谷口昇先生は、これまで関節リウマチ、変形性関節症や肩の外科を中心とした研究や臨床において多くの素晴らしい業績をあげられており、今後、ますます発展されることと存じます。歴史のある鹿児島大学の教授になり、その予防、啓発や診療・教育・研究に関しまして先端的使命を担っており、先生は先頭に立ち私たちにご指導頂けると確信致しております。

このような先生ですので、これからますます学会での役職や多くの委員会などの業務を依頼されると思います。どうぞお身体にはご留意ください。

最後になりましたが、今後ますますのご活躍を祈念致しております。改めまして、教授へのご昇任心からお祝い申し上げます。



## 谷口昇先生 教授就任にあたって

国立病院機構宮崎東病院 整形外科 黒木 浩史

谷口昇先生の鹿児島大学医学部整形外科教授ご就任にあたりお祝い申し上げます。

谷口先生が宮崎大学医学部整形外科にご入局されましたのは平成25年7月でありました。私が大学医局を離れたのが平成25年12月でしたので6か月間、同時期に大学で勤務させて頂いたこととなります。期間も短く谷口先生が肩関節外科、私が脊椎脊髄外科を専門にしていたこともあり、直に接する機会は多くはありませんでしたが、その後も野球大会や大学病院への出張手術の際にお会いするタイミングが少なからずありましたので、実際よりも長く一緒に仕事をしていた感覚があります。

谷口先生が大学に来られた時の私の第一印象は、本物の實力を持った先生だなというものでした。詳しい先生の経歴は存じておりませんでしたでしたが、鹿児島大学を出られてから長期間、アメリカでスタッフとして研究に励まれ、その後数年間、肩関節外科の第一人者でいらっしゃいます北海道の北新病院の末永直樹先生に師事されておられただけあって、研究、臨床両方の實力を兼ね備えられていることが随所に見てとれました。赴任後しばらくして医局の英文抄読会を担当されるようになってからは若手医師に論文の読み方から英単語の発音まで細かく指導して下さいましたし、手術におきましても難症例への人工肩関節置換術などもそつなくこなされていました。

また人間的にも大変素晴らしい先生で、多くの実績がありながらもご入局後、皆と気取ることなく交流しておられる様子を時々拝見致しておりました。私に対しましても転勤後、大学に出張手術に伺った際、私に気づくや否や「お疲れ様です！」と手を洗いながら気さくに声を掛けて下さいました。何より宮崎大学整形外科野球部でも持ち前の明るい人柄でチームを盛り上げ、守備に打撃に活躍され、すぐにチームになくってはならない選手になりました。

この度の谷口先生の宮崎大学から鹿児島大学へのご栄転は大変喜ばしくめでたいことではありますが、先生のような優れた人材が宮崎からいなくなってしまうことはわれわれの教室にとっては大きな損失でもあります。しかし先生は宮崎での5年間にわれわれのために多くの種をまいて下さいました。われわれの努力でそれらを芽にして育てていけばその損失を補えるかも知れません。鹿児島に行ってしまったわれましたが、鹿児島大学は宮崎大学から一番近い大学ですのでいろいろな形での交流も可能と思います。これからもともに発展していけますようご指導を賜ればとてもありがたいと存じます。

最後になりましたが、谷口先生のこれからのご健勝と鹿児島大学医学部整形外科教室のますますのご繁栄を心より祈念致しております。



## 谷口昇先生 教授就任にあたって

宮崎大学医学部整形外科学教室 山口 奈美

谷口昇先生、この度は教授ご就任おめでとうございます。先生が我々の医局にご入局されてから早いもので5年が経ちました。初めて先生にお会いしたのは歓迎会の時で、物静かな方だなというのが第一印象でした(その後先生の数々の武勇伝は耳に入ってきましたが. . . )。

肩をご専門にされているということで、我々のグループの一員となられ日常の診療、手術、学会、飲み会などいろいろな場面でご一緒させていただきました。特に先生にお世話になりましたのは、学位論文作成にあたって数々のご相談をさせていただいた時でした。なかなかacceptされない中で学位取得の期限も迫ってきている時にやっとreviseの通知が届き、最終的にacceptされた時は我がことのように喜んでいただきました。その節は本当にお世話になりました。先生がいらっしやなければ間に合ってなかったのではないかと

思います。

先生が宮崎にいらっしやるまでに経験されてきた事や研究など、我々にとってはとても新鮮で、興味深いお話をたくさん聞かせていただきました。また、お忙しい中夜遅くまで残って英語論文を作成されている姿が印象的で、見習いたいと思いつつもいまだに実践できていません. . .

Hometownである鹿児島に戻られますが、必要な時はいつでも呼んでいただき、また今後もご相談に乗っていただけたらと思います。新しい場所で新しいことに挑戦し、新しいものを作り上げていくという作業は今まで色々な場所でされてきていますので、先生が新しい鹿児島大学整形外科を作り上げていかれるのを陰ながら応援させていただきます。先生の今後益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。



## 谷口昇先生の教授ご就任にあたって

宮崎大学医学部整形外科学教室 大田 智美

谷口昇先生、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科先進治療科学専攻運動機能修復学講座整形外科学教授のご就任、心よりお慶び申し上げます。

鹿児島大学整形外科のホームページを拝見しまして、（講座名の長さにも驚きました）が谷口先生の教授挨拶と写真を見て、先生が本当に教授になられたことを実感しました。身近で一緒にお仕事をさせていただいた先生が教授になられて、本当に嬉しい気持ちでいっぱいです。

谷口先生との出会いは、スポーツ上肢グループの飲み会だったと思います。論文やアメリカ留学、北海道の国内留学など、谷口先生の華々しいご経歴は医局の先生方から聞いていたので、さぞかしお堅いこわい先生なのだろうとドキドキしていました。ところがお話してみるととても気さくで優しく、楽しい先生で、いい意味で驚いたのをよく覚えています。

また、私の知るスポーツ上肢グループは、私が研修医の頃から、専門分野こそ違えど手術では協力しあい、飲み会では盛り上がるという家族のような楽しいグループですので、そんなグループに外部から来られた谷口先生がなじめるかどうか、後輩ながらひそ

かに心配していました。それも取り越し苦労で、飲み会の次の日はグループの先生方とより仲良くなっておられ、さぞかし夜の西橋カンファレンスも盛り上がったんだろうと楽しくお話を聞かせていただいていたいました。

その後、臨床や研究室で一緒にお仕事させていただきました。谷口先生は何度も勉強に行かれては新しい術式に挑戦されていましたし、研究もこうしたらどうかな、ああしたらいいのではと、次々に仮説を立てて積極的に取り組まれていました。保守的になりがちな宮崎人として、その姿勢は大変刺激になりました。またそのような前向きな姿勢が谷口先生の教授への道を切り開いたのではないかと思います。

先生のご専門は肩関節外科ですが、手外科グループは人手が足りないので、手外科に関する外来、手術の執刀や助手など、たくさん助けていただきました。学年では私よりかなり上になる谷口先生ですが、嫌な顔一つせず、手外科のお手伝いをしてくださるので、谷口先生をついつい頼りすぎているのではないかと反省しています。矢野先生と谷口先生と3人で入った手術はすごく楽しかったですし、宮大の術式とは違う方法で行う手術も大変勉強させていただきました。短い間でしたが、



本当にありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げます。谷口先生ともうお仕事できなくなり、あの楽しい毒舌が聞けなくなると思うと寂しいですが、またどこかの学会でお会いできるのを楽しみにしています。

当教室の帖佐教授もご多忙にもかかわらず、色々な相談に乗ってくださり、細かい心遣いをしてくださる教授ですので、いつも尊敬と

ともに感謝しています。谷口先生も帖佐教授同様とてもお話ししやすいので、医局員の声に耳を傾け、相談に乗ってもらえたら、きっと鹿児島大学整形外科医局員のみなさんも心強いだらうと思います。

今後さらにご多忙を極める日々を過ごされると思いますが、どうぞお身体に気を付けてください。宮崎から谷口先生のご活躍をお祈り申し上げます。



## 谷口先生寄稿文

橘病院 花堂祥治

谷口先生、鹿児島大学整形外科教室主任教授ご就任おめでとうございます。

先生が宮崎大学整形外科にご着任後、H27年4月より当院火曜日の午後外来にお手伝いに来て下さるようになりました。そのおかげで肩関節疾患の患者さんの診断に苦慮していた我々スタッフは大いに助かることとなりました。また、先生の親しみやすい人柄もあり、みるみる患者さんが増加しました。エコーガイド下の肩関節関連の注射のテクニックも当院スタッフは経験が乏しかったため、挙がらなかった肩が注射後直ちに挙上できるようになった患者さんがたくさんいたことには大変驚かされました。

当院では川越秀一先生は鹿大卒業ですし、

彼の尊父と当院理事長の矢野先生は鹿児島大学整形外科教室の同門会員です。当院で勤務していただいた先生の鹿大就任は喜ばしい限りです。地理的にも都城は県境のため鹿児島県からの患者さんも多数来られます。都城地区の開業医の先生方の中にも鹿大出身はたくさんいらっしゃいますし、都城市郡医師会としても研究会や講演会を今後ますますご依頼することが予想され、今から楽しみにしているところです。

これからの鹿児島大学と関連病院でのご活躍はもちろんのこと、我々宮崎大学同門一同ともぜひ懇意にいただき、今後ともご指導いただきたいと存じます。



## 谷口昇先生 教授就任にあたって

宮崎大学医学部整形外科学教室 川野啓介

谷口先生、鹿児島大学整形外科教授ご就任おめでとうございます。

先生と初めてお会いしたのは、自分が大学に戻った2013年？頃と記憶しております。当時は救急部助教として特に外傷の治療の際に先生には度々お世話になりました。仕事ではグループも別だったこともあって交流は少なかったのですが、2016年夏に偶然一緒になっ

てお酒を飲んだのが一番の思い出です。丸万の地鶏を肴に先生の仕事や留学、人生観について話を聞いたのは非常に良い経験でした。

「30代の頃は何も考えずに仕事をした方がよい」と言われていたことがとても印象に残っております。自分も30代の半分以上が過ぎ、今後精進していきたいと思えます。

谷口先生 おめでとうございます！





## 谷口昇先生 教授就任にあたって

宮崎大学医学部整形外科学教室 李 徳 哲

谷口 昇先生、鹿児島大学整形外科教授就任まことにおめでとうございます！

谷口先生は私が宮崎市郡医師会病院勤務中に宮崎大学に赴任なさり、肩の先生、impact factorが100を越えているという噂のみ耳にしておりました。嵐の二宮君主演ドラマ-ブラックペアンを観ていると、東城大学と帝華大学の両教授のimpact factorが70前後なことから、その凄さうかがい知れます。

谷口先生との初コンタクトは2014年リオデジャネイロで開催されたSICOTでした。マラカナンスタジアムでのサッカー観戦、本場のシュラスコ、コパカバーナビーチでの美女watchingを楽しみました。毎年リオで学会があればいいのに。昨年と同門会誌にも書きましたが、帰りの宮崎空港の手荷物待ち時間に「帖佐教授から聞いたんだけど、李は大学院に入るんだって？」と寝耳に水のことを言われ、医局の机には入学願書が置かれていました。その後、忘れもしない大学研究棟の真っ暗な21時ころの踊り場で、帖佐教授、谷口先生に囲まれ、「李は肩の研究をやりなさい。」と告げられました。脊椎外科の修行を開始したばかりの私は正直とまどいましたが、何事もまずはチャレンジしてから考えようと始めた研究が、腱板にとどまらず、骨格筋の変性の起源や間葉系細胞の分化に迫る研究となり、海外journalにも投稿できました。今後も傍脊柱筋の異所性脂肪とサルコペニアと

いう脊椎分野での臨床、基礎研究につなげていくこととなり、思い切って大学院に入って世界が広がりました。

この研究期間中、日整会、日整会基礎、ORSなどで発表をでき、サンディエゴでのWBC観戦ができたことも、谷口先生に勧められ基礎研究を始めたからだと思います。左ハンドルをかつ飛ばしてアメリカの西海岸をLAまで爆走していた先生は輝いていました。

実際研究においてまず最初にしたことは、谷口先生と一緒に熊本大学までラットモデルの作製を習いにいきました。毎週火曜に息がつまるような動物実験室でラットの腱板を切ったり、棘上筋のみをきれいに切り出したりと一緒に汗をかいて下さりました。また、先生が勤務していた米国Scrips研究所（ノーベル賞受賞者輩出歴あり！）から直接細胞や試薬、情報を取り寄せて下さり、実験が飛躍的に進み、世界とつながっているなあと思わされました。最も学んだことは、研究は何より行動力が大事で、何度もtry and errorを繰り返す根性がないとダメだということです。

谷口先生は毎晩一番遅くまで病院に残り、何本も論文を書いていた。教授がこんなにパワフルでストイックだと、鹿児島大学の医局員も引っ張られて実績を挙げていくと思われれます。我々宮崎大学のメンバーも負けてられません。谷口先生、その子弟たちと学会の場で議論を戦わせられる日を楽しみにしています。



## 谷口昇先生 教授就任にあたって

県立延岡病院 整形外科 戸田 雅

この度平成30年4月1日をもって谷口昇先生が鹿児島大学大学院医歯学総合研究科先進治療科学専攻運動機能修復学講座整形外科学の教授に就任されました。当原稿のお題を頂きましたので、（私なんかで良いのかなと思いつつも）筆を取らせて頂きます。

私の谷口先生との出会いは平成27年4月ですが、実際よくお話しするようになったのは私がスポーツ上肢班で勉強させて頂くようになってからでした、内気ですみません。スポーツ上肢班に私と同時期に長澤先生が異動となったこともあり、谷口先生の手術に多く助手として参加させて頂いたのを覚えております。肩の関節内観察をさせていただきとても勉強になりました。また非常に気さくで、かつ私に海外留学の勧めを多くして下さいました。まず同じ日本人とのコミュニケーションも怪しいのではないかと考えている私ですが、経験談なども多く話してもらい、海外留学への楽しそうな印象を抱いているのは谷口先生の影響が大きいと思っております。仕事

終わりに一緒にご飯にも行って、地鶏のお店を気に入って何回か行きました。まだあのお店残っているのでしょうか。スポーツ上肢班での勉強期間が終わっても、お会いするたびに「元気している！？またあの焼き鳥屋行こうや！」と声をかけていただきほんとうにありがたく思っております。

そして今回鹿児島大学整形外科学の教授選に出馬され、見事教授就任されたことに、本当におめでとう気持ちしか出てきませんでした。去る3月21日に谷口先生の壮行会が盛大に行われました。自分も参加し、直接お祝いの言葉をお伝えできました。

臨床も研究も積極的にされている谷口先生ですので、同教室を桜島のようにより大きく、時に世界へ届ける発信をする教室にしていくのだと思っております。

最後になりましたが谷口先生、鹿児島大学整形外科学教授就任本当におめでとうございます！



## 谷口昇先生 教授就任にあたって

宮崎大学医学部整形外科学教室 永井 琢哉

谷口昇先生、教授ご就任誠におめでとうございます。

谷口先生とは診療グループが異なる事もあり、あまり多くお話しする機会はありませんでしたが、先生のこれまでの研究生活のお話を伺うことができ、私自身大学院生として研究に身を置いていることもあり、研究者としてのmindを教えていただいたと思います。また、臨床の現場で感じた疑問や問題点

を解明し、患者様に還元するという医者としての原点とも言えるようなお仕事をされていることにも大変感銘を受けました。今までも鹿児島大学の先生方には大変お世話になっていましたが、谷口先生が鹿児島大学に赴任されて、これまで以上に交流を深めていければと感じています。今後ともよろしく願い致します。



## 谷口昇先生 教授就任にあたって

串間市民病院 北島 潤弥

この度は教授ご就任、誠におめでとうございます。

谷口教授とは半年間、宮崎大学整形外科、スポーツ上肢グループで一緒に働かせて頂きました。手術や臨床の現場でもご教授頂き、非常に勉強になりました。患者さんの背景もしっかり考えられ、北島だったら手術するか？など話したのも印象に残っています。グ

ループが変わってからも声をかけて下さり、自分が発表の準備で困っていると、わざわざ論文を見つけて、教えて下さったりもしました。優しく、気さくで教育熱心な先生でした。

今後も鹿児島大学を中心としてご活躍なされ、また、ご一緒できる機会があればご教授頂きたいと思っております。



## 谷口 昇 先生

橘病院 川越 秀一

この度は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科先進治療科学専攻運動機能修復学講座整形外科学教授へのご就任、心よりお祝い申し上げます。

谷口先生には、特に私が入局2年目に上肢グループにいたときにお世話になりました。主に腱板修復術や人工関節置換術に助手として入らせていただき、和気藹々とした雰囲気ながらも懇切丁寧にご指導いただきました。それまで少し抵抗のあった肩の解剖や病態について興味をもって学ばせていただけたことは非常に貴重な経験となりました。野球部としても後輩であり、淡々としながらもチャンスを見逃さず結果を出される姿をみて、私もそうありたいと常日頃思いながら、時々ではありますがバッティングセンターに通っており

ます。また、プライベートな飲み会などにも時々誘っていただき、そこで海外に滞在されていた頃や下積み時代の貴重なお話を交えアドバイスをいただきました。

谷口先生から学ばせていただいたこれら全てのことが、今後医師の在り方や進路に迷った際の羅針盤となります。誠に感謝しております。ありがとうございました。

鹿児島大学は私の出身大学でもあります。もし、何かの折にご一緒させていただく機会があれば、その際には微力ながらお力添えできればと思います。

今後益々お忙しくなられるかと思いますが、くれぐれもご健康にはご留意され、先生の更なるご躍進とご健康を心よりお祈り申し上げます。



## 谷口昇先生 教授就任にあたって

宮崎市郡医師会病院整形外科 吉留 綾

この度の教授ご就任、心よりお祝い申し上げます。

そして、このようなお祝いの言葉を述べさせていただく機会をくださり有難うございます。

私が整形外科に入局して最初にローテートしたのが上肢スポーツグループでした。その頃は今以上に右も左もわからない状態で一つ一つ勉強しながらの毎日でしたが、谷口先生の手術の助手をさせていただく機会も多く、いつも基礎的なことから丁寧にご指導してくださいました。精力的に研究や学会発表をされている先生ですが、医局やグループの飲み

会ではとてもフレンドリーに色々な話をしてくださるので身近な存在にも感じられました。

個人的には私も鹿児島県出身ですので、谷口先生が教授に就任され鹿児島の地域医療を盛り上げていってくださることをとても嬉しく思っています。しかし、負けてられない！というライバル心もありますので、私自身は宮崎でこつこつ精進したいと思います。

今後益々お忙しくなられるかと思いますが、くれぐれも健康にはご留意ください。

谷口先生のさらなるご活躍をお祈り申し上げます。







## 第12回宮崎整形外科医学奨励賞

福島外科胃腸科医院 福島克彦

初めに、このような名誉ある賞をいただき、同門会長・教授をはじめ、今まで指導していただいた先生方に感謝します。

従来、大腿骨頸部骨折に対し、前側方アプローチであるDall変法で人工骨頭挿入術を行っていましたが、術中・術後のインプラント周囲骨折が散見されました。合併症がさらに少ないアプローチに変更しようと模索していた時に、橋病院柏木先生が誘われていたSuperPath approach cadaver training（フェニックス、アメリカ）を譲って頂き、平成28年7月に受講しました。



Cadaver training

SuperPath開発者のDr. Jimmy Chow（St. Luke's Medical Center）

SuperPath approachは中臀筋と外旋筋群間から行う筋間アプローチで、術中に必要があれば標準的な後方アプローチに変更することが可能です。平成28年8月より導入し、現在まで、68症例の人工骨頭置換術を行いました。術後8日のステム周囲骨折1例を認めましたが、感染・脱臼などは認めていません。術後の姿勢制限・荷重制限が必要なく、早期ADLの回復が期待でき、高齢者にとって適したアプローチです。THAを中心に全国で手技が広がっています。人工骨頭置換術においても理想のアプローチですので宮崎でも普及できればと思っております。ご依頼があれば手術・助手をしに出向き、お手伝いができたらと思います。

最後に、若い先生に対し、先輩方が築き上げたチャンスを利用して学び、その技術を後輩に伝承することを期待します。



## 第12回宮崎整形外科医学奨励賞を受賞して

宮崎大学医学部整形外科学教室 黒木 修 司

このたび栄えある「宮崎整形外科医学奨励賞」を受賞させていただくことになり誠にありがとうございました。今回の受賞は私の大学院での研究課題でした「骨軟骨疾患に関する新規遺伝子群の探索」について、雑誌「Scientific Reports」へ発表し学位取得できたことをご評価いただいたものです。

私が大学院で研究を始めようと思ったのは、整形外科専門医を取得し国立宮崎病院から大学病院への異動のお話をいただいた時でした。同期の船元太郎先生が大学院で研究をしている話を聞いていましたので、船元先生が当直中の病院に差入れを持って行き、研究がどんなものか？大学院生活はどんなものか？いろいろ話を聞かせていただき勇気ももらったのを覚えています。平成21年4月に大学に戻って大学院に入学しましたが、最初の2年間は臨床が中心の毎日で、月に1～2度だけ時間をいただき研究室を覗いておりましたが、もちろんその程度では研究らしい活動ができる知識も技術もなく、飼育しているマウスのケージ交換や動物センターの掃除、船元先生が当時研究されていたOASISという遺伝子をノックアウトしたマウスの解剖のお手伝いなどを行っていました。当時の研究室は机やソ

ファーなどの備品がなくて、動作解析の研究を行っていた河原勝博先生と船元先生と私で、年度末の大学の廃棄処分場からまだ使えそうだった備品を調達してきて研究室を充実しました。その後、研究を中心に活動させていただけるようにご配慮いただき、関本朝久先生が大学院で研究をされた研究室である熊本大学生命資源研究・支援センターから「可変型遺伝子トラップ法」という手法で遺伝子をノックアウトしたたくさんのマウスの骨サンプルやマウスを譲渡していただき、関本先生の御指導のもとでその骨表現型の評価を行い、骨軟骨代謝に影響を及ぼす遺伝子を探索する研究を本格的に始めました。

研究を続けていくと、たくさんの人のサポートとお金がかかることが分かりました。熊本大学から譲渡いただく骨サンプルは丁寧な仕事で綺麗に軟部組織が除去されていました。譲渡いただくたくさんのマウスは熊本大学で先進的な技術で1年間をかけて作製されたものでした。最終的に52の遺伝子をトラップしたマウスラインの骨表現型解析から論文を作成しましたが、それまでに1000頭以上のマウスを解剖し膨大なデータの解析が必要でした。私たちも譲渡いただいたマウスを飼育

しておりますが、多いときには500頭以上のマウスを飼育・交配し、生まれてきたマウスの遺伝子チェックを行うなど、研究体制を維持するだけでも相当なマンパワーが必要でした。また骨表現型の評価に必要なマイクロCT、力学試験機、培養環境など高額な機器類は帖佐教授にご購入いただきましたし、様々な実験を行うには他の研究室で経験豊富な実験助手のスタッフが必要でしたが、その環境も整えていただきました。またタンパクや遺伝子の発現評価を行う際に必要な試薬などは関本先生や私たち大学院生の獲得した科研費だけでは厳しく教室や同門会からも援助いただきました。

大学院の研究生活の途中からは脊椎班で外来のみ担当させていただき、濱中秀昭先生を

はじめ脊椎班の先生方にOPEをお願いするなどサポートをいただきました。個人的には研究ばかりでは臨床力に不安があったため、国立宮崎病院では安藤徹先生の御指導のもとで手術のお手伝いをさせていただき研究に集中できる環境を与えていただきました。このように直接的に御指導や研究環境を整えていただきました帖佐教授、関本先生、そして熊本大学の先生方だけでなく、一緒に研究を行ってくれた船元先生や後輩の先生、宮崎・熊本両大学の研究助手の方々、教室や同門の先生方など数多くの方々のご協力をいただき形にすることができました。この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。



## 第12回宮崎整形外科医学奨励賞 受賞にあたって

宮崎江南病院 整形外科 甲斐糸乃

「3か月頑張っ、それでもきつかったら辞めていいよ・・・」その言葉がなかったら、今の私はいなかったと思います。整形外科に入局したのは2002年。ワールドカップ日韓共同開催で盛り上がる中、医師としてのキャリアがスタートしました。当時上司だったスポーツ上肢班の先生たちが許可くださったおかげで、入局2か月目にも関わらず韓国にまで行ってワールドカップの準決勝を見ることが出来ました。その時は本当に、整形外科に入局して良かったと思っていました。しかしそれから数か月たち、人生の岐路に立っていました。本当に辛い時期でした。今思えば、ただの甘えだったのだと思います。ですが、その時はまだ人格形成も未熟な新入局員。少し仕事に慣れ始め、そして、医師になりたてで熱い正義感を振りかざしていたのだと思います。思い通りにいかない、理不尽な責を負っているそんな気持ちから、本当に仕事を辞めたくて、辞めたくて、辞めたくて。そんな中、母と電話で話している時のことでした。自分の思い通りにいかない歯がゆさから、涙がこぼれました。口を開けば涙が溢れてくる。何かを話せば涙が止まらなくなって。堰を切ったように号泣していました。「もう辞める。やってられない。なんでこんな所になきゃいけないの！」そんな言葉を母にぶつけていました。黙って聞いていた母が発した言葉が、最初に記した言葉です。裕福な家庭ではなく、経済的にもギリギリの状態で大学に行かせてくれていたのは分かっていました。そうやって医師になったのだから、しっかり働いていかなければ、そう思っていました。なのに、まるで両親が悪いかのよう

に当たり散らして。思い出すだけで吐きそうになります。それでも、「辛かったら辞めていいよ」って言ってくれたのは、本当にありがたかったです。その時、実際は3か月たってもどうせ辛いから辞めてやるぐらいに思っていたのは確かです。でも、不思議なもので3か月たつ頃には仕事が面白くなっていました。あの時、辞めていれば今の私は何をしているのでしょうか？もしかしたら、逆に別の幸せをみつけて生きているかもしれません。一部のみなさんが心配してくださっている結婚をして幸せな家庭を築いていたかもしれません（笑）。

そんな風に私の整形外科医としての人生は始まって、気づけばだいぶキャリアを重ねています。手外科医を目指すなんて、当然その時は微塵も考えていませんでしたが、今こうやって腰をすえてやれているのだから、不思議なものです。

今回受賞させて頂きましたテーマは「手外科医への道～模索する日々～」ですが、この題名に込めた思いは、手外科医を目指すまでの過程での模索、手外科専門医取得にむけての模索、そして現在の日々の診療における模索です。それらを少し記させていただきます。

もともと私は環境に流されやすい性格なので、自分の置かれた状況ですぐにやりたいことが変わっていました。実際に私の思考経過を簡略化して示すと「スポーツ」→「腫瘍」→「外傷」→「脊椎」→「外傷」→「手外科???」→「下肢」→「外傷」→「手外科」となります。決して最初から手外科を目指していたわけではないですし、入局したての時はただか1針縫うのにも手が震えてい

たので、「上肢班はないな」と思っていました。私の中に「手外科」というワードが最初に芽生えたのは、県立延岡病院から大学に異動になる時でした。県立延岡病院では再接着の前立ちをさせてもらったりしていたので、少しずつ手外科には興味を持ち始めていました。ですので、次の異動先は大学と言われた際、医局長に「何班がいい？」と問われ「上肢班」と答えていました。結果は「定員オーバー」との答えで、下肢班に所属することとなりました。当時は複雑な立ち位置だったので、納得のいかない気持ちもありましたが、今振り返ればこれが良かったのだと思います。この時の下肢班は救急部立ち上げに伴い重度四肢外傷患者が増加傾向にありました。骨折の治療はできるけど、自分たちで軟部組織再建ができない。しかも、その当時は大学病院に形成外科もありませんでしたので大学内でも治療を完結できない。そのジレンマがいつもありました。理想とするところは「治療を最初から最後まで完結させること。」当時はまだ若かったので、何でもやれることはやりたいと思っていたのです。（あ、今はもう年ですしゆっくりしたいので、考えは変わりました）この時に自分で皮弁をあげられるようになりたいと思い始めたのが手外科へのきっかけになりました。その後、宮崎善仁会病院でたくさんの症例を経験させて頂きました。黒田先生に教えて頂いたこと、させて頂いたことが自分の礎になりました。前任の河野先生の患者さんを受け継ぐ形となったため、手外科関連疾患が多く、ようやく真剣に手外科を勉強する気になりました。日本手外科学会入会したのが、2012年5月なので10年目の時になります。そして2014年、とうとう大学のスポーツ上肢班に入ることになりました。

これから先、手外科医を目指していく。そう覚悟を決めた時でした。随分遠回りをしたのかもしれませんが、「過去の自分が今の土台になる」と今は確信しています。

手外科医を目指したものの、「宮崎では手外科専門医はとれないんだよ」と以前聞いたことがあり、手外科専門医をとることはあまり真剣に考えていませんでした。確かに手外科専門医を大学で取得するのは無理でした。

県外に勉強をしに行きたい気持ちもありましたが、環境的にも難しくまた専門医取得に必要な3年間は流石に無理です。何か方法はないかな？と日本手外科学会のホームページを確認していたら、宮崎江南病院に辿りつきました。

そして、形成外科の大安先生のご厚意で宮崎江南病院での研修を受け入れてもらえることになり、2015年4月から宮崎江南病院勤務となり現在に至ります。しかし、問題は山積していました。学会発表しようにも症例がない、紙カルテで検索がかからない、画像システムは電子化されているけど2013年以前のフィルムがない、形成の手術に入りたくても整形外科の仕事で手一杯、そんな月日に翻弄されています。それでも、宮崎江南病院整形外科の先生たちが、部長をはじめとして申し訳ないぐらい協力をしてくださるので、なんとか少しずつ条件を満たしているところです。本当にありがたいです。

そして、現在は日々の診療に悩みもがき苦しみといったところです。「3か月頑張ってる、きつかったら辞めていいよ」と言われてから16年近くが経とうとしています。今では二日に一度は何かしらぼやいています。それでも、毎日頭を抱えながらも多岐にわたる疾患に対峙して、症例を重ね専門医試験の受験資格取得に向けて粉骨砕身しております。

本当に手外科疾患は様々で、色々なことを経験できます。手外科ではない別の部位の手術にもつながります。若い先生たちにも沢山手外科疾患に触れてほしいです。興味を持ってもらえたらと思いつつ、私の話を終わりたいと思います。

最後になりましたが、この度は栄えある宮崎整形外科医学奨励賞を受賞させて頂き誠にありがとうございます。この場をかりまして、同門会の先生方、またご指導くださいました先生方に厚く御礼申し上げます。日々研鑽し、自分を更に高めて行きたいと思しますので、これからもご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。



## 学位取得報告

宮崎大学医学部整形外科学教室 黒木 修司

私は2009年4月に宮崎大学大学院医学系研究科医学専攻課程に入学し、2017年6月になんとか無事に同課程を修了する事ができました。

大学院での研究テーマは「骨軟骨疾患に関与する新規遺伝子群の探索」です。骨粗鬆症などのロコモティブシンドロームの病因・病態解析のために、新規骨代謝関連遺伝子同定のための効率的な骨表現型スクリーニングシステムを開発し、骨軟骨に異常をきたすノックアウトマウスライブラリーを構築しました。この成果を2017年に「Scientific Reports」誌に発表し、2017年5月の学位論文審査を経て学位取得をすることができました。

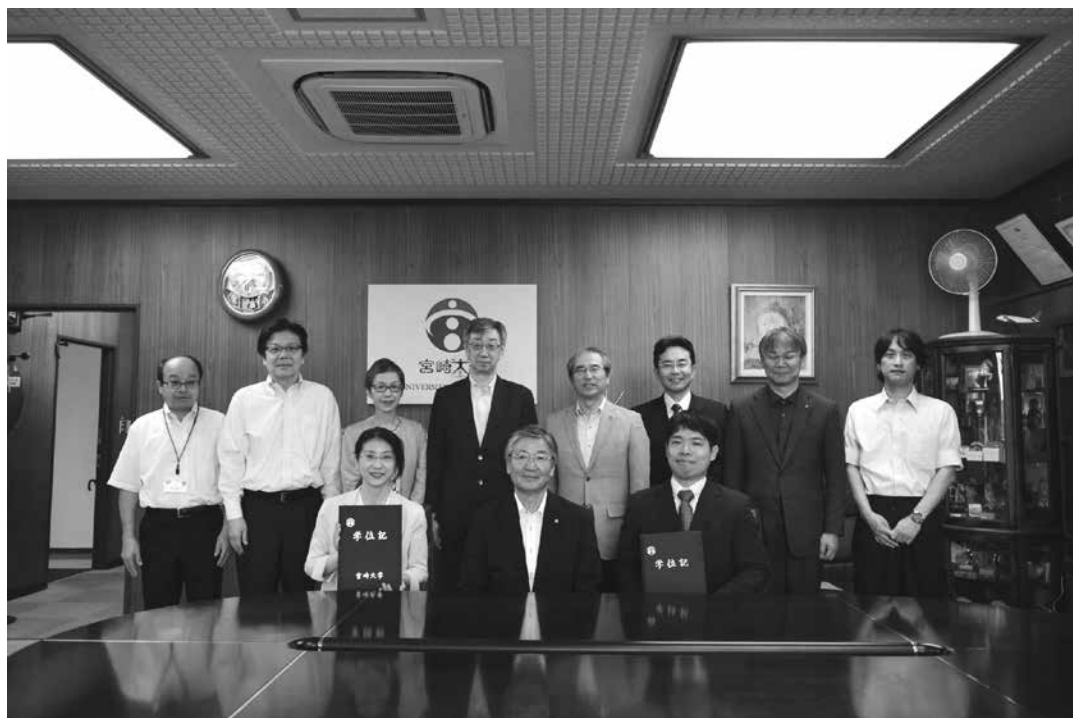
もともと、この新規骨代謝関連遺伝子のスクリーニング手法については関本朝久先生が立案されたもので、関本先生が大学院時代に研究されていた熊本大学生命資源研究・支援センターで開発された遺伝子を破壊する技術「可変型遺伝子トラップ法」による遺伝子改変マウスのデータベース「EGTC」を用い、骨代謝に異常を示しそうなマウスをピックアップしてそのマウスの骨を熊本大学よりいただき骨表現型をマイクロCTや骨力学試験、組織学的な評価や骨代謝関連遺伝子の発現評

価を行います。それらの評価で面白い骨表現型が見られたマウスは実際に生きているマウスを熊本大学から譲渡いただき、当科で飼育し数を増やして再度同様の評価を行い、さらに詳細な組織学的評価や遺伝子発現評価、細胞培養などを行いました。同時並行して、そのマウスの遺伝子が具体的にどの部位でノックアウトされているのか、詳細な遺伝子の構造解析も行い、次第に詳細な骨代謝に関与するノックアウトマウスライブラリーを構築することができました。現在も各遺伝子改変マウスの解析は進展しております。

関本先生が熊本大学大学院へ研究に行かれたのは、当時の田島直也名誉教授が熊本大学の山村研一先生の御講演を聞かれて感銘を受け関本先生に指示されたのが始まりと聞いております。その山村先生も関本先生に、次につながる研究者を育てるように指導されていたと聞きました。今回の研究は帖佐教授と関本先生のご指導の下で行われましたが、そこにはずっと以前から温め続けてきた伝統があると強く感じました。現在、私よりもはるかに優秀でアクティブな後輩の先生方が、本研究で特に骨代謝に異常を示したマウスラインの解析を行っており、論文を作成しています。

引き続きこの研究が進展できるように微力ながら応援してまいりたいと思います。本研究は教室や同門の先生方の多くのサポートによ

り進展してまいりました。改めまして御礼申し上げます。ありがとうございました。





## 報告：学位取得

宮崎県立こども療育センター 川野彰裕

平成30年2月に学位を取得しましたのでご報告させていただきます。

平成22年4月に宮崎大学に高度専門職業人としての医師・獣医師及び研究者・教育者の養成を主眼とし、医学・獣医学の発展と社会の福祉の向上に寄与することを使命とした、宮崎大学大学院医学獣医学総合研究科が新設されました。帖佐教授の勧めがあり、その一期生として平成22年4月に医学獣医学専攻博士課程の高度臨床医育成コースに入学いたしました。29名の一期生の内訳は、医師が4割、獣医師が4割、残りが看護師や外国人留学生といったところでした。医学部と獣医学部が一緒になった大学院は全国でも初であり、文科省からも特別予算が組まれているとのこと、1年生の終わりには国からのヒアリングも受けました。獣医師にとっては、医学部の研究機材が使いやすくなるということで期待度が高いようでした。私にとっても、獣医学部の講義は興味深いものがありました。芝生の遺伝子の勉強をしたり、電子顕微鏡でアリなどの昆虫を観察したり、医学部ではなかった講義を受けることができました。

当初は、せっかく大学院に入学したのだから、やはり基礎研究を何かしてみようという気持ちもありましたが、通常の勤務を療育セ

ンターで行いながらの研究は難しいと思い、臨床研究で論文をまとめることとしました。ちょうど痙性麻痺に対する治療として、ボツリヌス毒素療法が日本で広く行われるようになった時期で、当センターは小児脳性麻痺患者に対する治療症例数は全国でもトップクラスでした。そこで、当時の柳園所長のアドバイスでボツリヌス毒素療法を臨床研究のテーマとしました。ボツリヌス毒素療法は、食中毒の原因菌であるボツリヌス菌が生成するたんぱく質を成分とした毒素製剤を痙縮のある筋に施注し、その筋を弛緩させる治療法です。

研究の内容としましては、下肢痙縮に対してボツリヌス毒素療法を行った腓腹筋の筋構造（羽状角、筋束長、筋幅など）の変化を、超音波エコーを用いて経時的に行い、筋への影響を臨床的評価するというものです。特に筋緊張の指標となる羽状角に注目し、健常群との比較や経時的な変化を検討し結果をまとめ報告しました。ボツリヌス毒素療法により羽状角が減少し、痙縮による筋緊張が緩和し弛緩性の筋繊維の構造変化が生じたことを示す結果でありました。学位論文は“Ultrasonographic Evaluation of Changes in the Muscle Architecture of the Gastrocnemius with Botulinum Toxin



Treatment for Lower Extremity Spasticity in Children with Cerebral Palsy”というタイトルでJournal of Orthopaedic Science 23/2(2018)に掲載されましたので読んでいただければありがたいです。掲載決定後、平成30年2月2日に学位論文審査会があり、2月22日に大学院卒業、学位授与となりました。学位審査会では人生一番の緊張状態でしたが、多くの医局の先生が応援にかけつけてくれ無事にプレゼンテーションすることができました。

大学院入学を勧めていただいた帖佐教授をはじめ、研究テーマを与えていただいた柳園賜一郎先生、データ集計や計測を協力してくれた療育センターの門内一郎先生、梅崎哲矢先生、本当にありがとうございました。また、大学院在学のもろもろにおきましては、事務

の島田まゆみさんには大変お世話になりました。この紙面をかりまして御礼申し上げます。

最後になりますが、私は大学院に38歳で入学し46歳で卒業しました（4年+2年留年+2年休学）。入学の動機は軽いノリと勢いだけでしたので、8年間のなかで何度も挫折しました。土日の講義も大変で、論文作成、投稿、査読後修正も想像を絶する厳しいものがありました。しかし、論文がAcceptされた時の喜び（医局のPCの前で泣きました）と卒業した時の達成感は何とも言えません。臨床医であっても、最後までやり通せば、自分の仕事を文字に残せることができます。一人でも多くの仲間、後輩にこの達成感を味わってもらいたいと思います。おそらく46歳の学位取得は宮崎大学整形外科教室最年長記録ではないでしょうか（笑）。



学位論文審査会



学位記授与式



## SICOT ケープタウン放浪記

宮崎大学医学部整形外科学教室 日吉 優

宮崎大学病院の日吉です。2017年11月29日～12月3日までの5日間、南アフリカはケープタウンで開催されました38th SICOT(International Society of Orthopaedic Surgery and Traumatology)Orthopaedic World Congressに宮崎大学から帖佐教授、山口洋一朗先生、日吉の3名で参加してきました。

御察しの通り、南アフリカ、さらにその南の端ですから移動だけでも大変です。羽田からシンガポールはチャンギ空港に行き、シンガポールからヨハネスブルグ、そこから国内線に乗り換え目的地のケープタウンに到着しました。総移動時間はフライト時間だけで宮崎から22時間20分、トランジットが合計4時間50分ですから行きと帰りで1日ずつかかることになり、よもや褥瘡ができるくらい座り続けていました。

ケープタウンに到着するとホテルまでの車窓からはケープタウンの真ん中にそびえ立つ Table mountainが見えてきました。こちらには後ほどツアーで訪れ、ゴンドラで登った頂上は肌寒く、ケープタウンを一望する景色が眼下に広がり、また、山の頂上で雲ができていく瞬間をみることができ、それは素晴らしい景色でした。

ケープタウンは犯罪率から世界でも13位の危険な都市であり、出発前には海外経験の豊富な田島(卓)先生から、ケープタウンの恐

ろしさを重々に教えられていましたし、ホテルの部屋にさえ貴重品を置いておくなといった札もあって、昼間であっても一人で出歩くといったことはしないようにしていました。クレイジージャーニーの丸山ゴンザレスよろしく山口先生と昼間に少し遠出をして地元の街中を歩いてみましたが、観光客が何か盗まれて全力で走り去っていく黒人とそれを追いかける白人を目の当たりにし、そのエリアから即座に脱出しました。

学会場では自分と洋一朗先生は自分たちのポスターを会場で一緒に確認し、自分は文字などズレまくっており、そっとPCを閉じました…。

自分はTraumaを中心に演題を聞いていました。そこは地域がらGun-shotが多いことや、救急搬送まで2日かかる、透視がない病院での髄内釘、工業用ドリルを用いた成績などなど、日本で当たり前に行っていることのありがたさを身に染みて感じたと同時に自分の身一つでは何もできないことを感じ、技術を身につける事の大切さを感じました(ブラックペアの渡海先生の言葉が刺さります…)。

海外の学会の楽しみの一つでもありますが、日本では見たこともない器械(30mmくらいはありそうな、ぶっといッ-nailや機械や螺子がセットでパッキングされた橈骨遠位端のplate setや最近流行りのVRを活用した手術など)をみることや体験することができまし

た。ここでも中国企業の進出が激しく、中国のたくましさを実感すると共に、中国経済の今後の更なる成長を垣間みて、日本経済に不安を感じた気がします。

別の観点からは、骨折治療学会で親しくなった先生に偶然にも再会し、食事を御一緒し、情報交換ができたり、ケープタウンの病院で無給で外傷外科研修をしている研修医時

代の後輩に再会することができ、よい刺激をもらえましたし、その場で半ば強引に宮崎救急医学会での講演を引き受けて頂きました。

最後になりましたが、このような機会を与えて頂きました帖佐教授、留守の間、御負担をかけている先生方、ならびに同門の先生方に感謝申し上げます。

写真1：ケープタウン到着



写真2：日本ではお目にかかれない器械など



写真3：パネルディスカッションの風景：6人中3人欠席



写真4：テーブルマウンテンとケープタウンの街並みとペンギン達と喜望峰



写真5：荷物を即座に盗まれるであろう教授





## 国際学会に参加して

宮崎大学医学部整形外科学教室 山口 洋 一 郎

2017年11月30日～12月02日に南アフリカのケープタウンで開催された38th SICOT Orthopaedic World Congressに参加させていただきました。

宮崎空港から羽田空港に飛び、羽田～シンガポール～ヨハネスブルグ～ケープタウンと合計で21時間のフライトでした。シンガポール航空は機内サービスも好評で席は狭いながらもそこそこ快適なフライトでした。機内食は今一つでしたが・・・

ケープタウン国際空港に到着し、ホテルまでの送迎車を探すのですが、どこにいるのかさっぱり分かりません。地球の反対側まで来ているということもあり、不安は募ります。その辺に送迎会社の担当者は何人もいるので手当たり次第に聞いていくと、教えてもらい事なきを得ました。かなり巨大な車に3人乗車し、ついにケープタウンの道路へ飛び出します。まず目に入ってくるのはテーブルマウンテン。町のシンボルだということで、日本でいう富士山、宮崎でいう青島のようなイメージだろうか。すごいなあ！と見ていたら、「テーブルマウンテンはそっちじゃない、こっちだ」と言われ、そちらを向くと町のすぐ近くに巨大なテーブルマウンテン(本物)がそびえ立っていました。

ホテルはコンベンションセンターにほど近

い場所にあるきれいなホテルでした。非常に洗練された街区であり、道も広くあまり治安も悪そうには見えません。学会会場までは徒歩3分ほどで、安心です。ケープタウン全体が渇水により水使用制限があるようで、ホテル内のプールの水は不安を覚える状態ではありましたが・・・

その日はウォーターフロントという巨大ショッピングモールに行って食事をしました。シーフードレストランに入り、ウェイターのオススメを依頼するとシーフードの盛り合わせが出てきました。これが尋常じゃなく美味しい、そして量が多い。メニューには2人前と書いてあるのだが、ウェイター自らが「4人でちょうどいいぞ」というくらい量。ロブスターに正体不明の白身魚、イカやムール貝、そしてエビ・・・が山盛りになっており、値段は日本円換算で¥12000程と安いわけではない・・・と。ケープタウンで思ったのは、決して観光客が行く場所の物価は安くはないが、ワインは安くておいしいものが多い、ということでした。現地ではビーフ・チキン・ダチョウ・ワニ・スプリングボックといった肉も提供されました。スプリングボックはガゼルのような四足動物で、学名"Antidorcas marsupialis"というらしい。"Antidorcas"とは、「ガゼルではない」という意味だそうです。

す。(wikipediaより)

食べ物の話はこのくらいにして学会の話へ移ります。学会会場はシンプルだが先進的な作りでした。アフリカ大陸での開催なので、有色人種の方が数は多そうな印象でした。民族衣装で来ている方も少数いらっしゃいましたが、ほとんどの参加者はフツーにスーツです。発表の内容も日本では絶対に見れないような内容が多々ありました。特に印象に残っている二演題は「○トライカー社製ドリルと○ッシュ社製ドリルについての比較検討」と「透視を使わずに髄内釘を挿入するときのテクニック」でした。

○ンズマンに売ってあるようなごく普通のドリルの方がサービスステーションも多いし、壊れないし、安い！滅菌カバーかけてこんな風に使えば大丈夫だよ！という内容で、自分としては衝撃でした。そんな風に思ったことがないとは言いませんが、日本ではとてもじゃないけどできないでしょう。後者の演題では、演者が「外傷センターでも、X線透視装置がある病院は限られている」という序文を書いていたのが印象的でした。発展途上国ならではでしょう、術中の写真もちょっと突っ込みどころが多かったですが面白い内容でした。

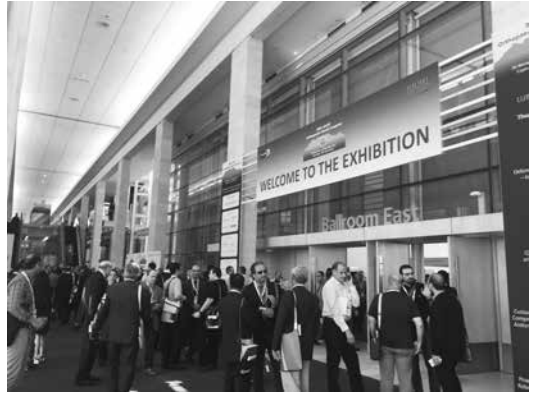
オーラルでの発表の仕方も少し国内学会と違っていましたし、何より発表当日にその場にいない演者の多いこと！座長が「2人演者が来てなかったけど、発表も質疑応答も時間をオーバーしたからちょうど良かったね！ハハハ！」と言っていたり・・・来ていない演者は特定の国籍が多く、座長もそれに関して冗談を言っていたりと、海外学会の雰囲気は本当に違って面白かったです。演者

と座長と質問者の話が噛み合っていないのはどこにでもある光景なのだな、とも思いましたが。

途中1日を観光にあてました。タクシーをチャーターし、テーブルマウンテンに登り(滞在時間わずか10分!)、海岸線を走って喜望峰へ向かいバブーン(ヒヒ)に襲われ、スラム街を横目に進んでボルダーズビーチでペンギンを見ながら風と砂ぼこりに苦しみ、"Groot Constantia"という南アフリカ最古のワイナリーで試飲をしたところ量が多くて皆顔が真っ赤になり、日が暮れる前にホテルへたどり着きました。弾丸ツアーでしたが、とにかく南アフリカにある圧倒的な大自然を体感できました。

まあこんな感じでしたが、ケープタウンは整備された都市といっても、治安は日本とは比べ物になりません。基本的に声をかけてくる人は人種にかかわらず全て詐欺師か物乞いでした。安全を優先するならレストランも有色人種が多いお店は入らない方が無難です。この国にはまだまだ根強い差別と経済格差がそこらじゅうに存在していました。それと、Uberの便利さを痛感もしました。路上に止まっている客待ちぼったくりタクシーよりも余程安全です。スマートフォンの所持率も高く、町中の至る所にFree Wifiの看板があり、人種差別から最新技術まで、るつぼの如くすべてが混ざり合い混沌をなしている、そんな国でした。

人生初の海外学会でしたが、まさに「見聞を広める」ということができたように思います。この場を借りて、色々な援助をいただいた同門会及び医局、事務の方々へお礼を申し上げたいと思います。





## 国際学会に参加して(ORS)

宮崎大学医学部整形外科 鳥取部光司

2018年3月10日(土)～13日(火)、New Orleans (Louisiana) にて、ORS (Orthopaedic Research Society) 2018 Annual Meetingが開催され、参加させていただきました。

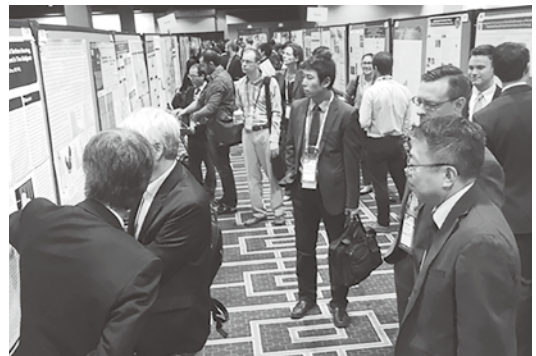
本国際学会は、整形外科に関与する様々な分野の方々が年一回集まり活発な討論が交わされる米国の整形外科基礎学会であり、本年はニューオーリンズのビジネス街のホテル (Hyatt Regency New Orleans) で開催されました。私の演題は「Evaluation of Contact Area and Pressure on Total Surface Bearing Sockets During Gait and Stair Ascent and Descent in Two Subjects」というタイトルで、ポスターで行わせて頂きました。内容は、断端長の異なる2名の片側下腿切断者の義足平地歩行と階段昇降動作を三次元動作分析装置にて計測し、有限要素法を用

いてTSBソケットの応力分布について比較検討をしたものです。ポスターセッションの質疑応答では、4名の参加者から質問があり、関心の高さを感じた次第でした。興味深い発表や貴重な講演を拝聴でき、大変有意義な会となりました。また、今回の学会には帖佐教授、李先生、工学部の山子先生と大内先生の5人で参加させていただきましたので、夜は毎晩、多くのバー・レストランが集中する繁華街でお酒と地元料理を楽しむことができました。

学会参加にあたり、ご支援いただきましたすべての皆様に心より御礼申し上げます。この経験を今後も研究発表の糧にさせていただきたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



ORS学会場にて



ポスターセッション会場にて





## 国際学会(ESSKA) に参加させていただき

野崎東病院 整形外科 横江 琢示

2018年5月9日～5月12日にスコットランドのグラスゴーで開催された第18回ESSKA(The European Society of Sports Traumatology, Knee Surgery and Arthroscopy)に参加させていただきましたのでご報告させていただきます。E-Posterで Surgical site infection after cruciate ligament reconstruction in patients with atopic dermatitis を発表させていただきました。大学病院の田島卓也先生にご教授いただきながら発表準備を行い、帖佐教授と二人きりでスコットランドに行かせていただきました。ESSKAは2年に1回ヨーロッパで開催されているスポーツ整形と膝疾患中心の学会で世界中からたくさんの医師が参加しています。2年前のスペインでの参加に引き続き今回も参加させていただきました。以下に、簡潔に報告させていただきます。

学会ではヨーロッパで活躍されている先生方のlectureや最新の報告をたくさん勉強でき大変になりました。今回は足関連の疾患につき特に勉強させていただきました、日本からはCARIFASの高尾先生がankle instability groupの報告をご発表されていました。またFIFAの医事委員会の理事をされていたJan

Ekstrand先生の発表を聴講でき、さまざまな知見からFootball injuryについて述べられていました。私もFIFA関連の仕事に携われるように頑張らないといけないと感じました。Poster会場では無料のコーヒーとお菓子(いかにも高カロリーそうなケーキ、リングそのまま)を食しながら暑い討論が繰り広げられていました。最終日の夜には学会主催のpartyがあり、一人で参加したのでメキシコ人夫婦の先生方の横に座らせていただきました。会話も盛り上がりとても良い時間を過ごせました。

スコットランドについてですが5月は日本の冬の気温ですがイギリス特有の不安定な天候(雨)であり傘が必需品となりました。暑がりな私ですが、薄着しか準備していかなかったため滞在中は鼻汁が止まりませんでした。ご注意ください。スコットランドの食事はあまり期待していなかったのですが、教授には「今日はステーキのお店を押さえています。」、「今日はシーフードの美味しそうなお店を押さえています。」とスコットランド伝統の食事は食べませんでした。学会の間には帖佐教授と観光にも行かせていただきました。ネッシーがいるLoss湖、羊がたくさん

いる wool cotton park、Stirling castleなど短時間でしたがいい観光となりました。

国際学会に参加させていただき多くの事を学んだとともにたくさんの刺激をうけ、ますます精進しないとイケないと強く感じました。世界を視野に地域から始めます。最後になりますが発表に際してご指導いただきました田

島卓也先生、帖佐悦男教授、赴任早々に快く学会参加を承諾していただきました野崎東病院の田島直也名誉院長、久保紳一郎院長、小島岳史部長、三橋龍馬部長、および大学病院事務の方々に深く感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。





# 短期留学支援報告

宮崎大学医学部整形外科学教室 石田 康行

この度は短期留学支援をしていただき同門会の皆さまには感謝いたします。

私は Sapporo Shoulder Course in 2017に2017年7月14, 15日参加させていただきました。このセミナーは北新病院上肢人工関節、内視鏡センター長の末永直樹先生が主催されている会で2016年より行われています。2016年は人工肩関節置換術がテーマで私は参加させていただきました。今回は肩関節再建術がテーマでした。

肩関節外科では関節鏡手術が進歩し、大きく発展してきました。私の師匠である船橋整形外科の菅谷啓之先生は関節鏡手術の世界的な先生で、そこで習得させていただいた診断、治療をもとに、宮崎の患者さんに還元させていただいてきました。近年、リバーズ型人工肩関節置換術の本邦での導入等もあり、関節鏡以外の肩関節手術を学びたくて第一人者である末永先生のセミナーに参加させていただきました。

セミナーは2日間とも8:00より開始で、座学が中心ですが、二日目の午後ワークショップが行われました。1日目のセミナー終了後は難

治例の検討会があり、私も関節窩欠損例に対するBristow-Bankart法のスクリュエ脱転例を提示させていただき有意義な検討をしていただきました。2日目のセミナー終了後はリハビリの勉強会があり、内容が濃い、充実した二日間を過ごさせていただきました。治療法の幅が広がりました。

宮崎の患者さんに喜んでもらえるように、これからも患者第一の医療を行っていきたいと思います。この度はご支援ありがとうございました。

Sapporo Shoulder Course in 2017 肩関節再建術のコツとピットフォール	
<b>1日目 関節新製</b>	<b>2日目 肩関節不安定症</b>
8:00-10:00 関節の基本 関節の解剖 関節の形成と成長 関節の老化と変形 関節の炎症と変形 関節の生物力学 (保存治療と手術適応) 肩に特殊なアプローチの適応 関節鏡手術の利点と注意点 関節鏡手術の適応と禁忌 関節鏡手術の技術的進歩	8:00-9:10 肩関節不安定症の基本 肩関節不安定症の原因と分類 肩関節不安定症の「イオメカニクス」 肩関節不安定症 - 関節鏡手術の適応と禁忌 保存療法の実態と限界 肩関節不安定症の予防と治療 術後の合併症への対応法
10:00-10:20 Coffee break	9:10-10:25 肩関節不安定症の治療方針 原因別分類 外傷性肩不安定症 (若年者、高軌肩、コンタクトスポーツ) 外傷性後方不安定症 (NCL) 変形性前側・後方脱臼 変形性脱臼 術後後方脱臼 (Positional instability)
10:20-11:40 関節新製手術の実際① 体位取り方と準備する器械: 肩鏡下手術と鏡視下手術 小切開での安定した関節鏡の導入: 関節鏡術前 - coracoplaty, 肩関節鏡視下関節鏡下脱臼 - 鏡視下手術と鏡視下手術 不全・小・中関節に対する鏡視下関節新製術 (Suture bridge法) 大・広範囲関節新製に対する鏡視下関節新製術 (Surface-holding法) 広範囲関節新製に対する鏡視下関節新製術 一次手術可能な広範囲関節新製に対する鏡視下手術の適応 後上方関節鏡視下関節新製に対する肩甲下筋腱/肩下筋腱部分移行術	10:25-10:45 Coffee break
11:40-12:50 Video session① 不全・小・中関節に対するARCR(Suture bridge)法 大・広範囲関節新製に対するARCR(Surface-holding)法 広範囲関節新製に対する広範囲関節新製術 鏡視下肩甲下筋腱/肩下筋腱部分移行術 鏡視下肩甲下筋腱/肩下筋腱部分移行術	10:45-11:45 肩関節不安定症手術の実際 体位取り方と準備する器械: 肩鏡下手術と鏡視下手術 関節鏡アプローチ: 鏡視下手術と鏡視下手術 肩鏡下プレート/ド形成Bankart法 & capsular shift 変形性前側・後方脱臼 変形性脱臼に対する人工肩関節置換術
12:50-13:30 Lunch	11:45-12:45 Video session 鏡視下プレート/ド形成Bankart法 肩鏡下 Latarjet & Bankart法 鏡視下 Latarjet & Bankart法 Hybrid Latarjet & Bankart法 変形性脱臼に対する人工肩関節置換術 変形性脱臼に対する glenoid osteotomy w/ capsular shift 鏡視下関節新製
13:30-14:20 関節新製手術の実際② 前上方関節鏡視下関節新製に対する広範囲・大切開後の移行術 前上方関節鏡視下関節新製に対する広範囲・大切開後の移行術 前上方関節鏡視下関節新製に対する広範囲・大切開後の移行術 小切開人工関節置換術と鏡視下手術 RSAと鏡視下再建術	12:45-13:15 リハビリテーション 鏡視下関節新製術/ハイブリッド関節新製術 肩関節不安定症の術後リハビリテーション
14:20-15:30 Video session② 後上方関節鏡視下関節新製に対する広範囲・大切開後の移行術 前上方関節鏡視下関節新製に対する広範囲・大切開後の移行術 前上方関節鏡視下関節新製に対する広範囲・大切開後の移行術 小切開人工関節置換術と鏡視下手術 RSAと鏡視下再建術	13:15-14:00 Lunch
15:30-15:50 Coffee break	<b>以下は希望者のみ参加</b> 14:00-16:30 ワークショップ ARCR (Surface holding repair) RSA 小切開中切と鏡視下再建術 ARCR (Suture bridge) 鏡視下再建術 Latarjet Open Bankart
15:50-16:50 特殊な疾患とその治療法 鏡視下肩甲上神経神経症 肩関節鏡視下: 適応と限界 肩関節鏡視下に対する再建術 Springe成形に対する再建術 Charcot関節の再建術	





## Arthroscopic Knee Cadaver Workshop Training Course in Bostonに参加して

宮崎大学医学部整形外科学教室 森田雄大

2017/9/26～9/30において、Smith & Nephew社主催のCadaver trainingに参加してきました。講師に大阪大学大学院医科学研究所科健康スポーツ科学教授の中田研先生、同整形外科講師の前達雄先生を迎え、受講者8名、Smith&Nephew社スタッフ4名同行しての研修でした。

まず、このコースに参加した経緯として、私は昨年4月より大学のスポーツグループに所属し、田島先生、山口奈美先生のもと膝関節を中心に足関節、股関節の関節鏡手術に携わっています。ACLや半月板手術が主であり、それまで勤務した病院では数えるほどでしか経験がありませんでした。知識・技術向上のためのトレーニングがしたいと考えていたところ、Smith&Nephew社よりCadaverの話があり参加する決意をいたしました。参加が決定した後は、受講生はみんなできる人たちじゃないのか、自分は何もできないぞという不安に駆り立てられました。実際、参加者は、同年代の先生が多かったですが、手術経験がある程度ある方が多かったように思いました。

1日目、AM：半月縫合、PM：ACL(ハムストリング腱)再建のプランでそれぞれ講義

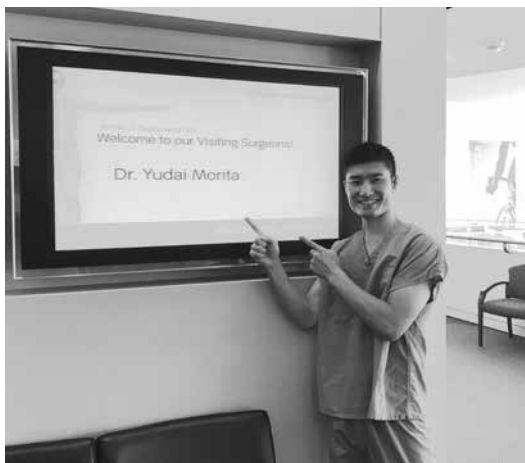
→実習の形式で行いました。半月板について、all-inside、inside-out、outside-inとそれぞれの縫合を経験し、また後節縫合をする際は展開が必要になり、内外側展開するという貴重な経験をさせていただきました。PMからのACLについては、ハムストリング腱を用い阪大が行っているtriple bundle再建を行いました。まともに2重束再建も行っていなかったのがかなりハードルが高かったです。

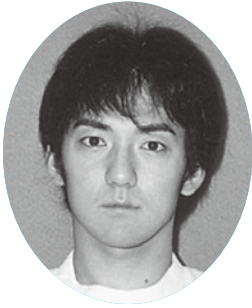
2日目、AM：ACL(BTB)、PM：PCL再建を行いました。BTBについては、阪大形式のrectangular BTBを行いました。当科ではBTBも2重束が基本ですが、術式の1つのオプションとして選択肢に入りたいと感じました。PMからのPCL再建については、予定時間に完遂できませんでした。

この2日間、盛りだくさんの内容でしたが講義→実習とわかりやすく、また実際に局所の解剖も行えて非常に勉強になりました。また、今回のCadaverでは技術はもちろんですが、参加された先生方のモチベーションの高さに関心いたしました。同年代の先生方が多いということもあり多くの刺激をいただきました。この意味でも参加して正解だったと感じています。

最後に、期間中、メジャーリーグ、Boston Red Soxの試合を観戦しに行きました。Cadaver期間中で最も興奮した時間になりました。

同門会のみなさまには、今回のCadaverに御援助いただき大変感謝しております。この経験を活かし、今後の診療にもより一層献身していきたいと思ひます。





## 短期留学支援 報告

野崎東病院 三橋 龍馬

2017年10月18日から10月22日、私は Arthroscopic Shoulder Cadaver Training Courseに参加させて頂きました。この Courseに参加するに当たり講師の石田先生にお声をかけて頂いた日よりお小遣いを貯めておりました。さらに今回、同門会よりの短期留学支援の制度を利用させて頂きました。すべての費用を留学支援の金額で賄うことはできませんでしたが自己負担が半分程度にはなったので金欠勤務医の私としては非常に助かりました。同門会の先生方にこの場を借りて深謝いたします。

初日、海外にはあまり行ったことがないこともあり移動時間が長く疲弊してしまいました。行きの飛行機では肩関節鏡の教科書を2冊読破したもののまだ時間が余っていたので同行した長澤先生が持参した文献も奪い取り、いや、拝借し読ませて頂きました。それらを読み終わってまだ時間が余っていたので『君の隣臓が食べたい』という映画を鑑賞しました。怖い映画かと思って鑑賞したところ、切なさや愛しさと心強さを感じる恋愛ものの映画でした。甘酸っぱい気持ちになったところでシカゴに到着しました。経由したシカゴでは特に理由もなく入国審査でひっかかり1時間別室で待たされました。英語での問答を頭の中でイメージしながら待っていましたが特に何もなくパスポートは返され無罪放免となりました。そこから急いで乗継便へと

移動しやっとの思いでボストンに着きました。

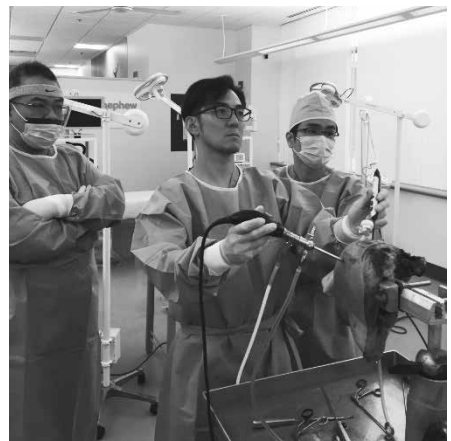
ボストンの街並みは非常に伝統を感じるものでした。ホテルへチェックイン後に石田先生の計らいでボストンの街並みと海からの眺めも楽しめる水陸両用の乗り物に乗りましたが、最後尾に陣取った我々日本人三人組はいわゆる時差ボケで気持ちのいい海風に吹かれながらほかの観光客がノリノリなのを尻目に爆睡していました。翌日からは朝6時半に集合し連日関節鏡にてのトレーニングをさせて頂きました。初日は時差ボケかホテルのガウンに衝撃を受けたせいかわかりませんがどうしても眠れずに寝るのを諦め、朝3時から関節鏡の教科書を復習しさらにホテルの Free Wifiをつないで持参したPCで動画でも予習を行いました。午前午後1体ずつのご遺体（肩のみ）を利用し鏡視下腱板修復と鏡視下バンカートを二日間で行いました。計4体の肩を長澤先生と二人で使用させてもらったこととなります。モーニングレクチャーも含め非常に有意義なトレーニングとなりました。2日目の夕食時に肩関節学会のご高名な先生とステーキを食べながらガンマネイルについて語り合うとは思ってもありませんでしたがいい思い出となりました。今回の1番の収穫は肩関節鏡は難しいということの再確認でした。慎重派の私は一人でこれを行えるとは到底思えませんでした。また自由時間はほぼなく食事以外でホテルからは出なかったこともあり

面白いハプニングもなく同門会誌に書くことがないので困ってしまうくらい過密なスケジュールでした。今後も肩関節鏡のみならず膝関節鏡でのACL再建も含め精進しいつかは体得できるように努力を継続していこうと思います。

私が若い頃はこういったコースもなく、もっと若い時から参加したかったという気持ちが非常に強くなりました。今後、後輩の先生方は積極的にこういったコースに参加すべきであると考えます。そのためにも同門会からの短期留学支援制度は非常に有意義であると考えます。この制度の設立にご尽力くださった会長の平川先生はじめ諸先輩先生方に改めて感謝いたします。ありがとうございます。

以下同門の後輩の先生達へのアドバイスを箇条書きします

- ①目的地へは経由なしで行った方がいい、ただしSFCを得るためには頑張ってもよい
- ②機内食の際にプレモルはすぐなくなるのではやめにCAにオーダーする方がいい
- ③変なガウンしかないホテルもあるので要注意 資料参照 (パジャマ持参が望ましい)
- ④他大学の先生から大量の名刺をもらうので自分のものも準備したほうがよい
- ⑤ノイズキャンセリング機能があるイヤホンまたはヘッドホンがあるとよい
- ⑥ホテルのボディーソープは泡立たない
- ⑦ある程度以上のホテルであれば携帯電話は特に海外使用の契約なしでもなんとかなる





## 短期留学支援報告

宮崎大学医学部整形外科学教室 長澤 誠

この度、同門会からご支援いただき、Arthroscopic Shoulder Cadaver Training course(ボストン)に参加いたしました。この場をお借りいたしましてお礼と報告をさせていただきます。

今回、本学の石田康行先生が講師として、野崎東病院の三橋龍馬先生と私、長澤が受講生として3人での参加となりました。私ごとになりますが、我が師であり野球部の大先輩である石田先生と、大学の野球部に入部以来20年間の付き合いで兄貴分の三橋先生との3人旅は一生思い出に残る感慨深いものになりました。

10月18日、羽田を出発しシカゴ経由でボストンに向かいました。シカゴで入国審査でしたが、英語が全くダメな私は愛想笑いでやり過ごそうとしておりました。しかし隣のブースで『cadaver! cadaver!!(屍体)』を連呼していた三橋氏は石田先生より大きな黒人に別室に連れて行かれ1時間ほど監禁されるというハプニングがありました。何とか無事ボストンにつきました。

ボストンはハーバード大学やマサチューセッツ工科大学など超有名大学がたくさんあり、歴史を感じさせる街並みがとても美しい

都市でした。

翌日から2日間は朝6時半集合でモーニングレクチャー、午前のトレーニング、ランチョンセミナー、午後のトレーニングと非常にタイトなスケジュールを過ごしました。

今回2回目のcadaver トレーニングであった私は石田先生から『肩甲下筋縫合をするように!』との課題をいただきました。(難易度として、普通の腱板縫合<脱臼のBankart<肩甲下筋縫合、と勝手に思っている) 実際の手術より緊張感が少なかったせいか、石田先生の熱い指導のおかげか、見たことしかない肩甲下筋縫合もなんとか完遂することができました。

2日間みっちりのトレーニングは大変勉強になりましたが、それだけでなく、隣で他大学の先生がされているのをちらっと覗き見して自分たちの方法との違いを見つけたり、トレーニングさせていただいたご遺体を最後に解剖することも非常に勉強になりました。

夕食は参加者全員での懇親会という形で行われ、他大学のご高名な先生や同じように受講生としてきている年齢が近い先生方といろんなお話ができたことも良い経験になりました。



肩関節鏡は整形外科の中で歴史の浅い領域ですが、症例も多く、手術でよくなり喜んでくれる患者さんがたくさんいらっしゃいます。

今後も石田先生にご指導いただきながら三橋先生や肩関節がやりたい先生と一緒にがんばっていきたいと思います。

今回このようなチャンスを与えていただきました平川俊一先生はじめ同門の先生方に心より感謝いたします。今回勉強させていただいたことを今後の臨床に生かしていきたいと思っております。ありがとうございました。





## カタバー研修in タイ

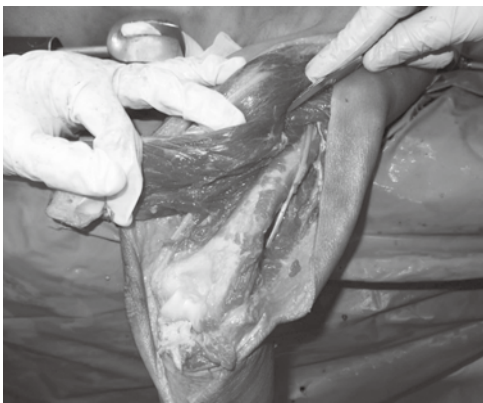
宮崎市郡医師会病院整形外科 今里 浩之

私は2017年10月5日より3泊4日で、医局のご援助を頂き、タイのシリラート病院で行われたカタバー研修に行ってきました。大学を4年目に出て、宮崎市郡医師会病院、公立多良木病院、県立延岡病院と、外傷を中心に診療をやってきました。延岡にて公文先生に外傷のカタバーの話が来た際に「ざと、タイ行ったら？」と軽く(笑)先生に言って頂き、私の整形外科人生にとっても刺激になるタイだろうと勝手に重く受け止め(笑)行って参りました。お話を頂いた公文先生、快く送り出して頂いた県立延岡病院の先生方に深謝いたします。

内容としては、4人で1つのご遺体を用いて、上腕骨遠位へのアプローチや足関節の前方、後方アプローチ、plateauへの後方アプローチや様々な長管骨のMIPOとKocher-LangenbeckやIlioinguinal approach、Stoppa approachなどの骨盤のアプローチの研修が中心でした。2人で1つのアプローチを行うと

いう研修で、実際に触る機会が多く、座学でなく、経験として学べたことが大きかったです。骨盤は大学で見た程度でやったことなどは皆無でイメージが湧きませんでした。チャレンジできたことがありがたいなと思いました。

全国の様々な病院から若い先生が多くきており、その先生方の多くがカタバーは2回目です。3回目です。などと多くの若い先生が早いうちから、そのような研修に参加されていることを聞き、私は初めてでしたので、早いも遅いも、経験もオペレーターをしているかどうかなども全く関係ない問題なのだと確信いたしました。今回、大学主催でタイでのカタバー研修があると聞き、そのような機会が若い学年にあることを非常に喜ばしく思います。私のタイカタバーを含め、このような機会、援助を頂けることに感謝し、積極的にチャレンジしていけたらと思っております、本当にありがとうございました。



上腕骨遠位骨幹部と橈骨神経の走行



シリラート病院をわが病院のようにPRする私



## 医局長就任挨拶

宮崎大学医学部整形外科学教室 濱中 秀昭

この度、前医局長の濱田浩朗に代わり医局長を務めさせて頂くことになりました濱中秀昭と申します。医局長の責務を果たすべく努力していきたいと考えていますが、何分若輩者で医局員の先生、同門の先生方に迷惑をおかけすることが多々あるかと思っておりますがよろしくお願いたします。

同門の先生の中でも『こいつ誰や』と知らないと言われる先生がおられるかもしれないので少し自己紹介をさせていただきます。平成7年に宮崎医科大学を卒業しています。学生時代は、卓球部に所属していました。体格は卓球部とは思えないほど大きく体重も順調に3桁をキープしています。（帖佐教授から必ず鉄板ネタとして、宮崎に講演に来られた先生に『こいつ何部やと思いますか』と聞かれ卓球部で笑いが取れます。）出身は和歌山県出身です。東京ではパンダのシャンシャンがブームですが、和歌山のアドベンチャーワールドにはパンダが履いて捨てるほどいます。なぜ、東京だけがもてはやされるのか、和歌山が不憫です。（近畿のおまけともいわれていました。）今年48歳の年男で、和歌山よりも宮崎在住期間が長くなりました。変な関西弁と宮崎弁を混ぜた言葉で話しますのでお許しください。

さて医局長の仕事といえば、新入医局者の先生を一人でも多く入局いただき教室を大きくしていくことが重要な職務と考えています。医局長になってまだ2カ月ですが、学生（6年生）や研修医の先生との勧誘会が多くなっております。学生さんや研修医の先生に何を食べたいと聞くと若い人ですので90%以上の確率で肉になります。皆様ご存知のようにもともとメタボまっしぐらの私がさらにメタボになっていきます。（この間口コモ検診で、口コモ度1と診断されました。）今後、わたくしが度重なる勧誘会で成人病になり、心血管イベントや糖尿病性壊疽などで仕事ができなくなるようなことがあれば労災として認めていただけるのか心配しています。

今年は、幸い医局、同門の先生たちのご尽力のおかげで5名の新入医局員を迎えることができました。それでも多数の医師派遣要請に対して、医局員数の関係で十分に先生たちの要望に答えられていない状況です。今後もこの勢いを継続し新入医局員を増やしていきたいと考えています。医局員の先生、同門の先生の病院に現在、研修医が研修で回ることが多いと思います。ぜひ、整形外科の魅力十分に先生から伝えていただきたいと思います。その中で、宮崎大学整形外科に

入局を少しでも考えている研修医の先生の情報がありましたら、直接でもメールでも手紙でも構いませんのでご教授いただければ幸いです。先生の研修医への指導が今後の入局者増へとつながり、関連病院への医師派遣数の増加、しいては教室の今後の発展につながると考えています。

また、重要な医局長としての仕事として人事異動があります。医局員の先生が将来どのようなビジョンを持ってどのような専門性を高めたいと思っているのか今一つ掴めていない先生もいることは確かです。みんなの思うような人事ができるとは思っていません。これまでのように誰かが、いやな思いをしていることも現実だと思います。医局長としては、なるべく公平公正に人事を考えたいと

思っています。医局に対して、論文も書かず学会発表もなくただ、これがしたいと言う意見は通りにくいですが、それができる環境にいない先生もいるかと思われます。そのためには、情報が必要と考えています。どのような形でもいいので、自分の進路に迷っていて現在の置かれている状況が少し違うなと思っている先生は教えていただければ幸いです。できるだけ（ここが重要で必ずできるわけはありませんが…）みんなが納得する人事を考えています。

取り留めない話をつらつら書きましたが、正直医局長業務で忙殺される日々を送っています。先生方にご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、優しい目で見守っていただけると助かります。



## ISE BOCCIA 2018 (国際ボッチャ競技連盟公認のアジア・オセ アニア地区オープン伊勢大会)に参加して

宮崎大学医学部整形外科学教室 帖 佐 悦 男

今回、日本ボッチャ協会 (Japan Boccia Association、JBoA) が、日本で初めて国際ボッチャ競技連盟 (Boccia International Sports Federation: BISFed) 公認の国際大会 (ISE BOCCIA 2018) を、三重県伊勢市で開催 (2018年3月16日から21日) し、チームドクターならびに大会ドクターとして参加してきましたので、ボッチャについて紹介します。リオデジャネイロ・パラリンピック団体銀メダリストで日本代表主将の杉村英孝選手は「東京パラリンピックへの通過点ですが、国内初の世界ランキングに反映する大会で楽しみ。ボッチャへの関心を持ってもらいたい」との意気込みを語られました。ボッチャの日本代表選手は「火の玉JAPAN」と呼ばれ、2016年に開催されましたリオデジャネイロパラリンピックで銀メダルを獲得したことが、普及活動につながりました。

ボッチャとは、まず「ジャックボール」と呼ばれる白いボール (目標球) を投げ、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに「ジャックボール」に近づけることができたかを競う競技です (図1)。障がいの種類や程度によって4つのクラス (BC1~4)

に分かれていて、個人 (1人)、ペア (2人)、チーム (3人) でそれぞれ順位が競われます。重度脳性まひや同程度の四肢重度機能障がいの方が対象選手になります。カーリングに似ていますので、「床の上のカーリング」とも呼称されます。

ISE BOCCIA大会では、個人戦でBC1クラスの中村拓海選手、BC2クラスの杉村英孝選手が優勝し、団体戦ではBC1/2チーム戦が優勝、BC3ペア戦が準優勝と日本チームが活躍しました (図2)。帯同に関しては、車いすバスケットボールと異なり、原則重大な外傷は発生しませんが、今回は車いすの移動時の転落への対処がありました。日常の障がいなどに関することは、帯同の看護師が対応しています。今回は普及活動の一環として、AKB「チーム8」が参加し、盛り上がりを見せました。

最後に、ボッチャがより一層普及し、有望な選手が育ち「火の玉JAPAN」が2020東京パラリンピックで活躍することを祈念します。また、宮崎でも第一線で活躍する選手が台頭することで、障がいをもっている子どもたちの目標になり、社会参加に貢献することを期待します。

図1 山梨県ボッチャ協会HPより

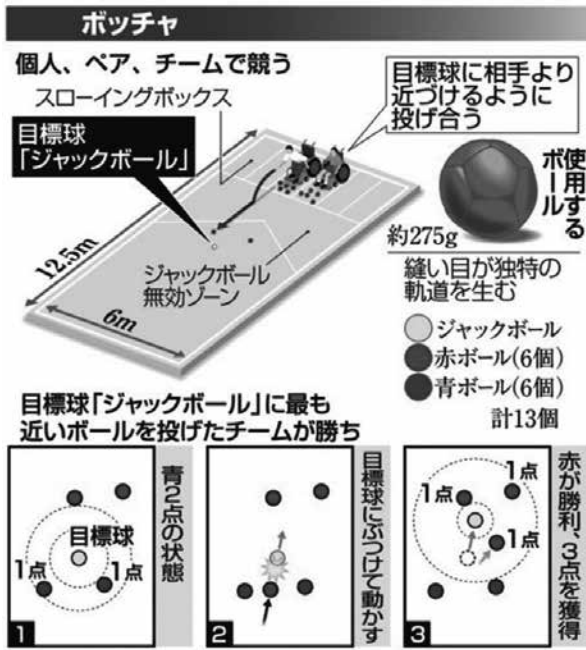


図2 試合中の杉村英孝選手



個人戦とペア戦は4エンド、チーム戦は6エンドまで行う。  
目標球に最も近い相手方の球より内側にある勝利チームの球1個につき1点



## 第60回西日本整形外科 親善野球大会を終えて

野崎東病院 三橋 龍馬

私が入局以来、宮大整形外科野球部は常に予選を勝ち抜き日整会へ出場していました。まだ医師免許を得て数週間で右も左もわからず当時教授を退官された田島直也先生のユニホームを医局会で手渡され、初めての日整会に金沢に連れて行って頂いたのを昨日のように思い出します。そんな私が今はキャプテンをさせていただいて（させられて）いることを考えると光陰矢の如し、感無量です。今回は第60回西日本整形外科親善野球大会とのことで節目の年にキャプテンを仰せつかり恐悅至極です。なぜか第60代の巨人軍の4番打者は落合選手だったなあと感じました。

さて3年前に予選で負けて以来、日整会出場がかなわずそれ以来、暗黒の時代に突入しました。それもそのはずで私が入局した当時は医局長が渡邊しんじ先生で帖佐先生も教授選を戦っていたと記憶しています。その私が当時の医局長の年齢を超えているにも関わらず今現在、40歳の私が偉そうに説教をできる後輩はたった3人です。高年齢化がわが整形外科野球部にも到来していることを実感します。（スターティングメンバーは全員アラフォー以上です）前キャプテンのコゾノキャプテンから半ば強制的にキャプテンを拝命した時にはどうしようかと思いました。やるからには勝ちたいし勝ったらキャプテンを次世

代に受け渡すことを許可するとの約束のもと勝つためにどうすればいいのかを必死に考えました。若い野球経験者は入局せぬまま月日が経っておりベテランたちの力に頼らざるを得ない状況でした。そこでまずは過去5年ほどのスコアブックをすべて集め個人成績を出して分析をしました。そこで得た事実は高齢化に伴い盗塁などの機動力はほぼないものの打撃個人成績は意外といいものであるとの結果でした。そこで前キャプテンの提唱した2番打者にバントさせない野球を継承しながら近年の野球業界の流れについても研究しました。その結果はサイバーメトリクスなるものが提唱されておりメジャーでは2番に強打者を配置する傾向があることもわかりました。打率や打点、長打率といったものに加えOPSというものを算出しそれらをランキングしました。OPSは出塁率と長打率を足し合わせた値であり得点との相関係数が高いと言われてます。（参考資料参照）白い壁の個室のある居酒屋を探し、アマゾンで小型プロジェクターを自費で購入しこれらのデータをパワーポイントにまとめ、そのパワーポイントを壁に映写しながら三橋が司会進行し、決起集会という名の飲み会を開催し諸先輩方と交流を持ちながらチームの団結を図りました。（今までのどんな学会よりも気合の入った発表と

なりそのスライド枚数は120枚を超えてしまいました。) OPSの日本プロ野球での生涯記録保持者は王貞治選手ですが我がチームにはその王さんを超える選手が5人以上いるという結果でしたので守備にミスがあって4点取られても打って5点取り返せばいいと考える野球を目指すこととしました。(出塁率が1番いい石田先生が得点のホームをあまり踏んでいないという現象についての考察はあえてしませんでした。)

大会は鹿児島で行われました。開業に伴い野球はセミリタイアしていたマツゲン先生もご実家のある鹿児島開催であったこともあり現役復帰して頂き、試合前からチームには勝てる雰囲気は漂っていました。(この原稿作成時、かのイチローもマツゲン先生をマネして一旦引退した感じになっていますがマツゲン先生のように復活して欲しいものです)

1回戦の相手は長崎大学でした。初回から先頭打者の安藤、三橋の左中間への連続2塁打を皮切りに4点を先制しました。その後もわがチームの打線が爆発し22対0で勝利しました。点差があったこともあり先発の松岡篤先生が変幻自在の変化球を操り危なげなく勝利しました。打撃が爆発しすぎて攻撃時間が長すぎ、試合途中でバケツをひっくり返したような豪雨と雷により試合が中断しました。そんな中やはり一番盛り上がったのはマツゲン先生が打席に立ち鋭い当たりを連発した時でした。

準決勝の相手は九州大学でした。若い先生が多く入局し、近年強敵となってきた相手でした。試合前に浮足立つチームを落ち着かせたのはこれまたマツゲン先生の「九州大学に負けた事あるのか？ないだろ。大丈夫」といった内容の言葉でした。

初回にまたも先頭の安藤が出塁しこの試合4番に入った石田のライト前ヒットで先制しました。先発長澤はこの大会にかける意気込みを感じさせる安定したピッチングを披露し、また捕手福嶋の見事なリードもあり4回まで相手打線を完璧に抑えこみました。3対0で迎えた4回裏に追加点の絶好のチャンスで三橋が凡打し無得点に終わりました。個人的にはここで追加点を挙げればほぼ試合が決まると思っていました。嫌な予感がしました。5回表、ここまで安定したピッチングをしていた長澤が先頭打者を死球で出塁させその後は詰まった当たりが外野の前に落ちるような不運なヒットも続き同点に追いつかれました。

(5年前の三橋であればおそらくぎりぎり捕球できたであろうポテンヒットがいくつかあり非常に口惜しい時間が過ぎました) 三橋と交錯し鼻出血しさらにコンタクトを落としながらも守り切ったレフト川野の頑張りもあり、なんとか同点で5回裏の攻撃を迎えました。

ここまで2試合、ほぼすべての打席で出塁し塁上を走り回った先頭打者のアラフィフの安藤先生のハムストリングスは限界に達しておりチームに嫌な雰囲気が漂いました。しかしマツゲン先生復帰によりいつも以上に奮起してくれた黒木ひろし先生などの必死の応援もありその雰囲気はかき消されました。

そしてこの試合の一番のクライマックスが5回裏に訪れました。先頭打者のコゾノ前キャプテンが四球で出塁したものの後続が倒れ2死1塁となりました。次打者は鼻出血&コンタクト落としの川野先生でした。血の出る、もとい火の出るような当たり、気迫のセンター前ヒットで2死1、2塁となりました。そこで打席には巨人の元捕手、山倉と意外性において双璧をなすと謳われる池尻先生が立と



うとしていました。同点に追いつかれた際には頭の上をボールが通過していき3塁打を献上していた意外性の男でした。試合前の三橋監督の作戦では好機で下位打線に回った際には躊躇なくマツゲン先生を代打として送る作戦でした。そのために半月板が残りわずかしかない石田先生を4番で先発起用していたのです。（結果として4番として先制打を打ち仕事をこなし、この采配は的中していました）しかし試合終了までにもうひとやまあるという予測とマツゲン先生を早めに代打に出したら安藤先生の肉離れが悪化して動けなくなった際にメンバーが足りなくなる可能性もあったので池尻先生をそのまま打席に送りしました。するとどうでしょう。（ビフォーアフター風に）さすが意外性の男、池尻先生。ライト越えの勝ち越しの3塁打をかつ飛ばしてくれました。その一打でチームは勢いに乗り、有住先生の技ありの安打へと続き、貴重な追加点を挙げその後もあたかも人工関節後に洗浄するパルス洗浄機のように上位打線がベケベケと打ちまくり、最後はコゾノ先生の3塁打で1塁走者三橋が本塁を踏んだところで10対3となりサヨナラワールドゲームとなり感動的なフィナーレを迎えました。無事に日整会出場を決め久しぶりに野球をしていて興奮しました。

決勝戦の相手は熊本大学でした。1番ファースト帖佐、2番ライト関本、3番センター黒木ひろし、4番ピッチャー矢野（敬称略）の超攻撃的布陣（ほぼほぼ200歳打線）で挑みました。

先発の矢野先生の力投もあり緊迫した試合展開となりました。雨天の影響で試合開始が

遅れたため試合は3回までの変則的な形式であったことも影響し0対1で惜敗しました。

しかしながら目標であった日整会出場を達成したので満足感のある大会となりました。

決勝戦は好機でマツゲン先生を代打で送る予定でしたが、所要で早退されたためそれが叶わず結果として敗けてしまいました。マツゲン先生がいたらきっと決勝打を打ってくれて優勝していたと思います、その点は少し悔やまれますが全体的には非常にいい大会でした。

また余談ですが「麻酔科に入局する予定ですう」と言っていた黒木たかお先生の娘さんが非常に優秀なマネージャーとなって頂き、しっかりとスコアをつけてくれました。近年稀にみる本気モードの殺伐としたベンチの空気を肌で感じたにもかかわらず、（いや感じたからこそ？）整形外科入局を決めてくれたことも収穫でした。

今年は明らかにチーム全員のバットの振りが例年より鋭かったです。おそらく試合で打てなかったらまた飲み会で三橋にネタにされてしまうという危機感によりバッティングセンターに通ってくださった野球部の皆さんのおかげかと思っています。これは私の感想ではなく、準決勝までの2試合のチーム打率は.437(57打数28安打)とかなりの高打率を残せております。この場をお借りして深謝します。

またいつも日整会や予選に参加するために病院をあける際にご協力を頂いている同門会、医局員の先生方にもこの場をお借りして深謝いたします。

### 結果1 打率

1	川越	.500
2	三橋	.479
3	谷口	.400
4	石田	.389
5	松元	.389

### 結果2 長打率

1	川越	1.000
2	三橋	.917
3	石田	.667
3	小藺	.667
5	池尻	.636

### 結果3 出塁率

1	石田	.621
2	三橋	.590
3	池尻	.516
4	川越	.500
5	谷口	.500

### 結果4 OPS

OPS(オプス、オーピーエス)  
On-base plus slugging の略  
野球において打者を評価する指標の1つ。  
出塁率と長打率とを足し合わせた値である。

ランク	評価	OPSの範囲
A	素晴らしい	.900以上
B	非常に良い	.8334 - .8999
C	良い	.7667 - .8333
D	並	.7000 - .7666
E	平均以下	.6334 - .6999
F	悪い	.5667 - .6333
G	非常に悪い	.5000以下

1980年~2010年  
得点との相関係数  
打率:0.776  
OPS:0.941

### OPS NPB 生涯記録

1	1.080	王貞治
2	.9957	松井秀喜
3	.9904	A.カブレラ
4	.9865	落合 博満
5	.9405	T.ローズ
6	.9334	張本 勲
7	.9325	中西 太
8	.9294	小笠原 道大
9	.9267	ブーマー・W

### 結果4 OPS

1	三橋	1.507
2	川越	1.500
3	石田	1.287
4	小藺	1.158
5	池尻	1.152

### 結果5 得点

1	安藤	26
2	三橋	21
3	小藺	13
4	川野	12
5	有住	8

### 結果6 盗塁

1	安藤	19
2	三橋	13
3	小藺	7
4	有住	4
5	池尻	2

### 結果7 打点

1	三橋	19
2	小藺	12
2	石田	12
4	安藤	10
5	有住	7

### 結果8 得点圏打率

	総打席	打数	安打	
1	三橋	62	21	14 0.667
2	松岡	24	7	4 0.571
3	石田	30	11	6 0.545
4	松元	15	4	2 0.500
5	安藤	65	13	6 0.462

### 結果9 犠打

1	福嶋	6
2	長澤	3
3	有住	2
3	松岡	2
3	関本	2

### 討論 打順について

セイバーメトリクスに基づく打順ことの重要性のイメージ  
打席の多く回る上位全線が重要。また2番>3番となる



## 日本整形外科学会 サッカー大会を振り返って

県立日南病院 整形外科 平川 雄介

2018年3月4日に日本整形外科学会サッカー大会の南九州予選が、鹿児島県薩摩川内市で行われました。鹿児島大学、大分大学との総当たり戦で優勝チームが本戦に出場できる仕組みになっています。最も重要といわれている試合の順番ですが、日吉キャプテンのすばらしくじ運により、1試合目に大分大学、3試合目に鹿児島大学と1時間以上休憩をとることのできるすばらしい組み合わせとなりました。

1試合目の大分戦は、お互い1試合目であり例年通りの緊迫した試合展開となりました。園田総監督不在であり、交代のタイミングがなかなかうまくいかず膠着した試合展開でしたが、横江先生の個人技により先制に成功しました。後半には2年に1回ゴールを決める深尾先生のスーパーゴールでリードを広げ、そのまま逃げ切ることができました。

鹿児島戦では、勝った方が本戦出場権を得る試合となりました。藤田先生のゴールで早々に先制するもその後追加点が奪えず緊迫した状況で後半を迎えます。待望の追加点は右からのクロスに永井先生が、全盛期のロベルトバッジョを彷彿とさせるジャンピングボレーシュートを突き刺しました。その代償として足がつって交代となりました。その後は、横江先生がいつもどおりハットトリック、公文先生の惜しいヘディングシュート、ロスタ

イムには森田先生が無人のゴールにループシュートを放ち、バーにはじかれたところでタイムアップとなりました。無事4年連続本戦の出場権を獲得することができました。

2018年5月24日に神戸市で慶応大学相手に日本整形外科学会サッカー大会初戦を迎えました。豊富な人材に多くの若手がいる慶応大学に対して、日吉キャプテンが肉離れを起こした状態でフル出場するなか、開始2分で不動のレギュラー大倉先生が肉離れを起こし退場となりました。開始5分で2点を先制され、その後全力を尽くすも力及ばず今年も悲願の初戦突破はなりませんでした。横江先生の、練習を増やす、という言葉だけが耳に残っています。

同門の先生方には、ご迷惑をおかけする中いつも快く送り出してくださり、応援していただき感謝申し上げます。今後ともよろしくお願い申し上げます。





## 第43回日本整形外科 スポーツ医学会を終えて

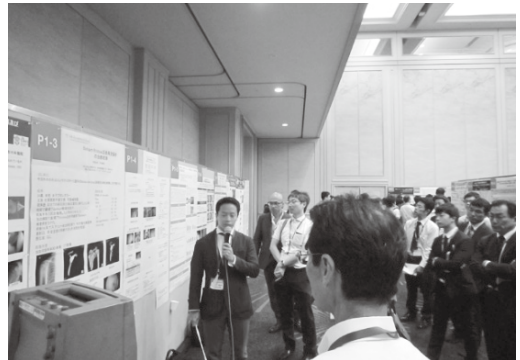
宮崎大学医学部整形外科学教室 田島卓也

残暑厳しい2017年9月8-9日に第43回日本整形外科スポーツ医学会が帖佐悦男教授を会長として「スポーツ医学イノベーション 継承と革新：RWC2019, Tokyo2020」をテーマに掲げ、24年ぶりに宮崎・シーガイアコンベンションセンターで開催され成功裡に終わりましたのでご報告させていただきます。

本学会の開催が決まった後、約1年半の準備期間で同門会、医局員の先生方の御支援をいただきながら少しずつ進めて参りました。帖佐教授の目まぐるしく変化する指令のもとに事務局の皆さんと右往左往しながらようやく開催にたどり着けました。帖佐教授のお人柄か、宮崎自体の魅力か、あるいはその両方のおかげで応募演題数は過去最高の352題に上り、192題を口演、160題をポスターで採択させていただきました。

応募していただいた演題は大学のスタッフ全員で分野別に査読していただき、セッション割り振りをおこないました。また、特別講演1題、教育研修講演3題、招待講演3題、シンポジウム40題、パネルディスカッション47題、企画レクチャー1題、ハンズオンセミナー2つ、ランチョンセミナー9題、学術プロジェクト2題、Travelling Fellow報告2題など盛りだくさんの内容を企画いたしました。

帖佐教授のご意向でなるべく多くの医局員の先生方にシンポジウム・パネルディスカッション、レクチャーの演者、あるいは座長としてご協力していただきました。質の高い発表と活発な討議が随所でみられたのも皆様のおかげであると拝察いたします。



特別企画としてリオオリンピックで大活躍しメダルを獲得した旭化成柔道部の中村兼三監督、芳賀龍之介選手、大野将平選手と永瀬貴規選手をお招きし、「ケガとの闘い」を中心にリオオリンピックから東京オリンピックまでの道のりについて幅広くお話を伺いました。こちらも会場に入りきれないくらいの観衆を集め好評でした。

さらにスポーツアクティビティとして、早朝のキャッチボール大会・サーフィン大会・タッチフット大会を企画し、多くの参加者に楽しんでいただきました。「勉強できて、

サーフィンもできてこんなに楽しい学会は初めて！」との多くのお言葉もいただいたようです。担当された先生方のご尽力に感謝いたします。

最終的に2日間の開催を通じて1229名もの方々にご参加いただき、盛況のうちに第43回日本整形外科スポーツ医学会は終了いたしました。特に初日の全員懇親会は会場に入りきれないほどの参加者を集め、参加された皆様に宮崎の美味しいものを堪能していただけた

と思います。

学会を開催するにあたり、同門会の先生方、医局員の先生方、事務の皆様のご支援ご協力なくては運営はおろか準備もままならなかったと存じます。皆様のお力をいただきながら一丸となって無事に全国規模の学会を宮崎で開催できたことを心より嬉しく思います。今後も帖佐会長のもと全国規模の学会もいくつか予定されております。学会成功のために変わらぬご支援を賜れば甚幸です。





## 第51回宮崎救急医学会開催報告

宮崎大学医学部整形外科学教室 中村嘉宏

2018年2月18日 第51回宮崎救急医学会が宮崎大学医学部で開催されました。整形分野でないためご存知ない先生も多いかと存じますので宮崎救急医学会を少しご説明させていただきますと、年に二回開催される救急関連の学会であります。救急はもとより内科・外科的疾患、整形・形成外科、精神疾患、消防や看護関連といった多岐にわたる演題が集まります。参加者も医師だけでなく看護、救急消防、医療事務といった救急に関わる多種多様な方々がご参加され、毎回活発な討論が繰り返されております。過去には救急関連の先生方での開催がほとんどではありましたが、今回初めて整形外科で担当させていただきましたことは誠に光栄なことであり、改めて宮崎救急医学会幹事の方々に心より感謝申し上げます。

今回は日曜日開催、午前開始とさせていただきましたが、172名の参加がありました。医師、看護師、コメディカル、消防救急隊からの一般演題25題に加え、医学生・研修医セッションにおいては14演題と非常に多くのご発表があり、活発な議論がなされました。また、今回の学会テーマは「外傷医療におけるInter-Professional Work (IPW; 多職種連

携)」とさせていただきました。パネルディスカッションでは外傷医療に従事される様々な診療科、コメディカルの方、5名にそれぞれのご立場から発表していただき、宮崎県内における外傷医療の課題と問題点についてご協議していただきました。治療経過の各時相において関連する各専門診療科が適切な治療をシームレスに行うだけでなく、多職種間で共に理解・協力しいわゆる『チーム医療』を充実させ「Face to Face」な関係性の構築が最も重要であるとの結論であったと思います。今後の宮崎県の外傷医療の発展が期待できるパネルディスカッションでありました。

特別講演では帝京大学医学部附属病院救急科外傷センター 教授/センター長 新藤正輝先生をお招きして、「重度救急外傷における初期対応の重要性～多職種連携による質の向上」と題して、重度外傷に関する初期診療の重要性、治療戦略に関してわかりやすくお話しいただいたのはもちろん、多職種のチーム医療の構築においては、当学会でのパネルディスカッションを総括していただき非常に有意義な会であったと思います。

さて、平成24年宮崎大学救命救急センターの開設、ドクターヘリの運行開始から大学で

の救急医療は大きく改変し、多発外傷、熱傷、中毒はもとより重症感染症、心疾患などの多岐に渡る疾患に対して救急科のスタッフを中心に24時間体制で初期診療から集学的治療に当たっておられます。我々外傷を扱う整形外科医もその役割は大きい一方、高まる外傷の重症度、多様性に混迷を受ける場面も多々あります。近年の外傷医療の進歩にも関わらず、救命できたはずの防ぎ得た外傷死(Preventable Trauma Death)の存在や地域間外傷医療格差など、その課題や問題点に対して社会的にも議論されているところがあります。宮崎の地域医療の一端を担う我々としても日々研鑽し、高いレベルの外傷医療を提供することが使命であると認識しております。私が知っているスペシャリティー高い外傷外科医は概ね「外傷、手術」は三度の飯より好きという輩が多いようであります。我々同門整形外科医にもそのような人物を何人も知っており、外傷手術を「マスターベーション化」し、結果患者への良好な臨床成績に繋がるというまさに医療界に高い生産性をもたらすという状況(ある国会議員へご連絡したいところです。)が構築できている状況であ

ります。「好きこそ物の上手なれ」、将来高度プロフェッショナル制度に影響されないことを祈ります。

最後になりますが今回の開催にあたり、宮崎救急医学会幹事の方々、帖佐先生、整形外科同門会の先生方をはじめ、ご参加いただいた皆様に多大なご協力を賜り心より感謝申し上げます。

(また、本学会の開催は整形外科事務員の方のスペシャリティー高いご支援に特に感謝いたします。まさに宮崎整形外科コングレ社のようなサポートでありました。ありがとうございました。)





## 第26回同門会ゴルフ大会

医療法人 杏林会 三股病院 三股 恒夫

小雨まじりの天候でしたが特に寒いわけでもなくプレイに支障を来すようなこともなく、まあまあなゴルフ日和だったと記憶しております。レイクサイドゴルフカントリー倶楽部は、私にとって相性の良いコースのようです。ホームコースは美々津カントリークラブですがスコア的にはこのコースの方が好きです。アウトの1、2、3番を2オーバー程度で通過出来れば、池ポチャの恐怖から解放され精神的にも安定し良いスコアが出るようです。しかしながら、今回の優勝の要因は、まずダブルベリア方式にあったと思います、ボギーやダブルボギーもいくつかあったのですが運

良く隠しホールであったために、ネットスコアが良くなり今回の結果となりました。そして、何と云ってもいちばんの要因は同伴の先生方に恵まれたことだと思います、大塚直純先生、公文崇詞先生ありがとうございました。楽しい1日を過ごすことができました、心より感謝申し上げます。現在のところシャンク病にかかってしまい悩んでおりますが、なんとか練習で克服し3連覇を目指したいと思っております。三連覇達成の暁にはシャンク病の治療法について書きたいと思っております。次回もよろしく願いいたします。







## 第20回 同門会テニス大会

かみぞの整形外科 神 菌 豊

同門会テニス、第20回大会は晴天に恵まれた一ツ葉エントランステニスコートで11月23日に行われました。メンバーは例年通り弓削孝雄先生、川野啓一郎先生、福田健二先生、松本英裕先生、麻生邦典先生、尾田朋樹先生と今回初参加の柏木輝行先生でした。柏木先生がどんなテニスをされるのか興味津々でしたが、元ラガーマンらしく、タックルされても簡単には倒れそうにないフットワークでコート上を躍動され、その突進力は

やや独特なラケット捌きと相俟って重くて癖のあるボールとなって相手を苦しめました。私はそのテニスになれるべく練習で対戦相手をさせてもらいましたが、試合では組み合わせの関係で対戦がなく、残念(ラッキー?)でした。結果はこの幸運もあり、私が優勝、柏木先生は3位と健闘されました。同テニス大会は毎年勤労感謝の日に和気藹々と開催されます。次回も是非、初参加の先生を含め、多数の先生方の参加を期待します。





## 第14回帖佐杯ゴルフ大会

岡田整形外科 福嶋 秀一郎

平成30年4月15日に宮崎レイクサイドゴルフ倶楽部で第14回帖佐杯ゴルフ大会が開催されました。主催者の帖佐教授が仕事のため残念ながら欠席されましたが、市原先生、平川同門会長をはじめ、総勢15名でのラウンドになりました。

今回の大会、私は大塚先生、平川会長、川野（彰）先生とラウンドさせていただきました。先輩方に囲まれてのラウンドでしたのでいい緊張感をもってプレーできました。朝から快調なドライビングを見せる川野先生になんとか食らいつこうと、前半ラウンドは42でした。私の帖佐杯のハンデは22でしたので、昼食時に「どうせ優勝するならぶっちぎりのネット50台」と川野先生と大いに盛り上がっていたのですが、やはりゴルフはメンタルが大事だと再認識させられたラウンドでした。

インコースに入るとスタートはよかったものの、ネット50台というプレッシャーがじわじわと押し寄せてきて、徐々にドライバーが曲がり、さらに15番のショートではティーショットがまさかのダフリ・・・、ボールが坂道を転がり落ちて池ポチャ。最終18番ではドライバーが左に曲がって木にあたり、ダフ

りを繰り返し、安全のために池の前に刻んだはずなのに、次のボールを池ポチャ。さらに打ち直しのボールはグリーン奥のバンカーへ・・・。18番はダブルパーの10打。結局終わってみれば前半42、後半45のトータル87（ネット65）でした。

スコア的には満足できるものでしたが、最後に失速する原因になった精神面の弱さが課題となりました。2年ほど前からゴルフ練習場に通い始め、最近成果が出てきているのを実感しています。ただし、なかなかスコアにつながらず、アイアンが良くなると昔は曲がらなかったドライバーが曲がりだし、以前は何も考えずに打っていた100ヤード以内やバンカーショットが難しくなり、やればやるほどゴルフの難しさと奥深さを感じています。もともと野球でもそうですが、プレッシャーには弱いタイプですので、これからもっと練習を重ねて、プレッシャーに打ち勝つ自信をつけたいと思います。そして次回の同門会ゴルフも優勝目指して頑張りたいと思います。目指せグランドスラム。ありがとうございました。



## 野球検診結果2017

宮崎大学医学部整形外科学教室 長澤 誠  
石田 康行  
帖佐 悦男

2017年度も毎年恒例12月の日曜日に宮崎県少年野球検診を行うことができました。たくさんさんの同門の先生方、スタッフの皆様のおかげと感謝しております。

2017年度は616名の小学生球児たちが受診してくれました。そのうち119名(19%)が二次検診との診断を受け、116名が同日二次検診を受診しました(かかりつけに紹介3名)。そのうち10名の上腕骨小頭離断性骨軟骨炎(OCD)が発見されました。

2015年から2017年の3年間に当科で手術を受けた野球をやっている小中高校生は23人でした。そのうち18人は検診を受診していませんでした。検診を受けていた5人中4人は侵襲の少ない鏡視下廓清術を行っていました。

検診を受け早期にOCDを発見することは手術を回避することに役立っていました。

また病変が残った時でも侵襲の小さい手術

で済むことが多く保存療法の役割は大きいと考えます。

初期には自覚症状が少なく病院を受診した際には手術が必要な末期で発見されることが多いOCDを保存療法が奏功する初期で発見するためには超音波を用いた野球検診しかないと考えており、今後も継続して行ってきたいと考えております。

何卒今後とも同門の先生方のご協力をお願いいたします。





## 2017年 医局旅行in黒川温泉・湯布院

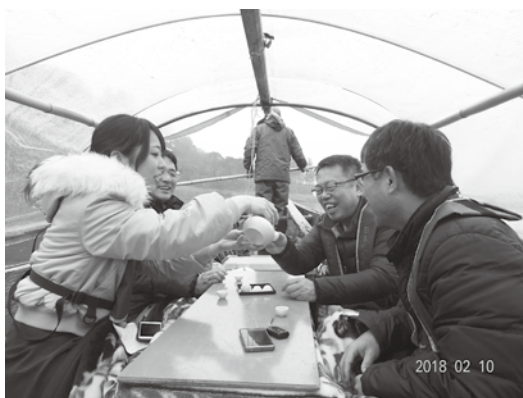
藤元総合病院 整形外科 藤田 貢 司

2017年2月10日から12日にかけて医局旅行in黒川温泉・湯布院が開催され、私・妻・長男・長女と家族4人で参加させて頂きました。

今回の旅は少しでも多くの方に参加して頂き、のんびりとした旅をというコンセプトで、九州内の温泉地を巡るツアーを計画しました。

帖佐先生を始めとした医局の先生方、病棟スタッフの方々、入局前の研修医二年目の先生方と多くのメンバーに参加頂き、非常に賑やかな旅となりました。

大学をマイクロバスで出発し、まずは熊本県人吉市の球磨川へ。天候は雨、大変肌寒い中でしたが、掘りこたつ付きの屋形船に乗り、熱燗を堪能しながら川下りを楽しみました。



その後は北堀君セレクトの鰻屋に向かい、名物の蒲焼に舌鼓。その後は旅館へ向かい、夕方には黒川温泉の旅館へ到着、あたりは一

面の雪景色でした。温泉街の散策や入浴、0次会などで各々ゆっくりと過ごし、夜はお楽しみの懇親会です。おいしい料理やお酒、温かい歓迎、我らが帖佐教授に熱い歓迎のご挨拶も頂き、初日の楽しい夜は更けていきました。

翌日は由布院温泉へ向かい、こちらも一面の雪景色、季節感を存分に堪能できました。到着後は全員で陶芸教室に参加。それぞれ個性溢れる作品を作っていました。わが娘は「パパ、アンパンマン(作りなさい)」と三歳児全開でした(笑)。その後は思い思いに、雪景色の由布院を散策し、その後はホテルへ。この日も懇親会、その後の二次会と楽しい夜が更けていきました。最終日は別府温泉に向かい地獄巡り、関アジ・地獄蒸しを堪能し帰路に着きました。大学に在る間は週末の外勤が多く、家族とゆっくり過ごす機会はなかなかありませんでしたが、今回はゆっくりと家族で過ごすこともでき非常に楽しい時間を過ごすことができました。何より先生方やスタッフの方々が、私の家族にも非常に気さくに接して下さい、整形外科に入局して良かったと改めて感じる事ができる医局旅行となりました。



# 1年を振り返って



新入局員歓迎会 H29. 4



第1回宮崎外傷研究会 H29. 4

**みやざき ロコモメイト養成講座**

第7回 6/11(日) 第8回 10/7(土)

【ロコモ検診実施会場】 【ロコモ検診予約センター】

【講師】 中野 孝一 先生 (NPO法人福岡・協会代表理事)

【会場】 宮崎県総合保健センター 5F 大規模講堂 (宮崎県宮崎市)

【お問い合わせ】 0985-55-8986

一般社団法人 日本障害者協議会 助成

**高次脳機能障害市民公開講座**

講演1 (14:00~15:00) 「家族として、そして施設での高次脳障害がいつ者と接して」 中野 孝一 先生 (NPO法人福岡・協会代表理事)

講演2 (15:15~16:30) 「高次脳機能障害とそのリハビリテーション」 渡島 勉久 先生 (筑波医科大学リハビリテーション医学教室 教授)

平成29年10月15日(日)

宮崎県総合保健センター 5F 大規模講堂(宮崎県1-1-2)

14:00~16:30 (受付13:30~)

どなたでも参加できます (定員200名程度)

【お問い合わせ】 0985-55-8986

**市民公開講座**

ひむか骨と関節を考える会 一歩く喜び、動ける幸せ

平成29年10月15日(日) 10:00~12:00 入場無料

宮崎県総合保健センター 5F 大規模講堂 (宮崎県宮崎市)

【講師】 「ロコモ病、どうして進むの?」 中野 孝一 先生 (NPO法人福岡・協会代表理事)

【講師】 「あなたの健康、運動器について」 渡島 勉久 先生 (筑波医科大学リハビリテーション医学教室 教授)

【講師】 「骨粗しょう症の予防、あなたに合った予防法を学ぶ」 渡島 勉久 先生 (筑波医科大学リハビリテーション医学教室 教授)

【講師】 「運動器の学習」 渡島 勉久 先生 (筑波医科大学リハビリテーション医学教室 教授)

【お問い合わせ】 0985-55-8986



ロコモメイト養成講座 H29. 6



田野町ロコモ検診 H29. 6



第 43 回日本整形外科学会スポーツ医学会学術集会  
キャッチボール大会・タッチフット大会・サーフィン大会  
H29. 9



世界ジュニアサーフィン選手権 H29. 9



第 32 回日本整形外科学会基礎学術集会 H29. 10



市民公開講座 H29. 10



はまゆう整形外科セミナー H29. 11

**第7回 宮崎外傷カンファレンスのご案内**

日時：2017年6月26日(月) 18:30～  
会場：宮崎大学医学部附属病院1F (臨床講義室105号室)  
宮崎県医師会本部 TEL: 099-991-9988

参加費：1800～19400 税別(税込) 席  
2017年一般救急講習会「アセスメント」参加者 50%減

議題①【18:40～19:10】  
『靭帯損傷による外傷患者へのアプローチと治療』  
講師：宮崎市医師会 野村 浩宏 先生  
第1次研修2中間救急小講座 講師 野村 浩宏 先生

議題②【19:10～19:40】  
『顎口部の外傷について』  
講師：近藤 雅大 先生 ( 顎顔面口腔外科 )

お問い合わせ：整形外科 日吉 備 PHS: 4555  
中村 浩宏 ・ 河野 文彰

届った命救済の場合、顔面などにも目撃者込み大数です

**第1回 宮崎人工関節研究会**

Kick-off meeting in MIYAZAKI  
新米主催者に宮崎から始めよう

2017年9月2日(土)14:00～  
宮崎大学附属病院2F 共通多目的ルーム

Agenda

- 13:30～14:00 開会式(13:30～14:00)
- 14:00～14:30 講演1 人工関節の歴史と未来 (14:00～14:30)
- 14:30～15:00 講演2 人工関節の手術と治療 (14:30～15:00)
- 15:00～15:30 講演3 人工関節の理学療法とリハビリテーション (15:00～15:30)
- 15:30～16:00 講演4 人工関節の合併症とその治療 (15:30～16:00)
- 16:00～16:30 講演5 人工関節の最新動向 (16:00～16:30)
- 16:30～17:00 講演6 人工関節の将来展望 (16:30～17:00)
- 17:00～17:30 講演7 人工関節の患者教育 (17:00～17:30)
- 17:30～18:00 講演8 人工関節の社会的責任 (17:30～18:00)
- 18:00～18:30 講演9 人工関節の倫理と法規制 (18:00～18:30)
- 18:30～19:00 講演10 人工関節の国際的な動向 (18:30～19:00)
- 19:00～19:30 講演11 人工関節の未来展望 (19:00～19:30)
- 19:30～20:00 講演12 人工関節の社会的責任 (19:30～20:00)
- 20:00～20:30 講演13 人工関節の倫理と法規制 (20:00～20:30)
- 20:30～21:00 講演14 人工関節の国際的な動向 (20:30～21:00)
- 21:00～21:30 講演15 人工関節の未来展望 (21:00～21:30)
- 21:30～22:00 講演16 人工関節の社会的責任 (21:30～22:00)
- 22:00～22:30 講演17 人工関節の倫理と法規制 (22:00～22:30)
- 22:30～23:00 講演18 人工関節の国際的な動向 (22:30～23:00)
- 23:00～23:30 講演19 人工関節の未来展望 (23:00～23:30)
- 23:30～24:00 講演20 人工関節の社会的責任 (23:30～24:00)

**第2回 宮崎人工関節研究会**

2018年1月20日(土)14:00～  
宮崎県医師会5F 会議室

Agenda

- 13:30～14:00 開会式(13:30～14:00)
- 14:00～14:30 講演1 人工関節の歴史と未来 (14:00～14:30)
- 14:30～15:00 講演2 人工関節の手術と治療 (14:30～15:00)
- 15:00～15:30 講演3 人工関節の理学療法とリハビリテーション (15:00～15:30)
- 15:30～16:00 講演4 人工関節の合併症とその治療 (15:30～16:00)
- 16:00～16:30 講演5 人工関節の最新動向 (16:00～16:30)
- 16:30～17:00 講演6 人工関節の将来展望 (16:30～17:00)
- 17:00～17:30 講演7 人工関節の患者教育 (17:00～17:30)
- 17:30～18:00 講演8 人工関節の社会的責任 (17:30～18:00)
- 18:00～18:30 講演9 人工関節の倫理と法規制 (18:00～18:30)
- 18:30～19:00 講演10 人工関節の国際的な動向 (18:30～19:00)
- 19:00～19:30 講演11 人工関節の未来展望 (19:00～19:30)
- 19:30～20:00 講演12 人工関節の社会的責任 (19:30～20:00)
- 20:00～20:30 講演13 人工関節の倫理と法規制 (20:00～20:30)
- 20:30～21:00 講演14 人工関節の国際的な動向 (20:30～21:00)
- 21:00～21:30 講演15 人工関節の未来展望 (21:00～21:30)
- 21:30～22:00 講演16 人工関節の社会的責任 (21:30～22:00)
- 22:00～22:30 講演17 人工関節の倫理と法規制 (22:00～22:30)
- 22:30～23:00 講演18 人工関節の国際的な動向 (22:30～23:00)
- 23:00～23:30 講演19 人工関節の未来展望 (23:00～23:30)
- 23:30～24:00 講演20 人工関節の社会的責任 (23:30～24:00)

**第51回宮崎救急医学会**

日時 2018年2月18日(日) 10:00～  
場所 宮崎大学医学部 臨床講義室205教室  
会長 平野 浩宏 宮崎大学医学部附属病院救急医療センター(救急科)

特別講演 (10:30～11:30)  
宮崎大学医学部附属病院 外科センター  
教授 新藤 正輝 先生  
『重症救急外傷における初期対応の重要性  
—多職種連携による質の向上—』

パネルディスカッション  
『別院医療におけるInter-Professional Work (多職種連携:IPW)』

特別発表  
日時: 2018年2月18日(日) 13:00～17:00  
会場: 宮崎大学医学部附属病院 臨床講義室205教室  
www.miyazaki-qj.jp/meeting/  
海浜幕張会場: 2017年10月13日(金)～12月1日(金)



第75回宮崎整形外科懇話会 H29. 12





帖佐 悦男 先生 還暦祝賀会 平成29年11月25日 於：宮崎観光ホテル



帖佐 悦男 先生 還暦祝賀会 平成29年11月25日 於：宮崎観光ホテル



帖佐悦男教授 還暦祝賀会  
H29. 11





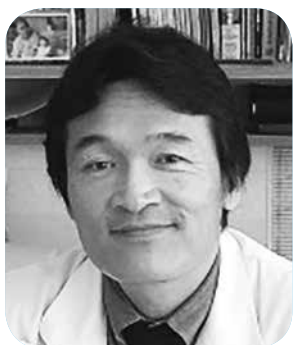
谷口 昇 先生 壮行会 平成30年3月21日 於：宮崎観光ホテル



谷口昇先生 教授就任壮行会 H30. 3



## 賛助会員入会ごあいさつ



川越整形外科(日南市)

川越 勝 秀

はじめまして。川越秀一の父親の川越勝秀と申します。この度は、愚息秀一が宮崎大学整形外科に入局させていただいたのを機会に、私も同門会に入会させていただき誠にありがとうございます。帖佐先生に感謝いたします。

秀一は鹿児島で生まれておりますが、私は、生まれも育ちも日南市飢肥です。二人兄弟の兄が東京で建築事務所を構えたため、両親の面倒を見るため1997年に日南市に戻り、「川越整形外科」を開業し現在に至ります。

父親はなくなりましたが、7年前に交通事故で瀕死の重傷を負った母親は、県立日南病院に勤務され、事故当日当直されていた福田先生の迅速なご判断と中村先生と李先生の適切で高度な治療(骨盤骨折、両下腿骨骨折、脊椎破裂骨折、肋骨多発骨折、骨盤内動脈損傷などに術後ICUにて約1Mほど人工呼吸器管理)のおかげで、91歳になった現在もまだ健在で一人で畑を耕しております。本当にお世話になりました。ありがとうございました。一生感謝です。

私の診療所は19床と40人規模の通所リハビリを有してはいますが、メインは外来リハビリで細々とやっております。細々ではありますが、診断や治療に難渋することは多く、非常に困った症例など、これまで大学病院はもとより、県立日南病院をはじめとする多くの系列病院にご紹介をさせて戴き、助けていただいたおかげで現在があると思っております。この場をお借りして心より感謝の意をお伝えしたいと存じます。本当にありがとうございました。そしてこれからもよろしくお願い致します。そしてこの場をお借りして謝っておかねばならないことがあります。何も考えず同じ「川越整形外科」という名前を付けたばかりに患者様の紹介間違いなどで大変ご迷惑をおかけしている川越正一先生、本当に申し訳ございませんでした。どうかお許しください。今回、幸いこのように同門の皆様にご挨拶をさせて戴く機会を頂けましたので、今後は間違いが減るものと信じております。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

添付させていただいた写真は2013年8月31日に沖縄で開催された西日本整形外科親善野

球大会で優勝(二軍)した時の写真です。準決勝で宮崎大学と当たり、初回に5点を取られ負けるかと思った試合です。炎天下の中、3試合目ということでエースの柳園先生がついに力尽き、なんとか勝たせていただき、決勝では元気いっぱいの琉球大学と互角に戦い、最終的にはじゃんけんでの決着とはなりましたが、一人で最後まで投げ抜いての優勝でしたので最高の思い出となっています。今年も福岡で開催されますが、もし対戦の機会を頂けた時は全力投球で行きますのでよろしくお願い致します。

最後になりましたが、帖佐悦男先生および医局の先生方、そして同門会の皆様、秀一共々、ご指導・ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 新入会員自己紹介(正会員)



名 前：石 田 翔 太 郎

生年月日：1987年9月27日

出身高校：奈良学園高等学校

出身大学：近畿大学

初めまして、今年入局となりました石田翔太郎と申します。

サーフィンのために初期研修だけ宮崎県で行う予定でしたが、延長することになりました。

よろしく申し上げます。



名 前：岩 佐 一 真

生年月日：1990年4月27日

出身高校：宮崎大宮高等学校

出身大学：宮崎大学

初めまして。岩佐一真と申します。地元は宮崎県高鍋町の宮崎人です。部活は中学・高校・大学とラグビーをしておりました。学生時代から整形外科の先生方には実習やグラウンドで非常にお世話になりました。そんな先生方に憧れて入局させていただきました。タックルをしすぎたせいか、はたまたお酒の飲みすぎか同期と比べて成績が悪く人間性も未熟であり先生方にご迷惑をおかけすることが多々あるかと思えます。しかしお世話になった宮崎大学整形外科に少しでも貢献できるよう努力していきたいと思えます。こんな私ですがご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

## 新入会員自己紹介(正会員)



名 前：川 越 悠 輔

生年月日：1989年4月8日

出身高校：宮崎西高等学校

出身大学：東海大学

本年度より入局いたしました、川越悠輔です。まだまだ知識・技術とも未熟ではありますが、日々努力することを忘れず一人前の整形外科医になるべく邁進してまいりたいと思います。

今後ともよろしく願いいたします。



名 前：北 堀 彩 泰 子

生年月日：1991年4月18日

出身高校：日向学院高等学校

出身大学：福岡大学

宮崎大学整形外科に入局しました。

大学時代は準硬式野球部のマネージャーをしていました。

右も左もわからない状態でご迷惑をおかけしますが、よろしく願いします。

## 新入会員自己紹介(正会員)



名 前：日 高 三 貴

生年月日：1987年3月6日

出身高校：宮崎南高等学校

出身大学：宮崎大学

若いうちに（若くないけど）沢山勉強して仕事を頑張ります!! あたたかい御指導・御鞭撻をよろしくお願ひします!!

飲めないけど飲み会好きです。誘って下さい。ハンドルキーパー、介抱お任せ下さい。



## 同門会総会 議事報告

平成30年度総会：平成30年4月14日(土) 17：30～18：15 宮崎観光ホテル

### 1. 平成29年度(H29.4/1～H30.3/31)事業報告

(1) 会員状況 (平成30年3月30日現在)

正会員：170名、賛助会員：48名

(2) 入会・退会

正会員入会：北堀 貴史 先生 (平成29年 4月 1日付)

黒木 智文 先生 (平成29年 4月 1日付)

藤田 貢司 先生 (平成29年 4月 1日付)

(3) 事業報告

平成29年04月08日(土)：第1回役員会・同門会総会・新入局員歓迎会

「宮崎観光ホテル」

8月：第28号同門会誌発行

10月16日(月)：第2回役員会「ホテルメリージュ マンダリン」

11月：同門会名簿・会則発行

11月23日(木・祝)：第20回同門会テニス大会(優勝:神蘭 豊 先生)

11月25日(土)：第3回役員会・講演会・帖佐先生還暦祝賀会

「宮崎観光ホテル」

11月26日(日)：第26回同門会ゴルフ大会(優勝:三股 恒夫 先生)

平成30年 2月28日(水)：第4回役員会「ホテルメリージュ マンダリン」

平成30年 3月21日(水)：第5回役員会「宮崎観光ホテル」

(4) 教室支援(留学、学会等)

短期留学支援

第43回日本整形外科学スポーツ医学会学術集会

(5) 会計報告

平成29年度決算は監査報告があり総会にて承認された。

## 2. 平成30年度（H30.4/1～H31.3/31）事業計画・予算

- (1) 平成30年度の予算案は総会（H30.4/14）にて承認された。
  - (2) 役員会開催 第1回役員会（平成30年4月14日、宮崎観光ホテル）  
第2回役員会（平成30年10月頃、ホテルメリージュ マンダリン）  
第3回役員会（平成30年11月24日、宮崎観光ホテル）  
第4回役員会（平成31年3月頃、ホテルメリージュ マンダリン）
  - (3) 講演会：平成30年11月24日  
はまゆう整形外科セミナー（第12回）  
くろき整形外科 黒木 龍二 先生
  - (4) 奨励賞（第12回）
    - ①福島 克彦 先生『人工骨頭置換術におけるSuperPath approach』
    - ②黒木 修司 先生『可変型遺伝子トラップ法を用いた骨代謝関連遺伝子の探索』
    - ③甲斐 糸乃 先生『手外科医への道～模索する日々～』
- \* 授賞式および講演は平成30年4月14日の新入医局員歓迎会で実施
- (5) 親睦行事：平成30年11月23日（祝）：第21回同門会テニス大会  
平成30年11月25日（日）：第27回同門会ゴルフ大会
  - (6) 同門会誌第29号発行：平成30年8月
  - (7) 同門会会則名簿発行：平成30年11月
  - (8) 教室支援（留学・学会・研究助成など）

## 3. その他

同門会総会予定：H31.4.13（土）『宮崎観光ホテル』

## 教室同門の研究業績

### ◆著 書

- 1) 今日の治療指針2016年版 Volume58  
田島卓也  
医学書院, 2016, 1
- 2) リウマチ病学テキスト 改定第2版  
濱田浩朗  
株式会社診断と治療社, 2016, 1
- 3) 健康教室 第783集  
帖佐悦男  
株式会社東山書房, 2016, 1
- 4) サンテ宮崎 75号  
帖佐悦男  
公益財団法人宮崎県健康づくり協会, 2016, 1
- 5) 臨床栄養 Vol. 128 No. 2  
帖佐悦男  
医歯薬出版株式会社, 2016, 2
- 6) 最新リハビリテーション医学 第3版  
帖佐悦男  
医歯薬出版株式会社, 2016, 3
- 7) リハビリテーションにおける評価 Ver. 3  
帖佐悦男  
医歯薬出版株式会社, 2016, 4
- 8) 月刊新医療  
柏木輝行  
株式会社エム・イー振興協会, 2016, 5

- 9) 今日の整形外科治療指針  
帖佐悦男  
医学書院, 2016, 5
- 10) 日本整形外科スポーツ医学会雑誌 Vol.36 No.3  
田島卓也  
日本整形外科スポーツ医学会, 2016, 7
- 11) 整形外科サージカルテクニック vol.6 4号  
帖佐悦男  
メディカ出版, 2016, 8
- 12) 子ども白書2016  
帖佐悦男  
本の泉社, 2016, 8
- 13) 標準整形外科学 第13版 第14章 保存療法  
帖佐悦男  
医学書院, 2016, 12
- 14) 標準整形外科学 第13版 第26章 ロコモティブシンドローム  
帖佐悦男  
医学書院, 2016, 12

◆原 著

- 1) Cardiac hypertrophy is exacerbated in aged mice lacking the osteoprotegerin gene  
Yilin Hao, Toshihiro Tsuruda, Yoko Sekita-Hatakeyama, Syuji Kurogi,  
Keishi Kubo, Sumiharu Sakamoto, Midori Nakamura, Nobuyuki Udagawa,  
Tomohisa Sekimoto, Kinta Hatakeyama, Etsuo Chosa, Yujiro Asada, Kazuo  
Kitamura  
Cardiovascular Research, 110(1) : p62-72, 2016, 1
  
- 2) Empty can test  
石田康行, 帖佐悦男  
関節外科, 35(3) : p324-325, 2016, 2
  
- 3) 豆状骨脱臼を合併した橈骨遠位端骨折の1例  
小牧亘, 濱田浩朗, 永井琢哉, 帖佐悦男  
骨折, 38(1) : p36-41, 2016, 2
  
- 4) 診断に難渋した大腿骨頸部脆弱性骨折の2例-アデホビルに伴うFanconi症候群に対する治療戦略  
に関して-  
今里浩之, 中村嘉宏, 池尻洋史, 日吉優, 川野啓介, 帖佐悦男  
骨折, 38(1) : p138-141, 2016, 2
  
- 5) 橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレート術後に遠位ロッキングスクリューがすべて折損  
した2症例  
梅崎哲矢, 森治樹, 三橋龍馬, 山口洋一郎  
骨折, 38(2) : p260-263, 2016, 2
  
- 6) 手術を行わなかった腋窩神経麻痺を伴った腱板広範囲断裂の経過  
石田康行, 帖佐悦男, 矢野浩明, 谷口昇, 大田智美, 中村志保子  
肩関節, 39(3) : p783-786, 2016, 3
  
- 7) Angiotensin II Stimulation of Cardiac Hypertrophy and Functional Decompensation in  
Osteoprotegerin-Deficient Mice.  
Tsuruda T, Sekita-Hatakeyama Y, Hao Y, Sakamoto S, Kurogi S,  
Nakamura M, Udagawa N, Funamoto T, Sekimoto T, Hatakeyama K, Chosa E,  
Kato J, Asada Y, Kitamura K  
Hypertension, 67(5) : p848-856, 2016, 3

- 8) BTBと薄筋腱を併用した2重束ACL再建術の臨床成績と画像評価  
田島卓也, 石田康行, 谷口昇, 山口奈美, 帖佐悦男  
日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会雑誌, 41(1) : p116-117, 2016, 3
- 9) A novel protocol to test age-related decreases in sit-to-stand movement abilities in healthy subjects.  
Yamako G, Deng G, Totoribe K, Chosa E  
Journal of Orthopaedic Science, 21(4) : p517-523, 2016, 4
- 10) 骨頭骨折を合併した寛骨臼後壁骨折に対する治療戦略 Surgical dislocationの有用性  
中村嘉宏, 帖佐悦男, 池尻洋史, 日吉優, 川野啓介  
骨折, 38(2) : p341-345, 2016, 4
- 11) 当科における仙骨脊索腫の手術成績  
濱中秀昭, 猪俣尚規, 黒木修司, 比嘉聖, 永井琢哉, 李徳哲, 平川雄介, 横江琢示, 帖佐悦男  
Journal of Spine Research, 7(5) : p955-959, 2016, 5
- 12) Remnant-preservint, selective single-bundle augmentation of the anterior cruciate ligament using a bone-patellar tendon-bone autograft: a technical note  
Takuya Tajima, Etsuo Chosa, Nami Yamaguchi, Noboru Taniguchi, Yasuyuki Ishida  
The Knee, 23(3) : p554-558, 2016, 6
- 13) 障害者スポーツの病態解析と機器の開発の研究-バイオメカニクス研究を中心に-  
帖佐悦男, 鳥取部光司, 田村宏樹, 黒木洋美, 山子剛  
デサントスポーツ, 37 : p35, 2016, 6
- 14) 非定型大腿骨骨折の検討  
小牧亘, 深野木快士, 濱田浩朗, 帖佐悦男  
骨折, 38(3) : p704-708, 2016, 6
- 15) MRIによるプロサーファーの椎間板変性の検討～第1報～  
小島岳史, 久保紳一郎, 三橋龍馬, 野崎正太郎, 田島直也, 原田昭彦, 尾崎勝博, 落合錠, 横田薫, 帖佐悦男  
九州・山口スポーツ医・科学研究会誌, 28 : p56-60, 2016, 7

- 16) 膝関節外側滑膜ヒダ障害による弾発膝を来した1例  
三股奈津子, 石田康行, 谷口昇, 田島卓也, 山口奈美, 大田智美, 帖佐悦男  
九州・山口スポーツ医・科学研究会誌, 28 : p78-80, 2016, 7
- 17) 当センターにおける高度麻痺性股関節脱臼に対する外科的治療選択  
川野彰裕, 帖佐悦男, 柳園賜一郎, 門内一郎  
脳性麻痺の外科研究会誌, 26 : p97-101, 2016, 7
- 18) Screening for musculoskeletal problems in Japanese schoolchildren: a cross-sectional study nested in a cohort  
N Yamaguchi, E Chosa, K Yamamoto, K Kawahara, H Hamada, N Taniguchi, T Tajima, T Funamoto, S Kurogi, T Ota, S Nakamura  
Public Health, 139 : p189-197, 2016, 8
- 19) Surgical treatment for hemodialysis associated cervical spondyloarthropathy  
Hiroshi Kuroki, Hideaki Hamanaka, Naoki Inomata, Kiyoshi Higa, Takuya Nagai, Etsuo Chosa  
Clinics in Surgery - Orthopaedic Surgery, 1(Article 1102) : p1-5, 2016, 9
- 20) 寛骨臼球骨切り (SAO) 後の関節症進行に対する治療戦略～骨切り術から人工関節に至るまでの治療の軌跡～  
中村嘉宏, 帖佐悦男, 坂本武郎, 渡邊信二, 関本朝久, 池尻洋史, 船元太郎, 日吉優, 川野啓介  
整形外科と災害外科, 65(3) : p396-399, 2016, 9
- 21) 80歳以上の大腿骨近位部骨折に対する循環器疾患の周術期リスクについての調査  
梅崎哲矢, 森治樹, 三橋龍馬, 山口洋一郎, 今里浩之  
整形外科と災害外科, 65(3) : p526-528, 2016, 9
- 22) リアルタイムMEPモニタリング下に腸腰筋に浸潤した後腹膜腫瘍を摘出した1例  
平川雄介, 帖佐悦男, 濱中秀昭, 猪俣尚規, 黒木修司, 比嘉聖, 永井琢哉, 李徳哲, 横江琢示  
整形外科と災害外科, 65(3) : p561-564, 2016, 9
- 23) 骨巨細胞腫2例に対するDenosumabを用いた治療経験  
戸田雅, 帖佐悦男, 坂本武郎, 関本朝久, 渡邊信二, 濱田浩朗, 池尻洋史, 中村嘉宏, 船元太郎, 日吉優, 川野啓介, 齊藤由希子  
整形外科と災害外科, 65(4) : p655-657, 2016, 9

- 24) 肩鎖関節脱臼に対する新しい手術デバイス” Zip Tight®” の使用経験  
小島岳史, 久保紳一郎, 田島直也, 野崎正太郎, 三橋龍馬, 帖佐悦男  
整形外科と災害外科, 65(4) : p756-760, 2016, 9
- 25) Duechenne跛行が股関節接触位置と臼蓋部応力状態に及ぼす影響の評価に関する検討  
大内宏輝, 鄧鋼, 鳥取部光司, 帖佐悦男, 山子剛  
臨床バイオメカニクス, 37 : p69-76, 2016, 10
- 26) ロコモティブシンドロームの国民的認知度向上とエビデンス構築に向けた活動-地域におけるロコモ認知度向上と前向き介入研究  
帖佐悦男  
日本整形外科学會雑誌, 90(10) : p813-820, 2016, 10
- 27) 疲労骨折の画像診断  
帖佐悦男  
整形・災害外科, 59(11) : p1411-1418, 2016, 10
- 28) 宮崎県における側彎症専門外来の診療状況とその変遷  
帖佐悦男  
Journal of Spine Research, 7(11) : p1605-1608, 2016, 11
- 29) アキレス腱縫合術後に再断裂と創部感染を起こし治療に難渋した1例  
梅崎哲矢, 森治樹, 山口洋一朗, 今里浩之  
宮崎整形外科懇話会論文集, 21 : p1-2, 2016, 11
- 30) 脛骨骨切り後に施行したTKA  
柏木輝行, 矢野良英, 花堂祥治, 福島克彦  
宮崎整形外科懇話会論文集, 21 : p3-4, 2016, 11
- 31) 当科での人工膝関節置換術後感染に対するインプラント温存治療の経験(化膿性膝関節炎による関節破壊と診断せずTKA施行した症例)  
公文崇詞, 栗原典近, 岡村龍, 森田雄大  
宮崎整形外科懇話会論文集, 21 : p5-8, 2016, 11
- 32) 大腿骨転子部骨折術後に巨大血腫を併発し骨溶解した1例  
小牧亘, 深野木快士, 濱田浩朗, 帖佐悦男  
宮崎整形外科懇話会論文集, 21 : p9-12, 2016, 11



- 33) 当院における掌側ロッキングプレート(Loc2-Acu)を用いた橈骨遠位端骨折に対する治療成績  
山口洋一朗, 森治樹, 梅崎哲矢, 今里浩之  
宮崎整形外科懇話会論文集, 21 : p15-16, 2016, 11
- 34) 手指非結核性抗酸菌症の治療経験  
森治樹, 梅崎哲矢, 山口洋一朗, 今里浩之  
宮崎整形外科懇話会論文集, 21 : p17-18, 2016, 11
- 35) 骨粗鬆症に対する本院の地域における取り組み  
小牧亘, 深野木快士, 大久保節子, 山内三和, 前原孝政, 福富雅子,  
吉村美樹, 井料田光浩, 濱田浩朗, 帖佐悦男  
宮崎整形外科懇話会論文集, 21 : p35-39, 2016, 11
- 36) THAセメントレスカップの使用経験  
柏木輝行, 矢野良英, 花堂祥治, 福島克彦  
宮崎整形外科懇話会論文集, 21 : p41-42, 2016, 11
- 37) 踵骨骨折(depression type)の治療報告  
北堀貴史, 松岡知己, 福田一, 斉藤由希子  
宮崎整形外科懇話会論文集, 21 : p43-44, 2016, 11
- 38) 足関節後果骨折に対する治療経験  
益山松三, 坂田勝美, 甲斐糸乃, 吉川大輔, 吉田修子  
宮崎整形外科懇話会論文集, 21 : p45-48, 2016, 11
- 39) 当院における新鮮月状骨周囲脱臼の治療成績  
山口洋一朗, 森治樹, 松岡篤, 今里浩之  
宮崎整形外科懇話会論文集, 21 : p49-59, 2016, 11
- 40) 外側小皮切によるスクリー固定を併用したWesthues変法にて骨接合を行った踵骨骨折の1例  
三橋龍馬, 田島直也, 久保紳一郎, 野崎正太郎, 小島岳史  
宮崎整形外科懇話会論文集, 21 : p51-54, 2016, 11
- 41) 宮崎大学整形外科関連病院における学会活動と論文執筆活動-いわゆる‘外病院’でキャリアアップは可能なのか-  
小島岳史, 久保紳一郎, 田島直也, 野崎正太郎, 三橋龍馬, 帖佐悦男  
宮崎整形外科懇話会論文集, 21 : p55-57, 2016, 11

- 42) 大腿骨近位部病的骨折に対して腫瘍用人工骨頭を用いた治療成績  
日吉優, 帖佐悦男, 坂本武郎, 濱田浩朗, 池尻洋史, 中村嘉宏, 船元太郎,  
川野啓介, 三股奈津子, 北島潤弥  
宮崎整形外科懇話会論文集, 21 : p59-61, 2016, 11
- 43) 液体窒素処理骨を用いて再建を行った骨軟部組織腫瘍の治療成績  
中村嘉宏, 帖佐悦男, 坂本武郎, 池尻洋史, 船元太郎, 日吉優, 川野啓介  
宮崎整形外科懇話会論文集, 21 : p67-70, 2016, 11
- 44) 鎖骨両端骨折に対しLCPクラビ<sup>®</sup>クラブ<sup>®</sup> レトテラルエクステンションを使用した1例  
森治樹, 三橋龍馬, 梅崎哲矢, 山口洋一朗, 今里浩之  
宮崎整形外科懇話会論文集, 21 : p71-72, 2016, 11
- 45) 宮崎県における側弯症専門外来の診療状況とその変遷  
黒木浩史, 猪俣尚規, 永井琢哉, 帖佐悦男, 田島直也  
Journal of Spine Research, 7(11) : p1605-1608, 2016, 11
- 46) 地域における運動の啓発活動-ロコモザワールド宮崎-  
帖佐悦男  
日本医師会雑誌, 145(9) : p1865-1868, 2016, 12
- 47) 変形性関節症のリハビリテーション  
鳥取部光司, 帖佐悦男, 宮崎茂明  
The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine,  
53(12) : p922-927, 2016, 12

## ◆ 総 説

- 1) 骨盤・股関節のスポーツ障害とバイオメカニクス  
帖佐悦男  
臨床スポーツ医学, 33(1) : p64-69, 2016, 1
- 2) 連載 これだけは知っておきたい 整形外科的徒手検査法 第2回 下肢-膝関節N- test  
田島卓也, 帖佐悦男  
関節外科, 35(2) : p114-115, 2016, 2
- 3) 上肢-肩関節 Empty can test  
石田康行, 帖佐悦男  
関節外科, 35(3) : p96-96, 2016, 2
- 4) 連載 これだけは知っておきたい 整形外科的徒手検査法 第3回 Empty can test  
石田康行, 帖佐悦男  
関節外科, 35(3) : p324-325, 2016, 3
- 5) 特集 下肢関節障害の軟骨保護・再生に向けた治療 FAIによる関節症とその予防  
坂本武郎, 帖佐悦男  
関節外科, 35(3) : p42-45, 2016, 3
- 6) 上肢-手関節 Phalen test  
鳥取部光司, 帖佐悦男  
関節外科, 35(4) : p104-105, 2016, 4
- 7) 脊椎 Finger escape sign  
濱中秀昭, 帖佐悦男  
関節外科, 35(5) : p102-103, 2016, 5
- 8) Morton病を調べるテスト—Mulder's click  
渡邊信二, 帖佐悦男  
関節外科, 35(6) : p94-65, 2016, 6
- 9) 小児股関節 Click test  
川野彰裕, 帖佐悦男  
関節外科, 35(7) : p82-83, 2016, 7

- 10) 下肢-膝関節 Lachman test  
山口奈美, 帖佐悦男  
関節外科, 35(8) : p90-91, 2016, 8
- 11) IV. 診察法と診断ビットフォール 股関節と股関節周辺  
坂元武郎, 帖佐悦男  
関節外科, 35(10) : p158-161, 2016, 10
- 12) III. 各種検査法 検体検査-血液・微生物・関節液など-  
船元太郎, 帖佐悦男  
関節外科, 35(10) : p88-91, 2016, 10
- 13) ロコモ度の機器による評価は?  
帖佐悦男, 鄧鋼, 田村宏樹, 山子剛, 塩満智子, 鶴田来美  
LOCO CURE, 2(4) : p56-59, 2016, 11
- 14) 上肢-手・指 10秒テスト  
比嘉聖, 帖佐悦男  
関節外科, 35(11) : p128-129, 2016, 11
- 15) 運動器疾患を扱うメディカルスタッフのためのバイオメカニクス必携  
帖佐悦男  
関節外科, 35(11) : p1118-1125, 2016, 11
- 16) 仙骨・骨盤を巡る諸問題について  
濱中秀昭  
Journal of Spine Research, 7(12) : p1679-1679, 2016, 12

## ◆学会報告

- 1) 歩行開始後に発見されたDDHに対するOHT法の治療成績  
川野彰裕, 帖佐悦男, 柳園賜一郎, 門内一郎, 渡邊信二  
第32回九州小児整形外科集談会, 2016, 1, 福岡
- 2) 外傷性母指ボタンホール変形に対する治療経験  
大田智美, 石田康行, 谷口昇, 田島卓也, 山口奈美, 中村志保子, 帖佐悦男,  
矢野浩明  
第37回九州手外科学研究会, 2016, 2, 福岡
- 3) 陳旧性PIP関節脱臼骨折術後にPIP関節破壊を生じた1例  
甲斐糸乃, 益山松三, 坂田勝美, 吉川大輔  
第37回九州手外科学研究会, 2016, 2, 福岡
- 4) 肘部に局所再発を呈したParachordomaの症例の予後  
高見博昭, 麻生邦一, 吉田盛治  
第37回九州手外科学研究会, 2016, 2, 福岡
- 5) 青少年野球選手に対する上腕骨小頭離断性骨軟骨炎の手術成績  
石田康行, 谷口昇, 山口奈美, 大田智美, 中村志保子, 帖佐悦男, 矢野浩明  
第37回九州手外科学研究会, 2016, 2, 福岡
- 6) 青少年野球選手の上腕骨小頭離断性骨軟骨炎に対する手術成績  
石田康行, 谷口昇, 山口奈美, 大田智美, 中村志保子, 長澤誠, 帖佐悦男  
第28回日本肘関節学会学術集会, 2016, 2, 岡山
- 7) Spherical acetabular osteotomy(SAO)術後の人工股関節置換術  
中村嘉宏, 帖佐悦男, 坂本武郎, 渡邊信二, 池尻洋史, 日吉優, 川野啓介  
第46回日本人工関節学会, 2016, 2, 大阪
- 8) Rotator cuff deficient arthropathyに対する小径人工骨頭置換術と腱板再建術における成績不良因子の検討  
三好直樹, 末永直樹, 大泉尚美, 当真孝, 谷口昇, 伊藤浩  
第46回日本人工関節学会, 2016, 2, 大阪

- 9) 広範囲腱板断裂を伴う関節リウマチに対する小径骨頭による人工骨頭置換術の経験  
谷口昇, 末永直樹, 石田康行, 帖佐悦男  
第46回日本人工関節学会, 2016, 2, 大阪
- 10) 頸椎症性筋萎縮症の総指伸筋の麻痺に対する神経筋電気刺激と運動療法の効果検討-高電圧パルス電流法を用いて-  
圓福陽介, 野海渉, 渡辺一徹, 蓑原勝哉, 植村郁, 前原孝政, 砂川一馬,  
満安隆之, 太田尾祐史, 深野木快士, 小牧亘  
第38回宮崎リハビリテーション研究会, 2016, 2, 宮崎
- 11) 橈骨遠位端骨折受傷後の大腿骨近位部骨折が起こる背景  
太田尾祐史, 児玉香織, 野海渉, 渡辺一徹, 圓福陽介, 蓑原勝哉, 植村郁,  
前原孝政, 砂川一馬, 満安隆之, 迫田勇一郎, 深野木快士, 小牧亘  
第38回宮崎リハビリテーション研究会, 2016, 2, 宮崎
- 12) 重度心身障がい児(者)におけるMOLT評価の有用性  
山下晃功, 柳園賜一郎, 川野彰裕, 門内一郎, 横山浩一郎, 河野智行  
第38回宮崎リハビリテーション研究会, 2016, 2, 宮崎
- 13) 頸椎症性筋萎縮症の総指伸筋の麻痺に対する神経筋電気刺激と運動療法の効果検討～高電圧パルス電流法を用いて～  
圓福陽介, 野海渉, 渡辺一徹, 蓑原勝哉, 植村郁, 前原孝政, 砂川一馬,  
満安隆之, 太田尾祐史, 深野木快士, 小牧亘  
第38回宮崎リハビリテーション研究会, 2016, 2, 宮崎
- 14) 大腰筋と腰椎弯曲の関係性について  
藤田靖昇, 柏木輝行, 塩崎猛, 増田真樹, 山口光生, 谷口昂之, 岩下光希  
第38回宮崎リハビリテーション研究会, 2016, 2, 宮崎
- 15) 超音波画像診断装置を用いた腰部多裂筋活動の比較～四つ這い位と同等の活動を座位にて安全に行えるよう目指して～  
岩田尚樹, 尾崎純也, 濱田剛, 浪平辰州, 横江琢示  
第38回宮崎リハビリテーション研究会, 2016, 2, 宮崎
- 16) 橈骨遠位端骨折受傷後の大腿骨近位部骨折受傷が起こる背景  
太田尾祐史, 児玉香織, 野海渉, 渡辺一徹, 圓福陽介, 蓑原勝哉, 植村郁,  
前原孝政, 砂川一馬, 満安隆之, 迫田勇一郎, 深野木快士, 小牧亘  
第38回宮崎リハビリテーション研究会, 2016, 2, 宮崎

- 17) 外閉鎖筋エクササイズの検討  
高橋龍太郎, 柏木輝行, 塩崎猛, 増田真樹, 山口光生  
第38回宮崎リハビリテーション研究会, 2016, 2, 宮崎
- 18) Hoglelマシソイナーサイ・ミ(是吉興業社製)における柔軟性の即時効果と累積効果についての検討  
阿蘇品裕, 塩崎猛, 柏木輝行  
第38回宮崎リハビリテーション研究会, 2016, 2, 宮崎
- 19) 総合型地域スポーツクラブにおける体力テストに関する研究  
長友勇太, 山下彩, 宮崎茂明, 蒲原真澄, 塩満智子, 鶴田来美, 帖佐悦男,  
鳥取部光司  
第38回宮崎リハビリテーション研究会, 2016, 2, 宮崎
- 20) Crouzon病の一症例における発達の特徴  
木本七絵, 金岡敦, 新名由貴, 帖佐悦男, 鳥取部光司, 笠井新一郎, 永田順子  
第38回宮崎リハビリテーション研究会, 2016, 2, 宮崎
- 21) 宮崎県における高次脳機能障害支援と連携について  
永田真哉, 中武潤, 帖佐悦男, 鳥取部光司  
第38回宮崎リハビリテーション研究会, 2016, 2, 宮崎
- 22) 体軸性脊椎関節炎の診断における問題点の検討  
首藤敏秀, 小菌敬洋, 鈴木周一, 和氣聡  
第51回九州リウマチ学会, 2016, 3, 宮崎
- 23) 当院での関節リウマチ患者における生物学的製剤スイッチの有無による最終中止理由の検討  
日高利彦, 橋場弥生, 西英子, 甲斐泰文, 黒田宏, 坂口翔太, 久保和義,  
宮内俊一, 梅北邦彦, 高城一郎, 長友安弘, 岡山昭彦  
第51回九州リウマチ学会, 2016, 3, 宮崎
- 24) 関節超音波を用いた分子標的治療薬の治療反応性の評価:九州地区多施設共同RA超音波前方視的コホート研究  
西野文子, 川尻真也, 川上純, 吉玉珠美, 榮樂信隆, 松岡直樹, 植木幸孝,  
岡田寛丈, 濱田浩朗, 日高利彦, 藤川敬太, 永野修司, 都留智巳, 有信洋二郎  
第51回九州リウマチ学会, 2016, 3, 宮崎

- 25) 超音波ガイド下による関節注入の活用  
濱田浩朗, 帖佐悦男, 税所幸一郎, 吉川教恵  
第51回九州リウマチ学会, 2016, 3, 宮崎
- 26) 宮崎県は大腿骨近位部骨折地域連携パスの過疎地?ならびに今後の展望について  
中村嘉宏  
第4回日本脆弱性骨折ネットワーク, 2016, 3, 宮崎
- 27) 車いすテニスのサーブ動作における体幹運動と上肢運動との関連性  
落合優, 宮崎茂明, 中武潤, 鳥取部光司, 帖佐悦男  
第54回宮崎県スポーツ学会, 2016, 3, 宮崎
- 28) サッカー選手の下肢スポーツ傷害に対する簡易的動作分析の試み  
宮本浩幸, 上中園涼, 谷合司聖, 小玉順規, 樋口潤一  
第54回宮崎県スポーツ学会, 2016, 3, 宮崎
- 29) “柔道トップアスリート患者への体組成管理により体重減少が改善された一例”  
郷之原愛, 尾崎勝博, 原田昭彦, 落合錠, 中島玉江, 金丸恵子, 吉村菜瑠美,  
田島直也, 小島岳史  
第54回宮崎県スポーツ学会, 2016, 3, 宮崎
- 30) 霧島・えびの高原エクストリームトレイル大会での「宮大健康スポーツナース」の救護活動の実際  
福崎崇宏, 木下俊太, 笠裕一郎, 藤浦まなみ, 水永豊子, 日高真美子,  
横江琢示, 帖佐悦男  
第54回宮崎県スポーツ学会, 2016, 3, 宮崎
- 31) 肩関節可動域制限がサーフィンのパドリングに及ぼす影響-第1報-  
原田昭彦, 尾崎勝博, 落合錠, 横田薫, 小島岳史, 田島直也  
第54回宮崎県スポーツ学会, 2016, 3, 宮崎
- 32) 宮崎県における春季キャンプに対するメディカルサポート報告-キャンプ地の総合的メディカルサポート体制の構築にむけて-2014~2015年のまとめ  
小島岳史, 久保紳一郎, 三橋龍馬, 野崎正太郎, 田島直也, 田島卓也,  
帖佐悦男, 石田康行, 山口奈美, 日吉優, 永井琢哉, 園田典生, 松岡知己,  
井上篤, 山本恵太郎, 樋口潤一, 河原勝博, 横江琢示  
第54回宮崎県スポーツ学会, 2016, 3, 宮崎



- 33) サッカーにおける脳震盪への対応と課題  
日吉優, 樋口潤一, 宮本浩幸, 原田昭彦  
第54回宮崎県スポーツ学会, 2016, 3, 宮崎
- 34) プロサーファーのMRIによる腰椎椎間板変性の検討  
小島岳史, 久保紳一郎, 三橋龍馬, 野崎正太郎, 田島直也, 杉村宏,  
原田昭彦, 落合錠, 横田薫, 尾崎勝博, 李徳哲, 帖佐悦男  
第54回宮崎県スポーツ学会, 2016, 3, 宮崎
- 35) 当院におけるFibrin Clotを用いた関節鏡視下半月縫合術の治療経験  
戸田雅, 帖佐悦男, 田島卓也, 山口奈美  
第54回宮崎県スポーツ学会, 2016, 3, 宮崎
- 36) 足関節三角靭帯損傷を伴った外果骨折に対してTightRopeを用いて  
遠位脛腓関節固定を行った2症例  
園田典生, 矢野浩明, 増田寛, 吉川大輔  
第54回宮崎県スポーツ学会, 2016, 3, 宮崎
- 37) 身体総タンパク量 (%MV) および体重支持指数 (WBI) と競技パフォーマンスの関係性～スポー  
ツ部活動生へのメディカルチェックから得られた所見～  
栗畑慶輔, 三浦崇史, 大山史朗, 園田定彦, 園田泰三, 末永治, 脇元幸一  
第54回宮崎県スポーツ学会, 2016, 3, 宮崎
- 38) 超音波ガイド下における手関節ヒアルロン酸注入の短期効果  
濱田浩朗, 帖佐悦男, 税所幸一郎, 吉川教恵  
第60回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2016, 4, 神奈川
- 39) 当院での関節リウマチ患者における生物学的製剤スイッチ症例の検討  
橋場弥生, 日高利彦, 西英子, 甲斐泰文, 久保和義, 黒田宏, 梅北邦彦,  
岡山昭彦  
第60回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2016, 4, 神奈川
- 40) 関節リウマチ患者の不安 抑うつについて～NinJa2012-2014の解析～  
片山雅夫, 宮村知也, 末松栄一, 末永康夫, 松井利浩, 平野史倫,  
角田慎一郎, 税所幸一郎, 當間重人  
第60回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2016, 4, 神奈川

- 41) Ninjaによる関節リウマチ患者の四肢骨折手術の解析～2014年度～  
吉川教恵, 税所幸一郎, 當間重人, 帖佐悦男, 濱田浩朗  
第60回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2016, 4, 神奈川
- 42) 小指PIP関節陳旧性橈側副靭帯損傷に対する治療経験  
大田智美, 石田康行, 中村志保子, 帖佐悦男, 矢野浩明  
第59回日本手外科学会学術集会, 2016, 4, 広島
- 43) Surgical treatment for hemodialysis associated cervical spondyloarthropathy  
Hiroshi Kuroki, Hideaki Hamanaka, Naoki Inomata, Kiyoshi Higa,  
Takuya Nagai, Etsuo Chosa  
The 7th Cervical Spine Research Society-Asia pacific Section, 2016, 4, Korea
- 44) Remnant-Preserving Augmentation with Bone-Patellar tendon-Bone graft For Partial  
Tears of Anterior Cruciate Ligament  
Yokoe T, Tajima T, Taniguchi N, Ishida Y, Chosa E  
17th ESSKA Congress, 2016, 5, Spain
- 45) 宮崎県における野球肘検診の現状と未来  
石田康行, 長澤誠, 谷口昇, 山口奈美, 大田智美, 中村志保子, 川野啓介,  
帖佐悦男  
第89回日本整形外科学会学術総会, 2016, 5, 神奈川
- 46) 大腿骨転子部骨折に対しガンマネイル施行後再手術となった症例についての検討  
三橋龍馬, 森治樹, 梅崎哲矢, 山口洋一郎, 李徳哲, 帖佐悦男  
第89回日本整形外科学会学術総会, 2016, 5, 神奈川
- 47) 運動器疾患に対する新たな治療法-体外衝撃波疼痛治療など-  
帖佐悦男  
第89回日本整形外科学会学術総会, 2016, 5, 神奈川
- 48) 小径人工骨頭置換と腱板再建術-70歳未満のcuff tear arthropathyに対する中期成績-  
三好直樹, 末永直樹, 大泉尚美, 谷口昇, 当真孝, 伊藤浩  
第89回日本整形外科学会学術総会, 2016, 5, 神奈川

- 49) 頰椎症性筋萎縮症の総指伸筋の麻痺に対する神経筋電気刺激と運動療法の効果検討  
圓福陽介, 渡辺一徹, 野海渉, 茂利久嗣, 太田尾祐史, 蓑原勝哉, 前原孝政,  
砂川一馬, 満安隆之, 東友和, 深野木快士, 小牧亘  
第51回日本理学療法学会大会, 2016, 5, 北海道
- 50) 腰臀部痛を主訴に受診された化膿性仙腸関節炎の2症例  
比嘉聖, 濱中秀昭, 猪俣尚規, 永井琢哉, 李徳哲, 帖佐悦男  
第85回西日本脊椎研究会, 2016, 6, 福岡
- 51) 検査上沈静化した真菌性肩関節症に鏡視下腱板修復術を行い真菌感染が再度顕著化した1例  
横江琢示, 石田康行, 谷口昇, 田島卓也, 山口奈美, 平川雄介, 帖佐悦男  
第131回西日本整形・災害外科学会学会集會, 2016, 6, 福岡
- 52) 当院における寛骨臼骨折術後感染例の検討  
日吉優, 中村嘉宏, 池尻洋史, 川野啓介, 帖佐悦男  
第131回西日本整形・災害外科学会学会集會, 2016, 6, 福岡
- 53) 当院における掌側ロックングプレート(Acu-Loc2)を用いた橈骨遠位端骨折に対する治療経験  
山口洋一郎, 森治樹, 梅崎哲矢, 今里浩之  
第131回西日本整形・災害外科学会学会集會, 2016, 6, 福岡
- 54) 仙骨骨巨細胞腫の2例  
濱中秀昭, 猪俣尚規, 比嘉聖, 永井琢哉, 李徳哲, 帖佐悦男, 久保紳一郎  
第131回西日本整形・災害外科学会学会集會, 2016, 6, 福岡
- 55) 人工股関節置換術を機に診断に至ったアルカプトン尿症の1例  
川野啓介, 帖佐悦男, 坂本武郎, 渡邊信二, 濱田浩朗, 池尻洋史, 中村嘉宏,  
船元太郎, 日吉優  
第131回西日本整形・災害外科学会学会集會, 2016, 6, 福岡
- 56) 当院におけるFibin Clotを用いた関節鏡視下半月縫合術の治療経験  
戸田雅, 帖佐悦男, 田島卓也, 山口奈美  
第131回西日本整形・災害外科学会学会集會, 2016, 6, 福岡
- 57) 急性期脳卒中患者の半側空間無視に対して「視覚注意誘導刺激(スリットスクリーン法)」の  
治療検討  
黒木洋美, 帖佐悦男, 安田和弘, 岩田浩康  
第53回日本リハビリテーション医学会学会集會, 2016, 6, 京都

- 58) 車いすテニスのサーブ動作における体幹運動と上肢運動との関連性  
宮崎茂明, 帖佐悦男, 鳥取部光司, 中武潤, 落合優, 片岡愛美, 川越美希  
第53回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2016, 6, 京都
- 59) 学童期運動器検診モデル事業を終えて-成果と今後の課題-  
深尾悠, 帖佐悦男, 鳥取部光司, 黒木洋美, 濱田浩朗  
第53回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2016, 6, 京都
- 60) 下腿切断者の椅子からの立ち上がり動作と着座動作における力学的検討  
鳥取部光司, 帖佐悦男, 濱田浩朗, 深尾悠, 坂本武郎, 黒木洋美,  
柳園賜一郎, 川野彰裕  
第53回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2016, 6, 京都
- 61) 地域におけるロコモ対策-産官学連携での取り組み-  
帖佐悦男  
第53回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2016, 6, 京都
- 62) 踵骨骨折 (depression type) の治療報告  
北堀貴史, 松岡知己, 福田一, 齊藤由希子  
第72回宮崎整形外科懇話会, 2016, 6, 宮崎
- 63) 足関節後果骨折に対する治療経験  
益山松三, 坂田勝美, 甲斐糸乃, 吉川大輔, 吉田修子  
第72回宮崎整形外科懇話会, 2016, 6, 宮崎
- 64) 当院における新鮮月状骨周囲脱臼の治療について  
山口洋一朗, 森治樹, 松岡篤, 今里浩之  
第72回宮崎整形外科懇話会, 2016, 6, 宮崎
- 65) アキレス腱縫合術後に再断裂と創部感染から長期加療が必要となった2例  
長澤誠, 田島卓也, 石田康行, 谷口昇, 山口奈美, 大田智美, 戸田雅,  
吉留綾, 帖佐悦男  
第72回宮崎整形外科懇話会, 2016, 6, 宮崎
- 66) 外側小皮切によるスクリー固定を併用したWesthues変法にて骨接合を行った踵骨骨折の1例  
三橋龍馬, 小島岳史, 野崎正太郎, 久保紳一郎, 田島直也  
第72回宮崎整形外科懇話会, 2016, 6, 宮崎

67) THAセメントレスカップの使用経験

柏木輝行, 矢野良英, 花堂祥治, 福島克彦  
第72回宮崎整形外科懇話会, 2016, 6, 宮崎

68) Body mass indexは麻痺性側弯症の進行に影響を及ぼすか?

門内一郎, 川野彰裕, 梅崎哲矢  
第72回宮崎整形外科懇話会, 2016, 6, 宮崎

69) 骨粗鬆症に対する本院の地域における取り組み

小牧亘, 深野木快士, 大久保節子, 山内三和, 前原孝政, 福富雅子,  
吉村美樹, 井料田光浩, 濱田浩朗, 帖佐悦男  
第72回宮崎整形外科懇話会, 2016, 6, 宮崎

70) 変形性足関節症ステージ4に対し骨きり術を行った1例

岡村龍, 公文崇詩, 横江琢示, 井口公貴, 栗原典近, 黒田宏, 松岡篤  
第72回宮崎整形外科懇話会, 2016, 6, 宮崎

71) 妊娠中期に発生した化膿性恥骨結合炎

森治樹, 松岡篤, 山口洋一朗, 今里浩之  
第72回宮崎整形外科懇話会, 2016, 6, 宮崎

72) 宮崎大学整形外科関連病院における学会活動と論文執筆活動-いわゆる‘外病院’でキャリアアップは可能なのか-

小島岳史, 三橋龍馬, 野崎正太郎, 久保紳一郎, 田島直也, 帖佐悦男  
第72回宮崎整形外科懇話会, 2016, 6, 宮崎

73) 大腿骨近位病的骨折に対して腫瘍用人工骨頭を用いた治療成績

日吉優, 帖佐悦男, 坂本武郎, 濱田浩朗, 池尻洋史, 中村嘉宏, 船元太郎,  
三股奈津子, 北島潤弥, 黒木彩泰子  
第72回宮崎整形外科懇話会, 2016, 6, 宮崎

74) 原発不明脊椎転移性腫瘍における当院での原発巣検索について

永井琢哉, 濱中秀昭, 黒木修司, 比嘉聖, 川野啓介, 李徳哲, 戸田雅,  
川越秀一  
第72回宮崎整形外科懇話会, 2016, 6, 宮崎

- 75) 液体窒素処理骨を用いて再建を行った骨軟部組織腫瘍の治療成績  
中村嘉宏, 帖佐悦男, 坂本武郎, 池尻洋史, 船元太郎, 日吉優, 川野啓介,  
三股奈津子, 北島潤弥, 黒木彩泰子  
第72回宮崎整形外科懇話会, 2016, 6, 宮崎
- 76) 足趾に発生した腱鞘巨細胞腫の1例  
和氣聡, 小菌敬洋, 首藤敏秀, 鈴木周一  
第72回宮崎整形外科懇話会, 2016, 6, 宮崎
- 77) 鎖骨両端骨折に対しLCP クラビクルプレートラテラルエクステンションを使用した1例  
森治樹, 三橋龍馬, 梅崎哲矢, 山口洋一朗, 今里浩之  
第72回宮崎整形外科懇話会, 2016, 6, 宮崎
- 78) 寛骨臼後壁骨折術後MRSA感染に感染性脳動脈瘤を合併した1症例  
中村嘉宏, 帖佐悦男, 池尻洋史, 日吉優, 川野啓介  
第42回日本骨折治療学会, 2016, 7, 東京
- 79) 術中3D-CT navigationを使用した骨盤輪骨折の小経験  
日吉優, 帖佐悦男, 池尻洋史, 中村嘉宏, 川野啓介  
第42回日本骨折治療学会, 2016, 7, 東京
- 80) 脛骨顆間隆起骨折の治療経験  
川野啓介, 帖佐悦男, 池尻洋史, 中村嘉宏, 日吉優  
第42回日本骨折治療学会, 2016, 7, 東京
- 81) 高齢者の大腿骨頸部骨折におけるハンソンピンの治療成績～術前X線側面像の重要性について～  
今里浩之, 森治樹, 梅崎哲矢, 山口洋一朗  
第42回日本骨折治療学会, 2016, 7, 東京
- 82) 中壮年期のロコモ検診と運動機能の検討  
鳥取部光司, 帖佐悦男, 深尾悠  
第28回日本運動器科学会, 2016, 7, 福島
- 83) 地方都市の特定健康診査におけるロコモ検診  
深尾悠, 帖佐悦男, 鳥取部光司  
第28回日本運動器科学会, 2016, 7, 福島

- 84) 大腿骨転子部骨折術後に巨大血腫を併発し骨溶解した1例  
小牧亘, 深野木快士, 濱田浩朗, 帖佐悦男  
第29回日本臨床整形外科学術集会, 2016, 7, 北海道
- 85) 中殿筋筋力と筋厚変化率の違いが運動機能に与える影響  
蓑原勝哉, 渡辺一徹, 野海渉, 茂利久嗣, 圓福陽介, 前原孝政, 砂川一馬,  
満安隆之, 東友和, 深野木快士, 小牧亘  
第29回日本臨床整形外科学術集会, 2016, 7, 北海道
- 86) 認知能力の重症度が及ぼす影響 地域包括ケア病棟患者を対象として  
圓福陽介, 渡辺一徹, 野海渉, 茂利久嗣, 太田尾祐史, 蓑原勝哉, 前原孝政,  
砂川一馬, 満安隆之, 東友和, 深野木快士, 小牧亘  
第29回日本臨床整形外科学術集会, 2016, 7, 北海道
- 87) 大腿骨転子部骨折術後Salvage手術における臼蓋側再建時のpit, fall  
北島潤弥  
第25回MX人工股関節研究会プログラム, 2016, 7, 高知
- 88) 臼蓋再建に用いたハイドロキシアパタイトが原因になり様々な合併症を生じた1例  
川野啓介  
第25回MX人工股関節研究会プログラム, 2016, 7, 高知
- 89) 宮崎県少年野球検診 検診結果と可動域の関係  
長澤誠, 石田康行, 谷口昇, 田島卓也, 山口奈美, 大田智美, 川野啓介,  
帖佐悦男  
第8回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2016, 7, 福岡
- 90) 開放性膝関節脱臼後に前十字靭帯・後十字靭帯・内側々副靭帯および後外側支持機構を同時再建した1例  
田島卓也, 山口奈美, 谷口昇, 石田康行, 大田智美, 長澤誠, 帖佐悦男  
第8回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2016, 7, 福岡
- 91) 上腕骨小頭離断性骨軟骨炎に対する吸収ピンによる骨軟骨片固定術の問題点  
石田康行, 谷口昇, 田島卓也, 山口奈美, 大田智美, 長澤誠, 帖佐悦男  
第8回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2016, 7, 福岡

- 92) 自家ハムストリング腱を用いた膝前十字靭帯補強術後の大腿骨骨孔拡大の検討  
山口奈美, 田島卓也, 谷口昇, 石田康行, 帖佐悦男  
第8回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2016, 7, 福岡
- 93) 裂離骨片を伴う陳旧性足関節外側靭帯損傷例に対する骨片摘出, 靭帯前進縫着法の経験  
横江琢示, 田島卓也, 山口奈美, 石田康行, 谷口昇, 帖佐悦男  
第8回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2016, 7, 福岡
- 94) 術中3D-CT navigationを使用した骨盤輪骨折の治療経験  
三股奈津子, 日吉優, 中村嘉宏, 川野啓介, 池尻洋史, 帖佐悦男, 落合秀信  
第48回宮崎救急医学会, 2016, 8, 宮崎
- 95) 大規模災害時のリハビリテーション支援について-熊本地震で経験したこと-  
鈴木幹次郎, 黒木洋美, 河野寛一, 財津良忠, 児玉睦代  
第48回宮崎救急医学会, 2016, 8, 宮崎
- 96) 当院にて関節リウマチ患者に対する大腿骨近位部骨折クリティカルパスの有用性の検討  
遠矢悠, 吉川教恵, 税所幸一郎, 上通一師, 佐倉志洋  
九州リウマチ学会, 2016, 9, 熊本
- 97) 2012年度NunJa 6施設にみるRA患者における腎機能障害とDMARDs使用について  
税所幸一郎, 富間重人, 吉川教恵, 上道一師, 帖佐悦男, 濱田浩朗  
九州リウマチ学会, 2016, 9, 熊本
- 98) ゴリムマブ治療中に糞線虫感染症と診断された関節リウマチの1例  
橋場弥生, 南寛之, 長安英治, 丸山治彦, 西英子, 甲斐泰文, 黒田宏,  
日高利彦, 岡山照彦  
九州リウマチ学会, 2016, 9, 熊本
- 99) 高齢関節リウマチ患者に対する生物学的製剤7剤の使用背景と6ヶ月後の効果比較  
日高利彦, 橋場弥生, 西英子, 甲斐泰文, 黒田宏  
九州リウマチ学会, 2016, 9, 熊本
- 100) 当科における手関節痛に対する保存療法と手術療法  
濱田浩朗, 帖佐悦男, 税所幸一郎, 吉川教恵, 日高利彦  
九州リウマチ学会, 2016, 9, 熊本



- 101) surgical treatment of posterior wall fracture, combined with femoral head fracture-effectiveness of surgical dislocation for femoral head fracture  
中村嘉宏, 帖佐悦男, 坂本武郎, 池尻洋史, 日吉優, 川野啓介  
12th CONGRESS OF THE EUROPEAN HIP SOCIETY, 2016, 9, ドイツ
- 102) 宮崎県少年野球検診 検診結果と可動域測定結果の関係  
長澤誠  
第4回九千スポーツフォーラム, 2016, 9, 鹿児島
- 103) 運動器慢性疼痛に対する認知運動課題と電気刺激の心身への効果  
太田尾祐史, 渡辺一徹, 野海渉, 茂利久嗣, 圓福陽介, 蓑原勝哉, 前原孝政,  
砂川一馬, 満安隆之, 東友和, 深野木快士, 小牧亘  
第50回日本作業療法学会, 2016, 9, 北海道
- 104) 宮崎県少年野球検診 関節可動域 柔軟性測定結果と検診結果の検討～3年間の結果より～  
長澤誠, 石田康行, 谷口昇, 田島卓也, 山口奈美, 大田智美, 中村志保子  
第42回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2016, 9, 北海道
- 105) 宮崎県における高校ラグビー年間を通じての公式戦外傷調査～グラウンドレベルでの診療～  
今里浩之, 田島卓也, 戸田雅, 三股奈津子, 平川雄介, 比嘉聖, 吉川教恵,  
吉川大輔, 山口奈美, 中村嘉宏, 石田康行, 帖佐悦男  
第42回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2016, 9, 北海道
- 106) 反張膝を呈するラグビー選手に対する片側初回ACL再建術および反対側再々再建術;再建材料選択と後療法に着目して  
田島卓也, 山口奈美, 谷口昇, 石田康行, 大田智美, 長澤誠, 帖佐悦男  
第42回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2016, 9, 北海道
- 107) 片側下腿切断者の歩行 起立 着座動作における下腿義足の力学的検討  
鳥取部光司, 帖佐悦男, 山子剛, Zhao Xin, 深尾悠, Deng Gang, 大内宏輝  
第43回日本臨床バイオメカニクス学会, 2016, 10, 北海道
- 108) Duchenne跛行を呈する片側変形性股関節症患者を対象とした健側と患側の股関節反力の検討  
大内宏輝, Deng Gang, 鳥取部光司, 山子剛, 帖佐悦男  
第43回日本臨床バイオメカニクス学会, 2016, 10, 北海道

- 109) 子どもロコモと健康寿命  
東友和, 小牧亘  
第58回全日本病院学会, 2016, 10, 熊本
- 110) 当院におけるロコモティブシンドロームへの取り組み  
前原孝政, 小牧亘  
第58回全日本病院学会, 2016, 10, 熊本
- 111) 食生活とロコモティブシンドロームの関係性  
満安隆之, 小牧亘  
第58回全日本病院学会, 2016, 10, 熊本
- 112) 本院リハビリテーション室改築に伴う現在の取り組みと今後の課題  
野海渉, 小牧亘  
第58回全日本病院学会, 2016, 10, 熊本
- 113) 医療保険における維持期リハから介護保険への移行の取り組み  
松山孝志, 小牧亘  
第58回全日本病院学会, 2016, 10, 熊本
- 114) 骨粗鬆症に対する本院の地域における取り組み  
小牧亘, 深野木快士, 大久保節子, 山内三和, 前原孝政, 福富雅子,  
吉村美樹, 井料田光浩, 濱田浩朗, 帖佐悦男  
第58回全日本病院学会, 2016, 10, 熊本
- 115) 褥瘡早期治癒に向けた取り組み  
外山貴彬, 小牧亘  
第58回全日本病院学会, 2016, 10, 熊本
- 116) 鏡視下腱板修復術後に感染が顕著化した真菌性肩関節症の1例  
横江琢示, 石田康行, 谷口昇, 長澤誠, 帖佐悦男  
第43回日本肩関節学会, 2016, 10, 広島
- 117) 小径人工骨頭置換と腱板再建術における成績不良因子の検討  
三好直樹, 末永直樹, 大泉尚美, 谷口昇, 呉屋五十六, 伊藤浩  
第43回日本肩関節学会, 2016, 10, 広島

- 118) 神経病性肩関節症に伴う外傷性肩関節脱臼に対する治療経験  
谷口昇, 石田康行, 長澤誠, 大田智美, 帖佐悦男, 山本宣幸, 井樋栄二  
第43回日本肩関節学会, 2016, 10, 広島
- 119) 脳性麻痺の肩痛に対し鏡視下バンカート法が有効であった一例  
石田康行, 谷口昇, 長澤誠, 大田智美, 帖佐悦男  
第43回日本肩関節学会, 2016, 10, 広島
- 120) 採血/献血時の注射針による前腕皮神経損傷4例の検討  
高見博昭  
第28回延岡医学会総会, 2016, 10, 宮崎
- 121) 当科における頸椎ペディクルスクリューの術後成績と安全性の検討-0-arm CTナビ フリーハンドの刺入精度の比較検討-  
濱中秀昭, 帖佐悦男, 黒木浩史  
第25回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 2016, 10, 長崎
- 122) 20年前の私と今-股関節学の師から得た経験と宝-  
帖佐悦男  
第43回日本股関節学会学術集会, 2016, 11, 大阪
- 123) 大腿骨近位部病的骨折に対する腫瘍用人口骨頭の治療成績  
日吉優, 帖佐悦男, 坂本武郎, 関本朝久, 中村嘉宏, 川野啓介  
第43回日本股関節学会学術集会, 2016, 11, 大阪
- 124) 健康スポーツネースへの期待と役割  
帖佐悦男  
第27回日本臨床スポーツ医学会, 2016, 11, 千葉
- 125) 平成27年度国民体育大会宮崎県選手団に対するアンケート調査-ドーピングの意識と女性アスリートの月経異常に着目して-  
吉留綾, 帖佐悦男, 田島卓也, 山口奈美, 石田康行, 長澤誠  
第27回日本臨床スポーツ医学会, 2016, 11, 千葉
- 126) 進行前立腺がん合併関節リウマチ患者にトシリズマブを投与した一例  
船元太郎, 濱田浩朗, 帖佐悦男  
第44回日本関節病学会, 2016, 11, 大分

- 127) 胸腰椎破損骨折に対する経皮的後方固定術の検討  
比嘉聖, 濱中秀昭, 永井琢哉, 川野啓介, 李徳哲, 帖佐悦男  
第86回西日本脊椎研究会, 2016, 11, 福岡
- 128) 宮崎県における側弯症学校検診の現状  
黒木浩史, 永井琢哉, 帖佐悦男, 田島直也  
第50回日本側弯症学会, 2016, 11, 京都
- 129) アキレス腱断裂診療ガイドライン改訂の概要について  
帖佐悦男, 熊井司, 杉本和也, 田島卓也, 田中康仁, 谷口昇, 平野貴章,  
森淳, 安田稔人  
第41回日本足の外科学会, 学術集会, 2016, 11, 奈良
- 130) 鏡視下Bankart修復術-安全に的確に行うために-  
石田康行  
第132回西日本整形, 災害外科学会学術集会, 2016, 11, 鹿児島
- 131) 白蓋再建に用いたハイドロキシアパタイトが原因となり様々な合併症を生じた1例  
三股奈津子, 坂本武郎, 濱田浩朗, 池尻洋史, 中村嘉宏, 船元太郎, 日吉優,  
川野啓介, 北島潤弥, 帖佐悦男  
第132回西日本整形, 災害外科学会学術集会, 2016, 11, 鹿児島
- 132) 胸椎硬膜外に発生した血管脂肪腫の1例  
川越秀一, 濱中秀昭, 黒木修司, 比嘉聖, 川野啓介, 永井琢哉, 李徳哲,  
戸田雅, 帖佐悦男  
第132回西日本整形, 災害外科学会学術集会, 2016, 11, 鹿児島
- 133) 大腿骨転子部骨折術後Salvage手術において白蓋再建に再手術を要した2例  
北島潤弥, 帖佐悦男, 坂本武郎, 濱田浩朗, 関本朝久, 池尻洋史, 中村嘉宏,  
船元太郎, 日吉優, 川野啓介, 三股奈津子  
第132回西日本整形, 災害外科学会学術集会, 2016, 11, 鹿児島
- 134) 股関節内病変に対する股関節鏡視下手技とピットフォール  
田島卓也  
第132回西日本整形, 災害外科学会学術集会, 2016, 11, 鹿児島

- 135) ロコモ教室参加者における地域生活の営みの調査-E-SASを用いて-  
砂川一馬, 東友和, 渡辺一徹, 野海渉, 前原孝政, 茂利久嗣, 圓福陽介,  
満安隆之, 太田尾祐史, 植村郁, 蓑原勝哉, 深野木快士, 小牧亘  
第23回宮崎県理学療法学会, 2016, 11, 宮崎
- 136) 先天性股関節脱臼整復法アンケート結果について  
川野彰裕, 岡野邦彦  
第27回日本小児整形外科学会, 2016, 12, 宮城
- 137) The Supercapsular Percutaneously Assisted Total Hip approachの短期成績  
福島克彦, 柏木輝行, 花堂祥治, 矢野良英  
第73回宮崎整形外科懇話会, 2016, 12, 宮崎
- 138) 術中に発症した致死性肺血栓塞栓症の1例  
塩月康弘, 松岡篤, 河野勇泰喜  
第73回宮崎整形外科懇話会, 2016, 12, 宮崎
- 139) 宮崎県少年野球検診 小頭離断性骨軟骨炎例の前年の検診結果はどうだったか  
長澤誠, 石田康行, 谷口昇, 田島卓也, 山口奈美, 大田智美, 中村志保子,  
北島潤弥, 帖佐悦男  
第73回宮崎整形外科懇話会, 2016, 12, 宮崎
- 140) 筋内ガングリオンと術前に診断した筋肉内粘液腫の1例～術前検査は慎重に～  
齊藤由希子, 久保紳一郎, 三橋龍馬, 小島岳史, 野崎正太郎, 田島直也  
第73回宮崎整形外科懇話会, 2016, 12, 宮崎
- 141) 肩甲骨体部骨折に対する外科的治療経験  
大倉俊之, 黒田宏, 大塚記史, 松岡篤  
第73回宮崎整形外科懇話会, 2016, 12, 宮崎
- 142) 肩鎖関節脱臼に対しClavicle Hook Plate (CHP) 固定と人工靭帯による補強を行った一例  
井口公貴, 公文崇詞, 岡村龍, 横江琢示, 栗原典近  
第73回宮崎整形外科懇話会, 2016, 12, 宮崎
- 143) 鎖骨重複骨折の治療経験  
森治樹, 河野勇泰喜, 山口洋一朗, 戸田雅  
第73回宮崎整形外科懇話会, 2016, 12, 宮崎

- 144) 自家骨（施設内Bonebank）を用いた手術症例の検討  
柏木輝行，矢野良英，花堂祥治，福島克彦  
第73回宮崎整形外科懇話会，2016，12，宮崎
- 145) 術中3D-CT navigationを使用した骨盤輪骨折の治療～当院における外傷治療向上へ向けた取り組み～  
川越秀一，帖佐悦男，坂本武郎，濱田浩朗，関本朝久，池尻洋史，中村嘉宏，  
船元太郎，日吉優，川野啓介，三股奈津子  
第73回宮崎整形外科懇話会，2016，12，宮崎
- 146) 人工肩関節置換術時に鎖骨下動脈閉塞を合併した一例  
福田一，松岡知己，平川雄介  
第73回宮崎整形外科懇話会，2016，12，宮崎
- 147) 脊柱側弯症に対するPush-upの試み  
田島直也，久保紳一郎，小島岳史，三橋龍馬，齊藤由希子，野崎正太郎  
第73回宮崎整形外科懇話会，2016，12，宮崎
- 148) 当院での連日型PTH製剤（テリパラチド）の使用経験  
今里浩之，森田雄大，浪平辰州  
第73回宮崎整形外科懇話会，2016，12，宮崎
- 149) 膝蓋骨下極粉碎骨折に対しFiberWireを用いて内固定術を行った1例  
三橋龍馬，小島岳史，齊藤由希子，野崎正太郎，久保紳一郎，田島直也  
第73回宮崎整形外科懇話会，2016，12，宮崎
- 150) 膝蓋骨骨折に対する従来法とAI wiring systemを用いた骨接合術との比較  
坂田勝美，益山松三，甲斐糸乃，吉川大輔，吉田修子  
第73回宮崎整形外科懇話会，2016，12，宮崎
- 151) 膝関節内側半月後角損傷に対し1期的に半月縫合術とHTOを施行した1例  
小島岳史，久保紳一郎，田島直也，齊藤由紀子，三橋龍馬，野崎正太郎  
第73回宮崎整形外科懇話会，2016，12，宮崎
- 152) 不安定型大腿骨転子部骨折と術後Sliding量についての検討  
山口洋一朗，戸田雅，河野勇泰喜，森治樹  
第73回宮崎整形外科懇話会，2016，12，宮崎

- 153) 橈骨茎状突起部骨折に大菱形骨骨折を伴うCM関節脱臼骨折を合併した1例  
小牧亘, 深野木快士, 濱田浩朗, 帖佐悦男  
第73回宮崎整形外科懇話会, 2016, 12, 宮崎
- 154) 20歳以下ラグビー日本代表のメディカルサポート  
吉川大輔, 田島卓也, 帖佐悦男, 中村明彦, 高森草平, 中谷創  
第29回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2016, 12, 福岡
- 155) 平成28年度国民体育大会九州ブロック大会ラグビー部門でのアンケート調査  
岩佐一真, 今里浩之, 田島卓也, 横江琢示, 平川雄介, 比嘉聖, 吉川教恵,  
吉川大輔, 中村嘉宏, 山口奈美, 帖佐悦男  
第29回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2016, 12, 福岡
- 156) 宮崎県における高校ラグビー・年間を通じての公式戦外傷調査～グラウンドレベルでの診療～  
今里浩之, 田島卓也, 横江琢示, 平川雄介, 比嘉聖, 吉川教恵, 吉川大輔,  
中村嘉宏, 山口奈美, 帖佐悦男  
第29回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2016, 12, 福岡
- 157) アマチュアサーファーの腰痛に関するアンケート調査  
石田翔太郎, 帖佐悦男, 小島岳史  
第29回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2016, 12, 福岡
- 158) サッカー選手の鎖骨骨幹部骨折-骨接合術で早期回復は可能か?-  
小島岳史, 久保紳一郎, 三橋龍馬, 野崎正太郎, 田島直也, 帖佐悦男  
第29回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2016, 12, 福岡
- 159) 前十字靭帯後外側繊維束脛骨付着部裂離骨折に対しpull-out法にて外科的加療を施行した1例
- 160) 跛行による股関節接触状況の変化と臼蓋形成不全への影響  
三橋龍馬, 小島岳史, 田島直也, 久保紳一郎, 野崎正太郎, 帖佐悦男,  
田島卓也  
第29回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2016, 12, 福岡

## ◆ポスター

- 1) 同種血輸血不能のエホバの証人に対する人工関節置換術における治療戦略  
齊藤由希子, 帖佐悦男, 坂本武郎, 渡邊信二, 関本朝久, 濱田浩朗,  
池尻洋史, 船元太郎, 日吉優, 川野啓介  
第46回日本人工関節学会, 2016, 2, 大阪
- 2) Quantification of the Sit-to-Stand Movement for the Estimation of the Functional Motor Performance using Force Plate Data  
Go Yamako, Etsuo Chosa, Koji Totoribe, Yuki Otsuka, Gang Deng  
62th Orthopaedic Research Society 2016 Annual Meeting, 2016, 3, USA
- 3) Effect of the Hook of Acetabular Reinforcement Ring for Various Types of Bone Grafting Clarified by Three-Dimensional Finite Element Analysis  
Koji Totoribe, Etsuo Chosa, Go Yamako, Xin Zhao, Hiroaki Hamada,  
Koki Ouchi, Gang Deng  
62th Orthopaedic Research Society 2016 Annual Meeting, 2016, 3, USA
- 4) 当院の関節リウマチ患者における骨粗鬆症治療の実態  
吉川教恵, 税所幸一郎, 上通一師, 帖佐悦男, 濱田浩朗  
第51回九州リウマチ学会, 2016, 3, 宮崎
- 5) 前立腺癌合併関節リウマチ患者にトシリズマブを投与した一例  
船元太郎, 濱田浩朗, 税所幸一郎, 帖佐悦男  
第51回九州リウマチ学会, 2016, 3, 宮崎
- 6) 当院におけるアバタセプト使用経験  
橋場弥生, 西英子, 甲斐泰文, 黒田宏, 日高利彦, 濱砂重仁  
第51回九州リウマチ学会, 2016, 3, 宮崎
- 7) 当院における高齢関節リウマチ患者に対する生物学的製剤5剤の治療効果  
日高利彦, 橋場弥生, 西英子, 甲斐泰文, 黒田宏  
第60回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2016, 4, 神奈川
- 8) 当院における関節リウマチに対するCertolizumab Pegol投与症例の中間報告8) 宮崎県における運動器検診の実情と課題について  
甲斐泰文, 橋場弥生, 西英子, 日高利彦, 黒田宏  
第60回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2016, 4, 神奈川



- 9) NinJaを利用したRA患者における非結核性抗酸菌症の有病率、臨床像、危険因子の検討～  
NinJa2012から2014までの解析～

片山雅夫, 平野史倫, 千葉実行, 杉山隆夫, 大島至郎, 高樋康一郎, 岡本享,  
末永康夫, 角田慎一郎, 佐野統, 宮村知也, 末松栄一, 山中隆夫, 吉澤滋,  
税所幸一郎, 津谷寛, 市川健司, 當間重人  
第60回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2016, 4, 神奈川

- 10) サポートリングを用いた人工股関節置換術の応力解析：骨移植部およびフックの影響  
鳥取部光司, 帖佐悦男, 濱田浩朗, 坂本武郎, 関本朝久  
第60回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2016, 4, 神奈川

- 11) NinJaを利用した関節リウマチ関連手術の分析－2014年度について－

税所幸一郎, 當間重人, 吉川教恵, 濱田浩朗, 帖佐悦男, 西野仁樹  
第60回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2016, 4, 神奈川

- 12) 関節リウマチ活動性の経時的変化に対する腎機能の影響

梶山浩, 井熊大輔, 津野宏隆, 松井利浩, 金子敦史, 角田慎一郎,  
税所幸一郎, 横田和浩, 荒木靖人, 佐藤浩二郎, 舟久保ゆう, 西野仁樹,  
當間重人, 三村俊英  
第60回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2016, 4, 神奈川

- 13) 大腿骨頸基部前額断剪断骨折において転位が軽度ならば骨接合術の適応である

梅崎哲矢, 森治樹, 三橋龍馬, 山口洋一郎  
第89回日本整形外科学会学術総会, 2016, 5, 神奈川

- 14) 広範囲腱板断裂術後の固定期間が棘上筋内脂肪浸潤に及ぼす影響

谷口昇, 末永直樹, 李徳哲, 石田康行, 田島卓也, 山口奈美, 帖佐悦男  
第89回日本整形外科学会学術総会, 2016, 5, 神奈川

- 15) 可変型遺伝子トラップ法を用いた骨軟骨疾患に関与する新規遺伝子群のライブラリー構築

関本朝久, 船元太郎, 黒木修司, 大田智美, 中村志保子, 永井琢哉, 中原舞,  
吉信公美子, 荒木喜美, 荒木正健, 帖佐悦男  
第89回日本整形外科学会学術総会, 2016, 5, 神奈川

- 16) 腱板断裂後の脂肪変性とHMGB2の役割

李徳哲, 谷口昇, 末永直樹, 石田康行, 関本朝久, 帖佐悦男  
第89回日本整形外科学会学術総会, 2016, 5, 神奈川

- 17) 宮崎県ラグビー競技会におけるデリバリードクター制度ーラグビー現場でのテレメディシン診療の可能性に関してー  
中村嘉宏, 帖佐悦男, 田島卓也, 吉川大輔, 比嘉聖  
第89回日本整形外科学会学術総会, 2016, 5, 神奈川
- 18) 学童期運動器検診モデル事業におけるしゃがみこみ不全の検討  
深尾悠, 中村志保子, 大田智美, 船元太郎, 黒木修司, 山口奈美, 帖佐悦男  
第89回日本整形外科学会学術総会, 2016, 5, 神奈川
- 19) 学童期運動器検診ー宮崎県の取り組みー  
山口奈美, 深尾悠, 中村志保子, 大田智美, 黒木修司, 船元太郎, 田島卓也,  
石田康行, 谷口昇, 帖佐悦男  
第89回日本整形外科学会学術総会, 2016, 5, 神奈川
- 20) 手根管症候群質問票と超音波検査で評価した手根管症候群の治療成績  
大倉俊之, 松岡知己, 福田一, 帖佐悦男  
第89回日本整形外科学会学術総会, 2016, 5, 神奈川
- 21) 寛骨臼骨折における異所性骨化の検討  
日吉優, 帖佐悦男, 濱田浩朗, 関本朝久, 渡邊信二, 坂本武郎, 池尻洋史,  
中村嘉宏, 船元太郎, 川野啓介  
第89回日本整形外科学会学術総会, 2016, 5, 神奈川
- 22) Evaluation of Contact Pressure on Total Surface Bearing and Patellar Tendon Bearing Sockets during Gait  
K Totoribe, E Chosa, G Yamako, X Zhao, H Hamada, Y Fukao, H Kuroki,  
G Deng  
10th International Society of Physical and Rehabilitation Medicine  
World Congress, 2016, 5, Malaysia
- 23) Comparison of usability between ultrasonography and radiography (tear drop distance) in child hip joint effusion diagnosis  
Takeshi Kojima, Etsuo Chosa  
37th SICOT Orthopaedic World Congress, 2016, 9, イタリア
- 24) 3D-Ct Navigation Guided Internal Fixation Of Pelvic Ring Fracture  
Masaru Hiyoshi, Etsuo Chosa, Yoshihiro Nakamura  
37th SICOT Orthopaedic World Congress, 2016, 9, イタリア

- 25) Reoperation cases after trochanteric fracture fixation using Gamma 3 Nail  
Ryuma Mitsuhashi, Etsuo Chosa  
37th SICOT Orthopaedic World Congress, 2016, 9, イタリア
- 26) 骨粗鬆症に対する治療状況-近年の新薬ラッシュの影響-  
濱田浩朗, 帖佐悦男  
第19回日本骨粗鬆症学会プログラム抄録号, 2016, 10, 宮城
- 27) 可変型遺伝子トラップ法で作製したLimal/EPLIN欠損マウスは骨芽細胞間接着異常を認め骨量減少を呈する  
中村志保子, 関本朝久, 黒木修司, 船元太郎, 大田智美, 永井琢哉, 中原舞, 吉信公美子, 荒木喜美, 荒木正健, 帖佐悦男  
第31回日本整形外科学会基礎学術集会, 2016, 10, 福岡
- 28) 可変型遺伝子トラップ法で作製したTmem161a欠損マウスは明らかな骨量増加を呈する  
永井琢哉, 関本朝久, 船元太郎, 黒木修司, 大田智美, 中村志保子, 中原舞, 吉信公美子, 荒木喜美, 荒木正健, 帖佐悦男  
第31回日本整形外科学会基礎学術集会, 2016, 10, 福岡
- 29) 寛骨臼側骨欠損に対するフック付きサポートリングの応力解析  
鳥取部光司, 帖佐悦男, 深尾悠, 山子剛, Zhao Xin, 深尾悠, 大内宏輝, Deng Gang  
第31回日本整形外科学会基礎学術集会, 2016, 10, 福岡
- 30) 可変型遺伝子トラップ法を用いたlamin B receptor 変異マウスは成長障害を来す  
船元太郎, 関本朝久, 黒木修司, 大田智美, 中村志保子, 永井琢哉, 中原舞, 吉信公美子, 荒木喜美, 荒木正健, 帖佐悦男  
第31回日本整形外科学会基礎学術集会, 2016, 10, 福岡
- 31) 可変型遺伝子トラップ法を用いた骨軟骨異常を来す新規遺伝子改変マウスライブラリー構築  
黒木修司, 関本朝久, 船元太郎, 大田智美, 中村志保子, 永井琢哉, 中原舞, 吉信公美子, 荒木喜美, 荒木正健, 帖佐悦男  
第31回日本整形外科学会基礎学術集会, 2016, 10, 福岡
- 32) 軟骨表層の変性に関わるクロマチン蛋白HMGB2とSZPの関係  
谷口昇, 李徳哲, 中村嘉宏, Martin Lutz, 帖佐悦男  
第31回日本整形外科学会基礎学術集会, 2016, 10, 福岡

- 33) 宮崎県少年野球検診 検診結果と肩関節可動域の検討  
長澤誠, 石田康行, 谷口昇, 大田智美, 中村志保子, 帖佐悦男  
第43回日本肩関節学会, 2016, 10, 広島
- 34) シャドーピッチングの運動学的解析  
宮崎茂明, 石田康行, 落合優, 鳥取部光司, 帖佐悦男  
第43回日本肩関節学会, 2016, 10, 広島
- 35) 寛骨臼形成におけるSNP解析  
関本朝久, 帖佐悦男, 船元太郎, 濱田浩朗, 坂本武郎, 渡邊信二, 池尻洋史,  
中村嘉宏, 日吉優, 川野啓介  
第43回日本股関節学会学術集会, 2016, 11, 大阪
- 36) 寛骨臼骨折後に施工した人工股関節置換術の治療経験  
中村嘉宏, 帖佐悦男, 坂本武郎, 池尻洋史, 船元太郎, 日吉優, 川野啓介  
第43回日本股関節学会学術集会, 2016, 11, 大阪
- 37) 当院におけるZweymueller型ステムの中期成績の検討  
川野啓介, 帖佐悦男, 坂本武郎, 濱田浩朗, 関本朝久, 池尻洋史, 中村嘉宏,  
船元太郎, 日吉優  
第43回日本股関節学会学術集会, 2016, 11, 大阪
- 38) プロサーファーのMRIによる腰椎椎間板変性の検討  
小島岳史, 田島直也, 帖佐悦男  
第27回日本臨床スポーツ医学会, 2016, 11, 千葉
- 39) 競技特異性を考慮したオーダーメイド型メディカルチェックの取り組みー現状と課題ー  
長澤誠, 石田康行, 田島卓也, 山口奈美, 黒木修司, 吉留綾, 帖佐悦男  
第27回日本臨床スポーツ医学会, 2016, 11, 千葉
- 40) 通所リハビリ者における転倒恐怖感に影響する要因についての検討  
茂利久嗣, 渡辺一徹, 野海渉, 圓福陽介, 太田尾祐史, 蓑原勝哉, 前原孝政,  
砂川一馬, 満安隆之, 東友和, 深野木快士, 小牧亘  
九州PT・OT合同学会2016, 2016, 11, 鹿児島
- 41) 当センターにおける高度麻痺性股関節脱臼に対する外科的治療選択  
梅崎哲矢, 川野彰裕, 門内一郎, 柳園賜一郎, 帖佐悦男  
第27回日本小児整形外科学会学術集会, 2016, 12, 宮城

## ◆シンポジウム

- 1) 日本代表ドクターの活動に要求される資質・情報管理とオールジャパンバックアップ連携体制の構築計画について～外傷発生時の対応、診断、治療も含め～  
田島卓也  
第5回ラグビードクターフォーラム，2016，2，大阪
- 2) 日本代表チーム合宿におけるメディカルサポート  
田島卓也，帖佐悦男  
第89回日本整形外科学会学術総会，2016，5，神奈川
- 3) FIFA U-17 Women's World Cup Costa Rica 2014におけるメディカルサポート  
山口奈美，大田智美，長澤誠，田島卓也，石田康行，帖佐悦男  
第42回日本整形外科スポーツ医学会学術集会，2016，9，北海道
- 4) 投球障害肩：この症例、こう診てこう考えてこう治す  
石田康行  
第42回日本整形外科スポーツ医学会学術集会，2016，9，北海道
- 5) 心理的要素が加わった投球障害肩  
石田康行，長澤誠，谷口昇，田島卓也，山口奈美，大田智美，帖佐悦男  
第42回日本整形外科スポーツ医学会学術集会，2016，9，北海道
- 6) 競技志向型運動をサポートする健康スポーツナースの役割～宮崎大学医学部附属病院における「宮大健康スポーツナース」の活動を通し～  
福崎崇宏，藤浦まなみ，帖佐悦男  
日本臨床スポーツ医学会，2016，11，千葉
- 7) 手関節における超音波ガイド下ヒアルロン酸注入の短期成績  
濱田浩朗，帖佐悦男，税所幸一郎，吉川教恵  
第44回日本関節病学会，2016，11，大分

## ◆ 講 演

### 1) 肩疾患と慢性疼痛

石田康行

整形外科疾患と慢性疼痛を考える会, 2016, 1, 福岡

### 2) スポーツメディカルサポートシステムの構築

帖佐悦男

第45回千葉スポーツ医学研究会, 2016, 1, 千葉

### 3) イバンドロネートの使用経験-本院の骨粗鬆症に対する取り組みも含めて-

小牧亘

都城地区整形外科医会研修会, 2016, 1, 宮崎

### 4) 宮崎県におけるロコモ対策

帖佐悦男

第3回倉敷ロコモ研究会, 2016, 2, 岡山

### 5) 成長期の運動器疾患と学童検診-ロコモ対策を含めて-

帖佐悦男

第66回鹿児島県整形外科医会教育研修会, 2016, 2, 鹿児島

### 6) 脳震盪の診断とスポーツ現場での対応

田島卓也

平成27年度宮崎県サッカー協会メディカル講演会, 2016, 2, 宮崎

### 7) ロコモティブシンドロームの最近の話題

帖佐悦男

第184回北九州臨床整形外科医会学術講演会, 2016, 2, 福岡

### 8) 当院における人工股関節置換術の検討

柏木輝行

宮崎県医師会創立127周年記念医学会医学賞講演, 2016, 2, 宮崎

### 9) 代表的な疾患の診断等について (整形外科分野の疾患について)

関本朝久

平成27年度難病指定医研修, 2016, 2, 宮崎

- 10) リウマチ病診連携-整形外科医としての課題-  
帖佐悦男  
整形外科医としてのリウマチ病診連携を考える会, 2016, 2, 宮崎
- 11) 小児の運動器疾患と学童期検診-ロコモ対策を含めて-  
帖佐悦男  
第54回獨整会公開学術講演会, 2016, 3, 栃木
- 12) 関節リウマチの診断と治療～リウマチと上手に付き合うために～  
濱田浩朗  
第51回九州リウマチ学会, 2016, 3, 宮崎
- 13) 子どもからのロコモ予防  
帖佐悦男  
帖佐悦男先生のロコモティブシンドローム予防講座, 2016, 3, 宮崎
- 14) 骨折連鎖を防ぐための医療連携  
渡邊信二  
連携の会, 2016, 3, 宮崎
- 15) ロコモティブシンドロームの最近の話題とロコモ対策  
帖佐悦男  
第2回南大阪ロコモ研究会, 2016, 4, 大阪
- 16) 当院における骨粗鬆症治療注射剤の使用経験  
松本英裕  
第36回宮崎県臨床整形外科医会学術講演会, 2016, 4, 宮崎
- 17) 最近のRA治療-生物学的製剤と手術を中心に-  
桑原茂  
第36回宮崎県臨床整形外科医会学術講演会, 2016, 4, 宮崎
- 18) 運動器疾患に対する新たな治療法-体外衝撃波疼痛治療など-  
帖佐悦男  
第89回日本整形外科学会学術総会, 2016, 5, 神奈川

- 19) 骨粗鬆症の治療-最近のトレンドも含めて-  
小牧亘  
徳城市北諸県郡薬剤師会 二水会, 2016, 5, 宮崎
- 20) 小児の運動器疾患と学童期検診-ロコモ対策を含めて-平成28年度の運動器検診の開始を受けて  
帖佐悦男  
第13回周南整形外科医会学術講演会, 2016, 5, 山口
- 21) 小児の運動器疾患と学童期検診-なぜ子どもの頃からロコモ予防が必要か-  
帖佐悦男  
第28回日本運動器科学会, 2016, 7, 福島
- 22) プロサーファーのMRIによる腰椎椎間板変性の検討  
小島岳史, 帖佐悦男  
第2回日本SURF臨床医学研究会, 2016, 7, 神奈川
- 23) 子どもの運動器障害—ロコモティブシンドロームと学童期運動器検診の開始を受けて—  
帖佐悦男  
大阪小児科医会 第183回学術集会 (第37回談話会), 2016, 7, 大阪
- 24) 県国体少年男子サッカーに対するMedical Support  
日吉優  
第22回九州サッカーメディカルミーティング, 2016, 7, 宮崎
- 25) 小児科医に知ってほしい 子どもの運動器の特徴・疾患-なぜロコモ予防が必要か-  
帖佐悦男  
第24回小児あれこれ勉強会, 2016, 8, 福岡
- 26) 整形外科医が知っておくべきロコモに関する話題-疼痛対策を含め-  
帖佐悦男  
第3回Mie Joint Seminar, 2016, 8, 三重
- 27) 骨盤・股関節・大腿のスポーツ外傷・障害  
帖佐悦男  
第43回日整会スポーツ医学研修会 (各論), 2016, 8, 宮崎



- 28) 運動器診療に必要な画像診断  
帖佐悦男  
第43回日整会スポーツ医学研修会（各論），2016，8，宮崎
- 29) スポーツドクターの役割とメディカルサポートの実際  
田島卓也  
第19回奈良スポーツ医学研究会，2016，8，奈良
- 30) 運動器検診の開始を受けて：課題と今後の展望  
帖佐悦男  
平成28年度宮崎県医師学校医部会総会・医学会プログラム，2016，8，宮崎
- 31) 0-armを使用した脊椎手術-当科での小体験  
濱中秀昭  
第32回宮崎オルト会の御案内，2016，9，宮崎
- 32) 日常生活を変える注射・手術療法とリハビリテーション  
濱田浩朗  
創立35周年記念大会リウマチ医療講演会，2016，9，宮崎
- 33) 痙縮に対するボツリヌス治療効果の評価-3次元歩行分析-を用いて  
川野彰裕  
第3回日本ボツリヌス治療学会学術集会，2016，9，東京
- 34) Periacetabular osteotomy for the treatment of coxarthrosis with huge cysts—  
Prospective consecutive series at a mean 15 years of follow-up—  
Etsuo Chosa  
The 60th Anniversary Congress Of the Korean Orthopaedic Association,  
2016, 10, Korea
- 35) 運動器疾患の病診連携-課題と展望-  
帖佐悦男  
第5回大分県PTH学術講演会，2016，10，大分
- 36) 発育期と運動-整形外科系-  
帖佐悦男  
第29回健康スポーツ医学講習会，2016，11，東京

37) 宮崎県におけるスポーツ医科学委員会での取り組み～スポーツ選手の包括的支援の必要性～スポーツドクターの立場から

帖佐悦男

第5回日本体育協会公認アスレティックトレーナー九州ブロック研修会,  
2016, 11, 宮崎

38) 成長期の運動器疾患と学童期検診-スポーツメディカル・ロコモザワールド宮崎-

帖佐悦男

第23回福島スポーツ医学研究会, 2016, 11, 福島

39) 当院における骨粗鬆症治療注射剤の現状

松本英裕

第3回九州・沖縄地区OLS研究会 WEBセミナー, 2016, 11,  
中外製薬(株) 大分/沖縄/鹿児島/宮崎

40) TKA入門

柏木輝行

第10回はまゆう整形外科セミナー, 2016, 11, 宮崎

## 編集後記

谷口昇先生が鹿児島大学整形外科の教授に就任されました。谷口先生と御縁がある先生方に御寄稿していただきました。また昨年より、同門会の援助で短期留学支援が開始されました。同門の先生には感謝いたしますとともに、留学に行かれた先生方は皆さんに還元できるよう努力していただきたいと思います。

新入会員紹介として賛助会員、川越勝秀先生、正会員、石田翔太郎先生、岩佐一真先生、川越悠輔先生、北堀彩泰子先生、日高三貴先生に御入会いただき自己紹介を御寄稿していただきました。

会長、教授挨拶、学会賞、学位取得、国際学会、医局長挨拶、同門会、医局行事等があります。皆様には隔々まで目を通していただけると幸いです。

何かと忙しい中、本誌に御寄稿いただいた諸先生方に深謝いたします。

平成19年より編集後記を書かせていただきましたが、卒業させていただくこととなりました。ありがとうございました。

平成30年8月吉日

渡邊 信二

石田 康行（文責）



生物由来製品、創薬、処方箋医薬品\* 薬価基準収載  
 完全ヒト型可溶性TNF $\alpha$ /LT $\alpha$ レセプター製剤

# エタネルセプト BS

**Etanercept BS for S.C. Injection**

エタネルセプト (遺伝子組換え) [エタネルセプト後続1] 製剤  
 \*注意-医師等の処方箋により使用すること

- 皮下注用10mg「MA」
- 皮下注用25mg「MA」
- 皮下注25mgシリンジ0.5mL「MA」
- 皮下注50mgシリンジ1.0mL「MA」
- 皮下注50mgペン1.0mL「MA」

新発売



効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

販売 (資料請求先)  
**あゆみ製薬株式会社**  
 東京都中央区銀座四丁目12番15号

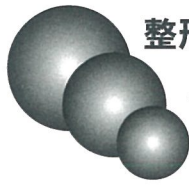
製造販売元  
**持田製薬株式会社**  
 東京都新宿区四谷1丁目7番地

ETNB50M-18DNK02

患者様の想いを見つめて、  
薬は生まれる。

顕微鏡を覗く日も、薬をお届けする日も、見つめています。  
病気とたたかう人の、言葉にできない痛みや不安、生きることへの希望。  
私たちは、医師のように普段からお会いすることはできませんが、  
そのぶん、患者様の想いにまっすぐ向き合っていたいと思います。  
治療を続けるその人を、勇気づける存在であるために。  
病気を見つめるだけでなく、想いを見つめて、薬は生まれる。  
「ヒューマン・ヘルスケア」。それが、私たちの原点です。

ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ



整形外科製品全般

脳神経外科製品全般

一般外科・病院設備全般

*As a Human for Medical Care*

人と医療と未来のために



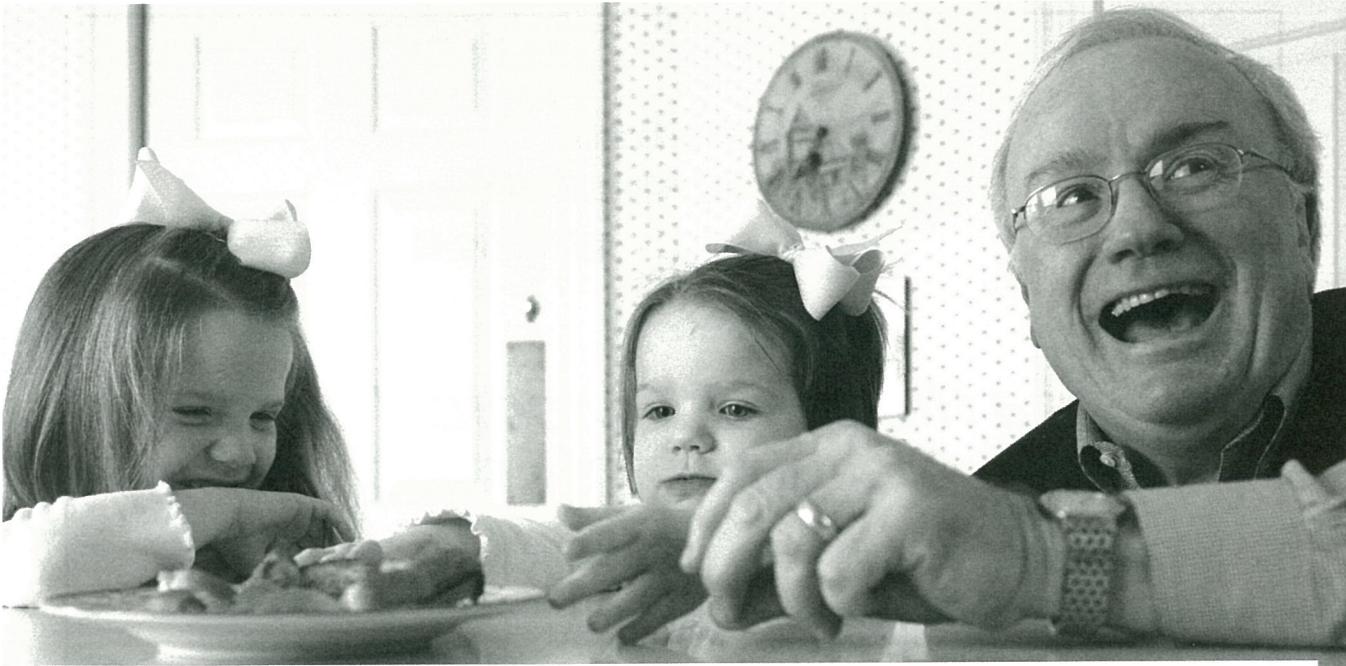
TOTAL MEDICAL SUPPORT COMPANY




九州風雲堂販売株式会社

URL: <http://www.fuundo.com>

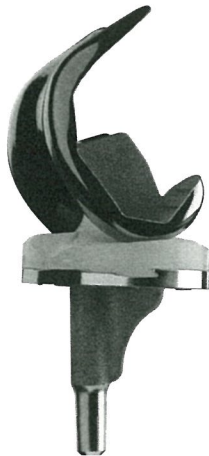
■ 本社	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1丁目11番31号	TEL 092-483-1881	FAX 092-483-1888
■ 北九州営業所	〒807-0843	北九州市八幡西区三ヶ森4丁目2番20号	TEL 093-616-8734	FAX 093-616-8744
■ 佐賀営業所	〒849-0937	佐賀市鍋島1丁目9番1号キャロル鍋島1F	TEL 0952-34-1255	FAX 0952-34-1205
■ 佐世保営業所	〒858-0923	佐世保市日野町1910番地1	TEL 0956-29-2066	FAX 0956-29-2068
■ 長崎営業所	〒852-8153	長崎市花丘町17番10号花丘久部ビル1F	TEL 095-841-9572	FAX 095-841-9573
■ 大村営業所	〒856-0813	長崎県大村市西大村本町332-4	TEL 0957-48-8008	FAX 0957-48-8009
■ 下関営業所	〒751-0806	下関市一の宮町3丁目7番39号	TEL 083-256-5153	FAX 083-256-1317
■ 周南営業所	〒745-0801	山口県周南市大字久米3241番地25メゾンドレイ1階103号室	TEL 0834-33-8205	FAX 0834-33-8206
■ 広島営業所	〒733-0012	広島市西区中広町2丁目26番3号コーポ中広1F	TEL 082-297-5877	FAX 082-297-5810
■ 宮崎営業所	〒880-0901	宮崎市東大淀1丁目3番45号OMCビル5F	TEL 0985-52-6270	FAX 0985-52-6280
■ 愛媛営業所	〒790-0003	愛媛県松山市三番町7丁目7番2号	TEL 089-931-8333	FAX 089-931-8334
■ 大分営業所	〒870-0031	大分市大字勢家1098-269	TEL 097-574-7131	FAX 097-574-7132
■ 五島出張所	〒853-0007	長崎県五島市福江町6番地13平山ビル1階101号室	TEL 0959-75-0401	FAX 0959-75-0403
■ 日向出張所	〒883-0062	日向市大字日知屋4726番3の2コーソクビル1階D室	TEL 0982-50-3745	FAX 0982-50-3746



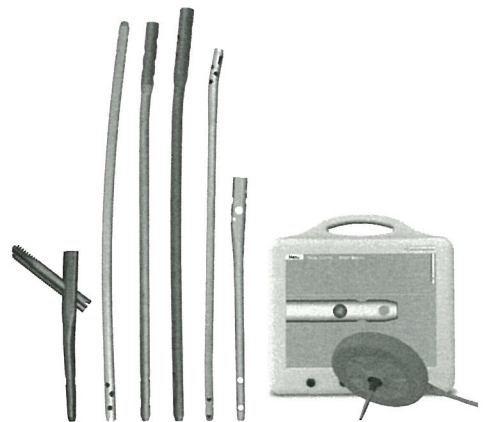
 At **smith&nephew** we've been supporting healthcare professionals for over 150 years. We're proud of that.



**POLARSTEM<sup>®</sup>**  
Cementless Stem System  
**R3**  
Acetabular System



**JOURNEY<sup>®</sup> II**  
Total Knee System



**TRIGEN<sup>®</sup>**  
**INTERTAN**  
**SURESHOT<sup>®</sup>**

スミス・アンド・ネフュー 株式会社 オーソペディックス事業部  
本社：〒105-0011 東京都港区芝公園二丁目4番1号 TEL. 03-5403-8001 (代表)

販売名	承認番号
ポーラステム	226008ZX00462000
オキシウム フェモラル ヘッド	222008ZX00645000
R3 カップ システム	225008ZX00170000
JOURNEY II BCS ニュー システム	225008ZX00120000
JOURNEY BCS トータル ニュー システム	222008ZX00318000
InterTAN ネイリング システム	221008ZX00714000
トライジェン メタル ネイル	221008ZX00940000
トライジェン ストレート ヒューマラル ネイル	218008ZY10001000
トライジェン タン ネイル	213008ZY00648000
トライジェン メタル (ケイパブル)	221008ZX00930000
トライジェン ヒューマラル ネイル	217008ZY00403000
SURESHOT ディスタクター ティング システム	225008ZX00037000



経皮吸収型鎮痛消炎剤

創薬 薬価基準収載



**ロコア®テープ**

**LOQOA® tape**

(エスフルルビプロフェン・ハッカ油製剤)

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。



発売【資料請求先】  
大正富山医薬品株式会社  
〒170-8635 東京都豊島区高田3-25-1  
お問い合わせ先 ☎ 0120-591-818  
メディカルインフォメーションセンター

販売

**TEIJIN** 帝人ファーマ株式会社  
〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号  
資料請求先:メディカル情報グループ ☎0120-189-315



製造販売  
大正製薬株式会社  
〒170-8633 東京都豊島区高田3-24-1





## タケダから、世界中の人々へ。より健やかで輝かしい明日を。

一人でも多くの人に、かけがえない人生をより健やかに過ごしてほしい。タケダは、そんな想いのもと、1781年の創業以来、革新的な医薬品の創出を通じて社会とともに歩み続けてきました。

私たちは今、世界のさまざまな国や地域で、予防から治療・治癒にわたる多様な医療ニーズと向き合っています。その一つひとつに responding していくことが、私たちの新たな使命。よりよい医薬品を待ち望んでいる人々に、少しでも早くお届けする。それが、いつまでも変わらない私たちの信念。

世界中の英知を集めて、タケダはこれからも全力で、医療の未来を切り拓いていきます。



*Better Health, Brighter Future*

武田薬品工業株式会社

[www.takeda.com/jp](http://www.takeda.com/jp)





# Remicade®



抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体製剤

薬価基準収載

**レミケード®点滴静注用100**

REMICADE® for I.V. Infusion100 (インフリキシマブ(遺伝子組換え)製剤)

生物由来製品 劇薬 処方箋医薬品 (注意・医師等の処方箋により使用すること)

※効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。



製造販売元(資料請求先)

田辺三菱製薬株式会社  
大阪市中央区道修町3-2-10

2015年3月作成

# 骨形成促進剤 という選択肢。

## BMD増加効果と骨折発生リスクの抑制

### 【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

1. 高カルシウム血症の患者[高カルシウム血症を悪化させるおそれがある。「重要な基本的注意」の項参照]
2. 次に掲げる骨肉腫発生のリスクが高いと考えられる患者[「その他の注意」の項参照]
  - (1) 骨へーゼット病の患者
  - (2) 原因不明のアルカリホスファターゼ高値を示す患者
  - (3) 小児等及び若年者で骨端線が閉じていない患者[「小児等への投与」の項参照]
  - (4) 過去に骨への影響が考えられる放射線治療を受けた患者
3. 原発性の悪性骨腫瘍もしくは転移性骨腫瘍のある患者[症状を悪化させるおそれがある。]
4. 骨粗鬆症以外の代謝性骨疾患の患者(副甲状腺機能亢進症等)[症状を悪化させるおそれがある。]
5. 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人及び授乳婦[「妊婦、産婦、授乳婦等への投与」の項参照]
6. 本剤の成分又はテリパラチド酢酸塩に対し過敏症の既往歴のある患者

### 【効能・効果】 骨折の危険性の高い骨粗鬆症

＜効能・効果に関連する使用上の注意＞ 本剤の適用にあたっては、低骨密度、既存骨折、加齢、大腿骨頸部骨折の家族歴等の骨折の危険因子を有する患者を対象とすること。

【用法・用量】 通常、成人には1日1回テリパラチド(遺伝子組換え)として20 $\mu$ gを皮下に注射する。なお、本剤の投与は24か月間までとすること。

＜用法・用量に関連する使用上の注意＞ (1)本剤を投与期間の上限を超えて投与したときの安全性は確立していないので、本剤の適用にあたっては、投与期間の上限を守ること。[「その他の注意」及び「臨床成績」の項参照] (2)本剤の投与をやむを得ず一時中断したのちに再投与する場合であっても、投与日数の合計が24か月を超えないこと。また、24か月の投与終了後、再度24か月の投与を繰り返さないこと。(3)他のテリパラチド製剤から本剤に切り替えた経験はなく、その安全性は確立していない。なお、他のテリパラチド製剤から本剤に切り替えたときにおける本剤の投与期間の上限は検討されていない。[「その他の注意」の項参照]

※【服用上の注意】 1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること) (1)腎障害のある患者(外国の臨床薬理試験において、重度の腎障害患者では血中からのテリパラチドの消失に遅延が認められている。[「薬物動態」の項参照]) (2)重度の肝障害のある患者[本剤の重度の肝障害患者における使用経験が少なく安全性は確立していない。] (3)尿路結石のある患者及びその既往歴のある患者[本剤の投与により、症状を悪化させるおそれがある。] 2. 重要な基本的注意 (1)本剤投与直後から数時間後(1)に、ショック、一過性の急激な血圧低下に伴う意識消失、昏倒、転倒があらわれることがある。投与開始後数か月以上を経て初めて発現することもあるので、本剤投与時には以下の点に留意するよう患者に指導すること。1)投与後30分程度はできる限り安静にすること。2)投与後に血圧低下、めまい、立ちくらみ、動悸、気分不良、悪心、顔面蒼白、冷汗等が生じた場合には、症状がよくなるまで座るか横になること。(2)本剤の薬理作用により、投与後約4から6時間を最大として一過性の血清カルシウム値上昇がみられる。また、血清カルシウム値は投与後16時間ではほぼ基準値まで下降することが知られているため、本剤投与患者における血清カルシウム値を測定評価する場合は、本剤投与後16時間以降の測定値を評価基準とすること。本剤の投与にあたっては、患者に十分な説明を行い、特に、嘔気、嘔吐、便秘、嗜眠及び筋力低下等の持続性の血清カルシウム値上昇が認められる症状が認められた場合は、速やかに診察を受けるように指導すること。持続性高カルシウム血症の診断は、血清カルシウム値と測定時点を考慮し、持続性高カルシウム血症と判断された場合は、本剤の投与を中止すること。なお、血清カルシウム値上昇によりジキタリスの作用が増強することがあるため、ジキタリス製剤と併用する時は注意すること。[「相互作用」の項参照] (3)副甲状腺ホルモン(カルシトリアル、マキサカルストール、フレカリスト)の投与による、活性型ビタミンD製剤(カルシトリアル、マキサカルストール、フレカリスト)の投与による、アレルギー反応(アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、アレルギー性鼻炎(ジコキシ等)) 4. 副作用 国内のプラセボを対照とした臨床試験において、本剤10-40 $\mu$ g/日を投与した安全性評価対象252例中50例(19.8%)に副作用(臨床検査値異常を含む)が認められた。主な副作用は、血中尿酸上昇9例(3.6%)、頭痛7例(2.8%)、悪心7例(2.8%)、ALP上昇5例(2.0%)、筋痛3例(1.2%)、高尿酸血症3例(1.2%)、食欲不振3例(1.2%)、血中尿素上昇3例(1.2%)であった。なお、プラセボを投与した105例中11例(10.5%)に副作用(臨床検査値異常を含む)が認められた。

注)本剤の用法・用量はテリパラチド(遺伝子組換え)として1日1回20 $\mu$ g皮下投与である。  
(1)重大な副作用 1)アナフィラキシー(頻度不明) アナフィラキシー(呼吸困難、血圧低下、発疹等)があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。  
2)ショック(頻度不明)、意識消失(頻度不明) ショック、一過性の急激な血圧低下に伴う意識消失があらわれることがあり、心停止、呼吸停止を来した症例も報告されている。異常が認められた場合には、適切な処置を行い、次回以降の投与を中止を考慮すること。

禁忌を含む使用上の注意の改訂には十分ご留意ください。

その他の使用上の注意については製品添付文書をご参照ください。 \*2018年1月改訂(第11版)

製造販売元(資料請求先)

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086 神戸市中央区磯上通7丁目1番5号

FRT-PA011 (R0)  
2018年6月作成

**フォルテオ**  
皮下注キット600 $\mu$ g  
テリパラチド(遺伝子組換え)注射剤  
骨粗鬆症治療剤

処方箋医薬品 薬価基準収載

(注意-医師等の処方箋により使用すること)

Lilly

stryker®

Joint Replacements

# Exeter Total Hip System

・エクセター人工股関節システム

- 40 years of innovation  
40年以上の良好な臨床成績
- Ideal of cement  
セメントのためのデザイン理論
- Longevity, solution and high performance  
プライマリーからリビジョンまで幅広い症例への適応

Thinking in different directions

124° - 134°

124° - 134°

医療機器承認番号 販売名  
21300BZY00250000 エクセター人工股関節システム用コンポーネント

※本製品に関するお問い合わせは弊社営業までお願い致します。

日本ストライカー株式会社

112-0004 東京都文京区後楽 2-6-1 tel: 03-6894-0000  
www.stryker.co.jp

・医療従事者向けサイト-Stryker Medical Professional Site  
www.stryker.co.jp/mp2/

製造販売業者  
日本ストライカー株式会社  
550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀2-1-1

# やわらかい泡状で

## よく伸びる、 しっとりとした 使用感の 皮膚保湿剤



ノンガスタイプの皮膚保湿剤

血行促進・皮膚保湿剤

## ヘパリン類似物質 外用泡状スプレー0.3% 「日本臓器」

薬価基準収載

### 禁忌 (次の患者には使用しないこと)

- (1) 出血性血液疾患 (血友病、血小板減少症、紫斑病等) のある患者  
〔血液凝固抑制作用を有し、出血を助長するおそれがある〕
- (2) 僅少な出血でも重大な結果を来すことが予想される患者  
〔血液凝固抑制作用を有し、出血を助長するおそれがある〕

### 【効能・効果】

血栓性静脈炎 (痔核を含む)、  
血行障害に基づく疼痛と炎症性疾患 (注射後の  
硬結並びに疼痛)、  
凍瘡、  
肥厚性癬痕・ケロイドの治療と予防、  
進行性指掌角皮症、  
皮脂欠乏症、  
外傷 (打撲、捻挫、挫傷) 後の腫脹・血腫・腱鞘炎・  
筋肉痛・関節炎、  
筋性斜頸 (乳児期)

### 【用法・用量】

通常、1日1～数回適量を患部に噴霧する。

### 【使用上の注意】

#### 1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。  
次のような症状があらわれた場合には、使用を中止するなど適切な処置を行うこと。

頻度不明	
※ 過敏症	皮膚刺激感、皮膚炎、そう痒、発赤、発疹、潮紅等
皮膚 (投与部位)	紫斑

#### 2. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊娠中の投与に関する安全性は確立していない。

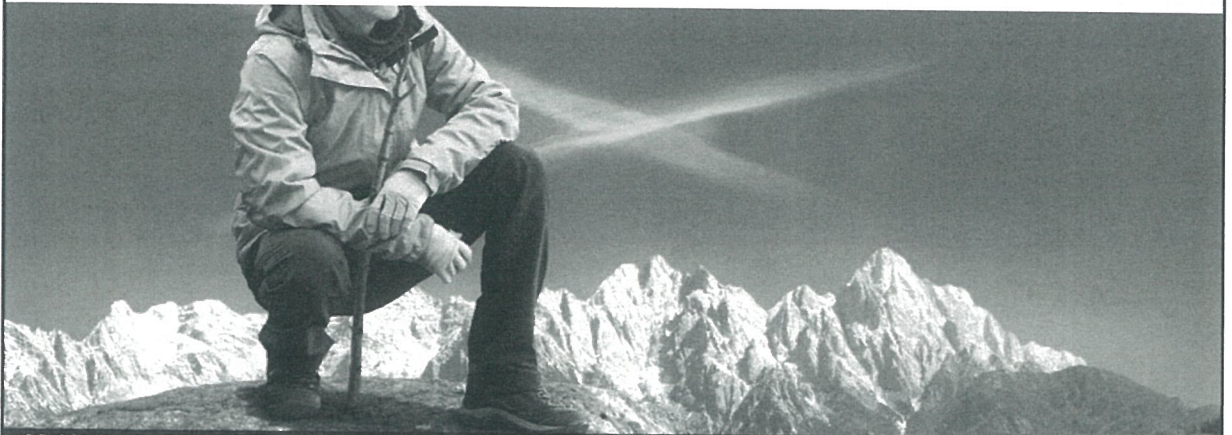
#### 3. 適用上の注意

##### 投与部位

- (1) 潰瘍、びらん面への直接噴霧を避けること。
- (2) 眼には使用しないこと。
- (3) 点鼻用として鼻腔内に使用しないこと。
- (4) 顔面、頭部等、吸入する可能性のある患部には注意して使用すること。

※2017年9月改訂 (第2版)、2016年8月作成 (第1版)

その他の使用上の注意等については、添付文書をご参照下さい。



粘着力が良好な、腰痛症\*の鎮痛・消炎に効果を有するパップ剤 ※腰痛症(筋・筋膜炎腰痛症、変形性脊椎症、椎間板症、腰椎捻挫)

経皮鎮痛消炎剤

[薬価基準収載]

**モーラス<sup>®</sup>パップXR120mg**

MOHRUS.PAP XR120mg

ケトプロフェン2%

[薬価基準収載]

**モーラス<sup>®</sup>パップXR240mg**

MOHRUS.PAP XR240mg

ケトプロフェン2%

**【禁忌】**(次の患者には使用しないこと)

- (1) 本剤又は本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者〔「重要な基本的注意」の項(1)参照〕
- (2) アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発)又はその既往歴のある患者〔喘息発作を誘発するおそれがある。〕
- (3) チアプロフェン酸、スプロフェン、フェンフィブラート並びにオキシベンゾン及びオクトクリレンを含有する製品(サンスクリーン、香水等)に対して過敏症の既往歴のある患者〔これらの成分に対して過敏症の既往歴のある患者では、本剤に対しても過敏症を示すおそれがある。〕
- (4) 光線過敏症の既往歴のある患者〔光線過敏症を誘発するおそれがある。〕
- (5) 妊娠後期の女性

**【効能・効果】**

- 下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎
  - 腰痛症(筋・筋膜炎腰痛症、変形性脊椎症、椎間板症、腰椎捻挫)、変形性関節症、肩関節周囲炎、腱・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎(テニス肘等)、筋肉痛、外傷後の腫脹・疼痛
  - 関節リウマチにおける関節局所の鎮痛

**〈効能・効果に関連する使用上の注意〉**

- (1) 本剤の使用により重篤な接触皮膚炎、光線過敏症が発現することがあり、中には重度の全身性発疹に進展する例が報告されているので、疾病の治療上の必要性を十分に検討の上、治療上の有益性が危険性を上回る場合にのみ使用すること。
- (2) 損傷皮膚には本剤を使用しないこと。

**【用法・用量】**

1日1回患部に貼付する。

**【使用上の注意】**

1. 慎重投与(次の患者には慎重に使用すること)
  - 気管支喘息のある患者〔アスピリン喘息患者が潜在しているおそれがある。〕
  - (「重大な副作用」の項(2)参照)
2. 重要な基本的注意
  - (1) 本剤又は本剤の成分により過敏症(紅斑、発疹、発赤、腫脹、刺激感、痒痒等を含む)を発現したことがある患者には使用しないこと。
  - (2) 接触皮膚炎又は光線過敏症を発現することがあり、中には重度の全身性発疹に至った症例も報告されているので、使用前に患者に対し次の指導を十分に行うこと。(「重大な副作用」の項(3)参照)
    - 1) 紫外線曝露の有無にかかわらず、接触皮膚炎を発現することがあるので、発疹・発赤、痒痒感、刺激感等の皮膚症状が認められた場合には、直ちに使用を中止し、患部を遮光し、受診すること。なお、使用後数日を経過して発現する場合があるので、同様に注意すること。

- (2) 光線過敏症を発現することがあるので、使用中は天候にかかわらず、戸外の活動を避けるとともに、日常の外出時も、本剤貼付部を衣服、サポーター等で遮光すること。なお、白い生地や薄手の服は紫外線を透過させるおそれがあるので、紫外線を透過させにくい色の衣服などを着用すること。また、使用後数日から数カ月を経過して発現することもあるので、使用後も当分の間、同様に注意すること。異常が認められた場合には直ちに本剤の使用を中止し、患部を遮光し、適切な処置を行うこと。
- (3) 皮膚の感染症を不顕性化するおそれがあるので、感染を伴う炎症に対して用いる場合には適切な抗菌剤又は抗真菌剤を併用し、観察を十分に行い慎重に使用すること。
- (4) 腰痛症、変形性関節症、肩関節周囲炎、腱・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎、筋肉痛、外傷後の腫脹・疼痛に本剤を使用する場合は、以下の点に注意すること。
  - 1) 本剤による治療は対症療法であるので、症状に応じて薬物療法以外の療法も考慮すること。また、投与が長期にわたる場合には患者の状態を十分に観察し、副作用の発現に留意すること。
- (5) 関節リウマチにおける関節局所の鎮痛に本剤を使用する場合は、以下の点に注意すること。
  - 1) 関節リウマチに対する本剤による治療は対症療法であるので、抗リウマチ薬等による適切な治療が行われ、なお関節に痛みが残る患者のみに使用すること。
  - 2) 関節痛の状態を観察しながら使用し、長期にわたり漫然と連用しないこと。また、必要最小限の枚数にとどめること。

3. 相互作用

【併用注意】(併用に注意すること)

メトレキサート

4. 副作用

本剤は、副作用発現頻度が明確となる臨床試験を実施していない。なお、ケトプロフェン20mg含有テープ剤の各承認時までに報告された副作用は次のとおりである。

- 腰痛症、変形性関節症、肩関節周囲炎、腱・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎、筋肉痛、外傷後の腫脹・疼痛
- 総症例11,566例中副作用が報告されたのは57例(4.93%)であり、発現した副作用は、発疹11件、発赤9件、痒痒感18件、刺激感5件等の接触皮膚炎54件(4.67%)、貼付部の痒痒、動悸、顔面及び手の浮腫各1件(0.09%)などであった。(モーラステープ承認時)
- 関節リウマチ
- 総症例525例中副作用が報告されたのは45例(8.57%)であり、発現した副作用は、接触性皮膚炎17件、適用部位痒痒感12件、適用部位紅斑6件、適用部位発疹6件、適用部位皮膚炎3件等であった。(モーラステープ20mg効能追加承認時)

ほかに医師などの自発的報告により、ショック、アナフィラキシー、喘息発作の誘発(アスピリン喘息)、光線過敏症の発現が報告されている。

(1) 重大な副作用

- 1) ショック(頻度不明)、アナフィラキシー(0.1%未満)
 

ショック、アナフィラキシー(蕁麻疹、呼吸困難、顔面浮腫等)があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には使用を中止し、適切な処置を行うこと。
- 2) 喘息発作の誘発(アスピリン喘息)(0.1%未満)
 

喘息発作を誘発することがあるので、乾性気管支炎、呼吸困難感等の初期症状が発現した場合は使用を中止すること。気管支喘息患者の中には約10%のアスピリン喘息患者が潜在していると考えられているので留意すること。なお、本剤による喘息発作の誘発は、貼付後数時間で発現している。(【禁忌】の項(2)参照)
- 3) 接触皮膚炎(5%未満、重篤例は頻度不明)
 

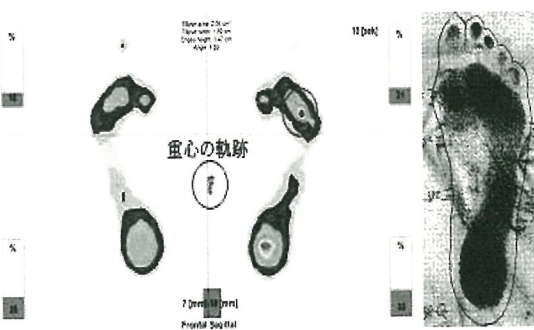
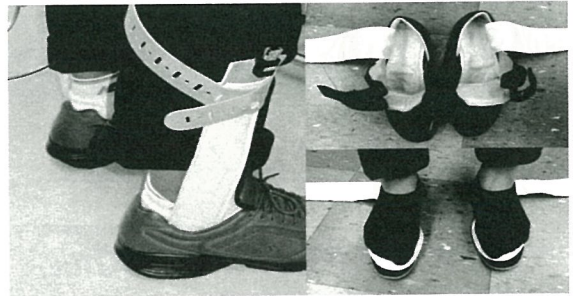
本剤貼付部に発現した痒痒感、刺激感、紅斑、発疹・発赤等が悪化し、腫脹、浮腫、水疱・びらん等の重度の皮膚炎症状や色素沈着、色素脱失が発現し、さらに全身に皮膚炎症状が拡大し重篤化することがあるので、異常が認められた場合には直ちに使用を中止し、患部を遮光し、適切な処置を行うこと。なお、使用後数日を経過してから発現することもある。
- 4) 光線過敏症(頻度不明)
 

本剤の貼付部を紫外線に曝露することにより、強い痒痒を伴う紅斑、発疹、刺激感、腫脹、浮腫、水疱・びらん等の重度の皮膚炎症状や色素沈着、色素脱失が発現し、さらに全身に皮膚炎症状が拡大し重篤化することがあるので、異常が認められた場合には直ちに使用を中止し、患部を遮光し、適切な処置を行うこと。なお、使用後数日から数カ月を経過してから発現することもある。

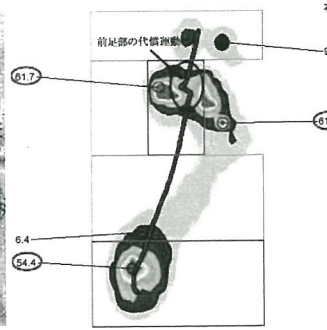
- その他の使用上の注意については添付文書をご参照ください。
- 添付文書の改訂に十分ご留意ください。

# 足底圧分布計測装置 GO-TEC

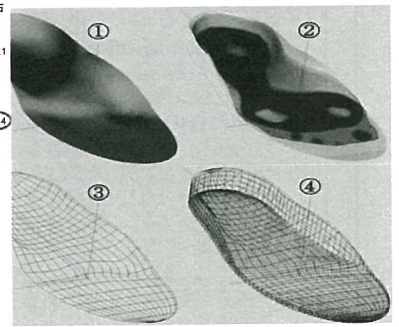
・各種目・靴に対応したインソールの選択



・静止立位時における重心軌跡とフットプリント



・ダイナミック時の足圧中心軌跡と足底圧



・CADでの足底装具形状

歩行時の重心の軌跡を計測できます

- 靴の中の足圧を計測できます（静止立位時、歩行時共に）
- Bluetooth対応のため、ワイヤレスで使用できます
- 足部を6つエリア〔後足部、中足部、前足部（外・中・内）、踵部〕に分けて計測できます

創意  
工夫



義肢・装具・整形靴・座位保持・車いす・介護用品・住宅改修

**(有)マキタ義肢製作所**

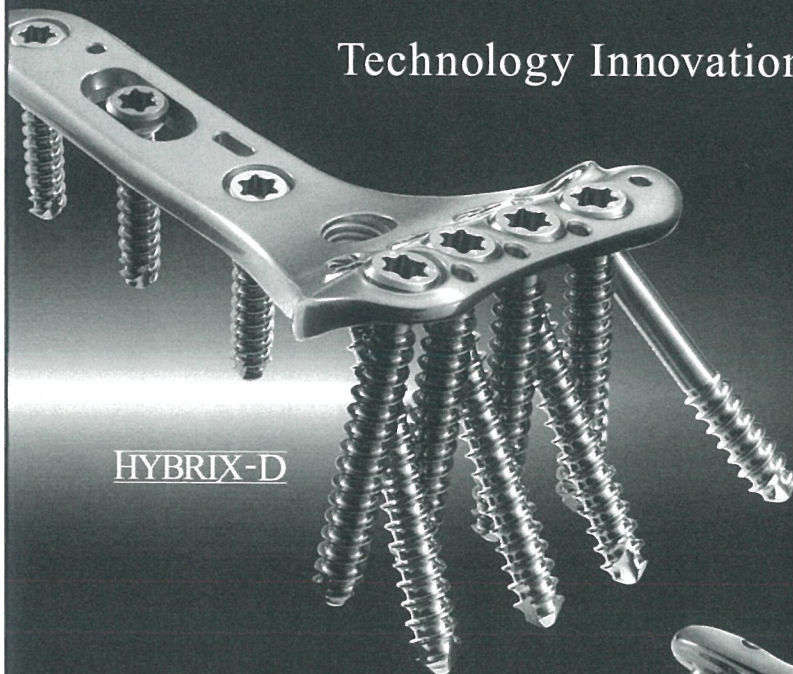
マキタ福祉用具レンタル事業所

本社：宮崎県都城市鷹尾1丁目27街区11-2号  
TEL(0986)24-6598 FAX(0986)24-6630  
宮崎営業所：宮崎県宮崎市大字恒久町6011-3  
TEL(0985)65-6178 FAX(0985)65-6179

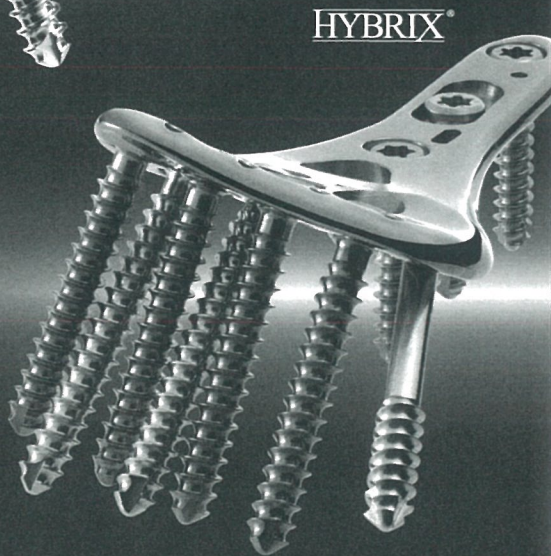
橈骨遠位端ハイブリッドロックングプレート

# HYBRIX®

Technology Innovation



HYBRIX-D



HYBRIX®

## Strong Subchondral Support

MonoaxialとPolyaxialの2つのロックング機構から得られる  
強固で確実な軟骨下骨支持

特許第5960546号

## Versatility

豊富なサイズバリエーション

## Compatibility

日本人の骨CTから得られた解析結果を基に  
日本人に適したアナトミカルデザインを採用

## User-friendly instrument

術者の操作性を考慮した手術器具

販売名:HYBRIX橈骨遠位端ハイブリッドロックングプレート  
医療器具承認番号:22700BZX00046000

ミズホ株式会社 <http://www.mizuho.co.jp>

【 本 社 】 〒113-0033 東京都文京区本郷3-30-13 手術機器事業部 TEL03-3815-3097 整形外科・脳神経外科事業部 TEL03-3815-3096  
特販事業部 TEL03-4334-9111 営業支援部 TEL03-3815-3196  
【 営業拠点 】 北海道 TEL011-716-4731 東北 TEL022-227-1688 新潟 TEL025-229-5458 北関東 TEL03-3815-3193  
東海 TEL052-732-7130 関西 TEL06-6444-3840 中国 TEL082-241-8826 九州 TEL092-431-5022  
【 関東圏販売網 (東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県) 】 ミズホアールン株式会社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-29-3 TEL03-3811-0350 FAX03-3811-1880



Medacta Internationalはスイスに本社を置く、整形及び脳外科インプラントの  
開発・製造・販売を行っているグローバルカンパニーです。Medactaは  
患者の生活の質を高めることをビジョンとして掲げております。

イノベーション、教育訓練の場を提供します。

**AMIS**

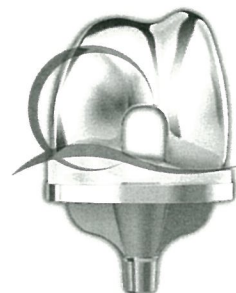
ANTERIOR MINIMALLY INVASIVE SURGERY  
IN HIP REPLACEMENT

**GAK<sup>®</sup> SPHERE**

MEDIALY STABILIZED KNEE

Leader in Anterior  
Approach Education

Stability for life



**Medacta**

International



2014 Orthopedics Plus West  
Spine  
technology  
Awards

Unique Anatomies  
Patient-Matched  
Solutions

**M.O.R.E.**

INSTITUTE

MEDACTA ORTHOPAEDIC  
RESEARCH AND EDUCATION

**MySpine<sup>®</sup>**

PATIENT MATCHED TECHNOLOGY  
IN SPINE SURGERY

承認番号: 22600BZX00321000  
販売名: G M K S P H E R E 人工膝関節システム  
承認番号: 22500BZX00227000  
販売名: G M K セメント付人工膝関節システム  
承認番号: 22800BZX00254000  
販売名: MySpine P5カイト

届出番号: 13B1X10060H01001  
販売名: AMIS モバイル レッグポジショナー  
承認番号: 22400BZX00470000  
販売名: M.U.S.T. スパイナルシステム

MEDACTA.COM

© 2017 Medacta International SA. All rights reserved. rev. J0A2017

メダクタジャパン株式会社  
東京都千代田区麹町3-7-4 秩父屋ビル  
TEL: 03-6272-8797 FAX: 03-6272-8798

**Medacta**  
International





新発売

★「効能又は効果」「用法及び用量」「警告、禁忌を含む使用上の注意」等につきましては、添付文書をご参照ください。

ヒト型抗ヒトIL-6受容体モノクローナル抗体

**ケブザラ®** 皮下注 150mg・200mg シリンジ

薬価基準収載

KEVZARA® サリルマブ (遺伝子組換え) 製剤

生物由来製品 劇薬 処方箋医薬品 (注意—医師等の処方箋により使用すること)

発売元: **旭化成ファーマ株式会社 AsahiKASEI**  
(資料請求先) 〒101-8101 東京都千代田区神田神保町一丁目105番地

製造販売元: **サノフィ株式会社 SANOFI GENZYME**   
 〒163-1488 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号

ケブザラ専用ダイヤル ☎0120-764-221  
 (9:00~17:45/土日祝・休業日を除く)

2018年3月作成

まだないくすりを  
創るしごと。

世界には、まだ治せない病気があります。

世界には、まだ治せない病気とたたかう人たちがいます。

明日を変える一錠を創る。

アステラスの、しごとです。

明日は変えられる。

 **astellas**

アステラス製薬株式会社

[www.astellas.com/jp/](http://www.astellas.com/jp/)



生物由来製品 創薬 処方箋医薬品<sup>※</sup>  
 ヒト型抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体製剤 薬価基準収載

**ヒュミラ<sup>®</sup>** 皮下注20mgシリンジ0.4mL  
 皮下注40mgシリンジ0.8mL  
 皮下注40mgシリンジ0.4mL  
 皮下注80mgシリンジ0.8mL

<皮下注射用アダリムマブ(遺伝子組換え)製剤> **HUMIRA**

(注) 注意-医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

製造販売(輸入)元 販売元 プロモーション提携

アブヴィ合同会社 エーザイ株式会社 EAファーマ株式会社

東京都港区三田 3-5-27 東京都文京区小石川4-6-10 東京都中央区八潮二丁目1番1号

製薬情報お問い合わせ: エーザイ株式会社 hmcホットライン フリーダイヤル0120-419-497 9-18時(土、日、祝日 9-17時)

HUR1703M02  
 PP--JP-0529-4.0  
 2017年3月作成



「運動器の10年」世界運動  
 動く喜び 動ける幸せ

科研製薬は  
 「運動器の10年」  
 世界運動を推進し、  
 QOLの向上に  
 貢献してまいります。

**関節機能改善剤**

(処方箋医薬品) 注意-医師等の処方箋により使用すること  
 日本薬局方 精製ヒアルロン酸ナトリウム注射液

**アルツ<sup>®</sup> 関節注25mg**

(処方箋医薬品) 注意-医師等の処方箋により使用すること  
 日本薬局方 精製ヒアルロン酸ナトリウム注射液

**アルツ<sup>®</sup> ディスポ<sup>®</sup> 関節注25mg**

- 薬価基準収載
- 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

(製造販売元) 生化学工業株式会社  
 東京都千代田区丸の内一丁目6-1

発売元 (資料請求先)  
**科研製薬株式会社**  
 〒113-8650 東京都文京区本駒込2丁目28-8  
 医薬品情報サービス室  
 (2016年9月作成) ARZ04DK

「なりたい」をかたちに。

**みえる**  
Visualization  
高画質へのこだわり

**かんたん**  
Simple  
シンプルなお操作性

**つながる**  
Connectivity  
いつでも、どこでも



超音波診断装置 SONIMAGE HS1 (ソニマージュエイチエスワン) は、高感度と広帯域化を両立したプローブを独自に開発し、「広帯域ハーモニックイメージング」によって、より多くの信号の画像化に成功しました。さらに、X線画像診断分野で培った画像処理技術に応用し、ハイレベルの分解能を実現。また、使う人の目線から操作の簡便化を徹底追求。主要機能は8つのボタンに絞り、タッチパネル操作との組み合わせで直感的な操作性を実現することで、先生方の診断業務を強力にサポートいたします。

ULTRASOUND SYSTEM

# SONIMAGE HS1

製造販売元: コニカミノルタ株式会社

販売元: コニカミノルタ ジャパン株式会社

超音波診断装置 SONIMAGE HS1 認証番号: 第226ABBZX00051000号

105-0023 東京都港区芝浦1-1-1 TEL (03) 6324-1080 <http://www.konicaminolta.jp/healthcare>



セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤

薬価基準収載

**サインバルタ**®  
カプセル20mg  
カプセル30mg

Cymbalta® デュロキセチン塩酸塩カプセル

創薬 処方箋医薬品<sup>※1)</sup>

注1) 注意-医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照下さい。

®: 米国イーライリリー・アンド・カンパニー登録商標

製造販売元 [資料請求先]



**シオノギ製薬**

大阪市中央区道修町 3-1-8  
医薬情報センター ☎ 0120-956-734

CYM-KO-102B(C1)  
審 X4331  
2015年1月作成

ジャック  
再生医療株式会社

# 自家培養軟骨 ジャック®

ジャックは、患者様から採取した健常な軟骨組織より分離した軟骨細胞を、アテロコラーゲンゲルに包埋して培養し、患者様自身に適用する自家培養軟骨です。軟骨細胞を含むアテロコラーゲンゲルを欠損部に移植することにより、臨床症状を緩和します。

保険適用 特定保険医療材料

ジャック 再生医療等製品  
承認番号 22400FZX00266001  
承認年月日 2012年7月27日  
一般的名称 ヒト(自己)軟骨由来組織

## 再生医療という選択肢。 新たな治療戦略。

※効能、効果又は性能、警告、禁忌・禁止を含む使用上の注意等の詳細につきましては、  
製品添付文書等をご参照ください。

医療従事者専用

ジャックに関するお問い合わせは  
TEL.0533-63-5752  
受付時間 / 9:00~17:00



製造販売元  
株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング  
Japan Tissue Engineering Co.,Ltd  
〒443-0022 愛知県蒲郡市三谷北通6丁目209番地の1

<http://www.jppte.co.jp>

J-TEC 検索

ジャックの使用に関する情報、安全性に関する最新の情報は、ホームページでご確認ください。  
再生医療ナビ「スポーツヒザ研究班」  
<http://saisei-navi.com/hiza/index.html>

2016年2月作成

ETHICON  
PART OF THE Johnson & Johnson FAMILY OF COMPANIES

COATED  
VICRYL\* PLUS

ブレイド抗菌縫合糸

PDS\* PLUS

モノフィラメント抗菌縫合糸

製造販売元：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 メディカルカンパニー エチコン サージカルケア事業部 〒101-0065 東京都千代田区西神田3丁目5番2号 TEL (03) 4411-7901  
高度管理医療機器 販売名：パイクリル プラス 承認番号：22000BZX01652000 高度管理医療機器 販売名：PDS プラス 承認番号：22300BZX00333000 \*商標 ©J&JKK 2013



Lixiana<sup>®</sup>  
edoxaban

経口FXa阻害剤

薬価基準収載

**リクシアナ<sup>®</sup>錠・OD錠**  
15・30・60mg

一般名：エドキサバントシル酸塩水和物

処方箋医薬品 注意－医師等の処方箋により使用すること

OD錠  
新発売



Daiichi-Sankyo

製造販売元（資料請求先）

**第一三共株式会社**

東京都中央区日本橋本町3-5-1

※効能・効果、用法・用量および警告・禁忌を含む使用上の注意等については  
製品添付文書をご参照ください。

2017年11月作成

骨粗鬆症治療剤（活性型ビタミンD<sub>3</sub>製剤）  
劇薬 処方箋医薬品<sup>®</sup>

薬価基準収載

**エディロール<sup>®</sup>カプセル** 0.5μg / 0.75μg

EDIROL<sup>®</sup>

エルデカルシトールカプセル  
注）注意－医師等の処方箋により使用すること

®中外製薬株式会社登録商標

※「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」  
等詳細については、添付文書をご参照ください。



製造販売元（資料請求先）



**中外製薬株式会社**

〒103-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1

Roche ロシュ グループ



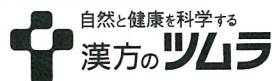
発売【資料請求先】

**大正富山医薬品株式会社**

〒170-8635 東京都豊島区高田3-25-1

2015年2月作成

# 漢方医学と西洋医学の融合により 世界で類のない最高の医療提供に貢献します



自然と健康を科学する

漢方のツムラ

<http://www.tsumura.co.jp/>

●お問い合わせは、お客様相談窓口まで。

【医療関係者の皆様】Tel.0120-329-970 【患者様・一般のお客様】Tel.0120-329-930

(2016年9月制作) OWCA04-K

## TEIJIN

Human Chemistry, Human Solutions

# Quality of Life

患者さんの健やかな笑顔のために。

一人でも多くの方が  
生きることを前向きにとらえ、  
しあわせを感じられるように。

帝人ファーマ株式会社

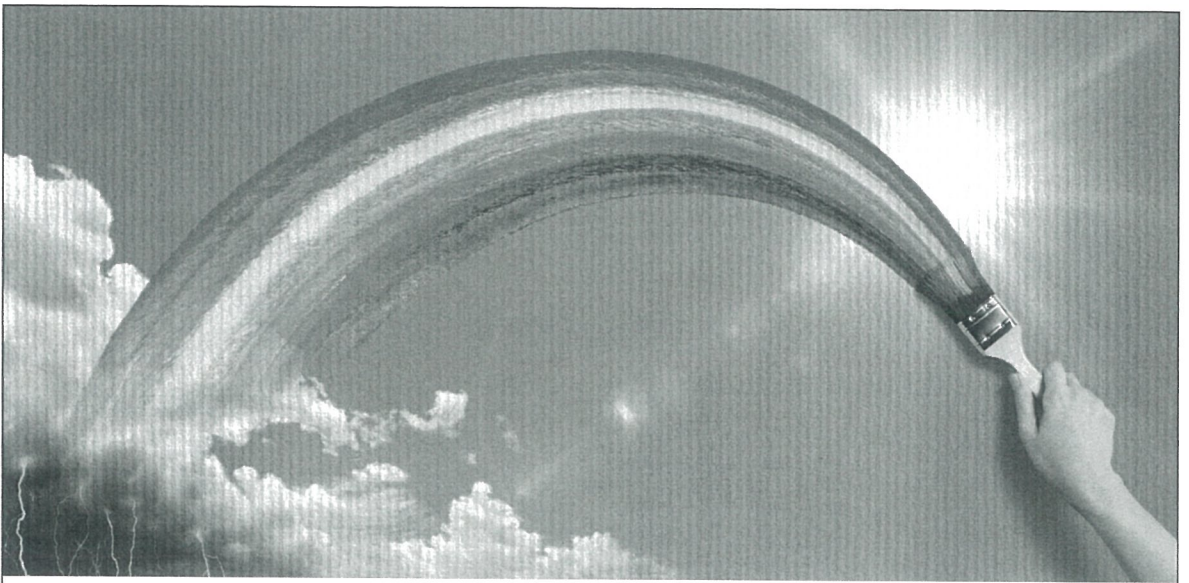
〒100-8585

東京都千代田区霞が関3-2-1

(霞が関コモンゲート西館)

<http://www.teijin-pharma.co.jp/>





疼痛治療剤 (神経障害性疼痛・線維筋痛症)

**リリカ** カプセル OD錠

® 25mg・75mg・150mg

プレガバリン カプセル 口腔内崩壊錠 PREGABALIN CAPSULES / OD TABLETS

処方箋医薬品 注意—医師等の処方箋により使用すること 薬価基準収載



製造販売

ファイザー株式会社

〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7

製品情報お問い合わせ先：製品情報センター 学術情報ダイヤル  
フリーダイヤル 0120-664-467

販売提携

エーザイ株式会社

〒112-8088 東京都文京区小石川4-6-10

製品情報お問い合わせ先：hhcホットライン  
フリーダイヤル 0120-419-497

●効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

LYR72H003B

2017年6月作成



経皮複合消炎剤

〔薬価基準収載〕

**ゼスタッククリーム**

ZESTAK CREAM



製造販売元

〔資料請求先〕

**三笠製薬株式会社**

〒176-8585

東京都練馬区豊玉北2-3-1


<http://www.mikasaseiyaku.co.jp/>



●「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

2015年7月作成





ヒト型抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体製剤 薬価基準収載

の  
**シンポニー**<sup>®</sup> 皮下注 50mg シリンジ

ゴリムマブ(遺伝子組換え)製剤 生物由来製品 劇薬 処方箋医薬品\*  
Simponi<sup>®</sup> Subcutaneous Injection \*注意—医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意等については、  
製品添付文書をご参照ください。

**janssen**  
PHARMACEUTICAL COMPANIES  
of Johnson & Johnson

製造販売元(資料請求先)  
**ヤンセンファーマ株式会社**  
〒101-0065 東京都千代田区西神田3-5-2  
URL: <http://www.janssen.co.jp>



発売元(資料請求先)  
**田辺三菱製薬株式会社**  
大阪市中央区道修町3-2-10

© Janssen Pharmaceutical K.K.2015

2015年6月作成

宮崎大学医学部整形外科

# 同 門 会 誌

発 行 日 平成30年8月

発 行 者 宮崎大学医学部整形外科学教室同門会

編集責任者 石 田 康 行

印 刷 所 宮崎県児湯郡新富町大字上富田4726-1  
障害者支援施設 あゆみの里